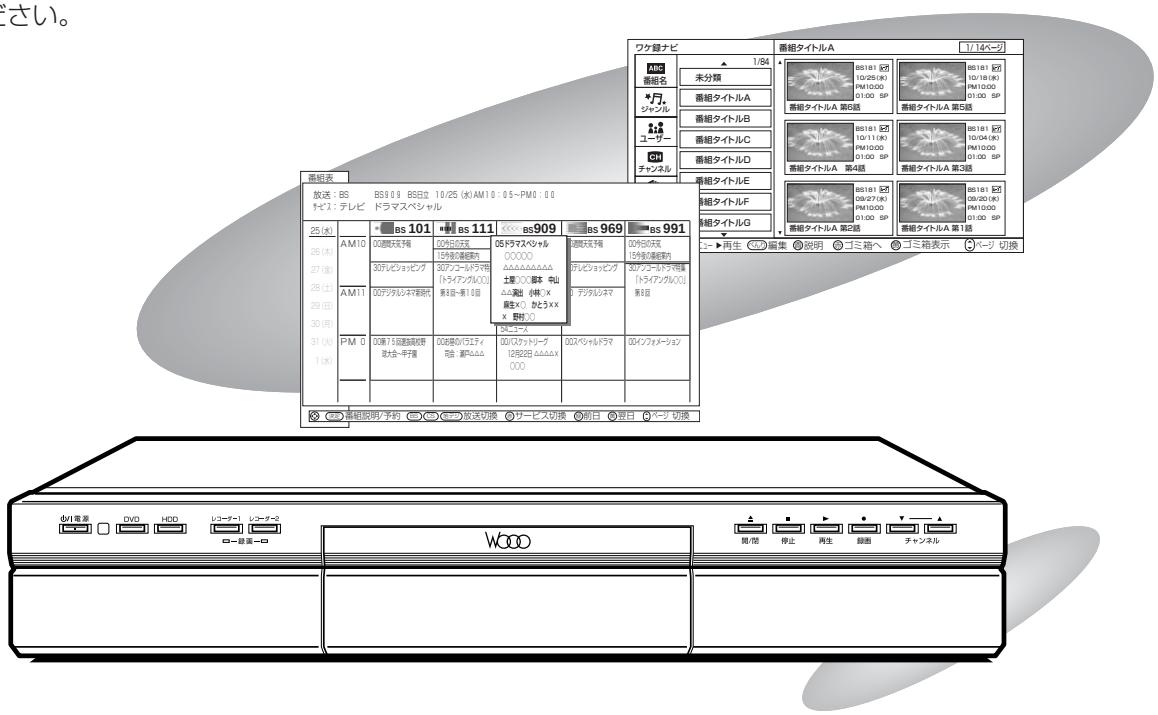
HITACHI
Inspire the Next

日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダー
DV-DH1000D
DV-DH500D
DV-DH250D
DV-DH160D
取扱説明書

接続・設定編

はじめにお読みください。
「接続･設定編」では、接続、受信チャンネル、各種機能の設定など、お使いになる前の準備について説明しています。
本機をもっと楽しむためには、別冊の取扱説明書 操作編 をご覧ください。

はじめに
本機にはテレビ放送の視聴に必要な設定を行う「簡単セットアップ」機能があります。
はじめて本機の電源を入れたときに、簡単セットアップ画面が出ます。38ページをご覧になり、設定してください。



●本機は業務用には対応していません。

※ Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。
※ Gコードシステムは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
※ TruSurround DIGITAL 5.1、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
※ TruSurround DIGITAL 5.1技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

本取扱説明書の内容は2006年4月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

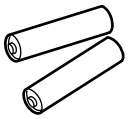
PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

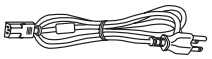
付属品を確認する

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

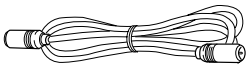
リモコン
（DV-RM500D）



単3形乾電池…2個

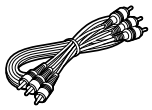


電源コード（1.8m）

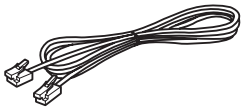


RFケーブル…1本（1.2m）

保証書 ……1冊
取扱説明書　接続・設定編
（本書）……1冊
操作編 ……1冊
読んでわかるガイド ……1冊
お客様登録カード
BS/CSデジタルパンフレット

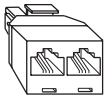


映像・音声コード（1.2m）



モジュラーケーブル
（DV-DH160Dには同梱されていません。）

B-CASカード（ビーキャス）



モジュラー分配器（2分配用）
（DV-DH160Dには同梱されていません。）

本機を設置するときのご注意

必ずお読みください

本機に内蔵のハードディスク(以下HDD)は非常に精密な機器です。使用する環境や取扱いによりHDDの動作および寿命に影響を与える場合がありますので、設置するときや動作中は次のことを必ずお守りください。

■ 設置時

●後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。
●水平で振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
●ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
●「結露」(つゆつき)が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約2〜3時間なじませてから電源を入れてください。
●温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると故障の原因になります。
●安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。
●HDDは精密部品であり、5℃以下の低温では動作保証しかねます。冬季などの録画予約時には本機の周囲温度にご注意ください。

■ 動作中

●電源プラグを抜いたり、電源ブレーカを切らないでください。
●振動や衝撃を与えたり、本機を動かしたりしないでください。
●動かすときには・・・①本体前面の電源スイッチを「切」にしてください。
②電源プラグをコンセントから抜いてください。
③2分以上待ってから本機を動かしてください。

お知らせ

- **本機の電源が入っている間、HDDは高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。**
- **データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。**

もくじ

はじめに

付属品を確認する 2
本機を設置するときのご注意 3
安全上のご注意 6
使用上のご注意 10
留意点 13
著作権について 13
リサイクルについて 13
デジタル放送の特長 14
デジタル放送の特長 14
デジタル放送の種類 14
デジタル放送の受信契約について 15
BSデジタル放送を受信するには 15
110度CSデジタル放送を受信するには 16
地上デジタル放送を受信するには 16
アナログ放送からデジタル放送への移行について 17

接続する

各部の名称と機能 18
接続の流れ 19
①アンテナを接続する 20
地上アナログ／デジタル放送のアンテナを接続する 20
BS・110度CSデジタル放送のアンテナを接続する 22
壁にVHF/UHF/BS・110度CSデジタル放送の混合アンテナ端子がある場合 22
②デジタル放送を受信する場合は、本機にB-CASカードを挿入する 23
③電源を接続する 24
④テレビに接続する 25
テレビの入力端子を確認する 25
HDMI端子と接続する場合（DV-DH1000D/500D/250D） 26
D映像端子と接続する場合 26
コンポーネント端子と接続する場合 26
S映像端子と接続する場合 27
映像端子と接続する場合 27
⑤CATV（ケーブルテレビ）を視聴する場合 28
⑥他の機器と接続する 29
ビデオデッキと接続する 29
ビデオカメラと接続する 29
i.LINK対応機器と接続する（DV-DH1000D/500D） 30
AV機器と接続する 32
⑦デジタル放送の拡張機能を使う 33
電話回線と接続する 33
インターネット網に接続する 34

操作を始める前に

リモコンの準備 35
リモコンの使用範囲について 35
電池を入れる 35
リモコンでテレビを操作できるようにする 36
電源を入れる／切る 37
電源を入れる 37
電源を切る 37
すぐに操作できるようにする（高速起動） 37
簡単セットアップ 38
アスペクト比について 41

各種機能を設定する

テレビ放送の受信に関する機能を設定する 42
地上アナログ放送のチャンネルを設定する 43
チャンネルを手動で合わせる（地上アナログ放送） 45
ガイドチャンネル一覧表 47
映像が不安定になるとき（アッテネーターの設定） 49
画像の二重三重映り（ゴースト）を軽減する（DV-DH1000Dのみ）（地上アナログ放送） 50
地上デジタル放送のチャンネルを設定する 51
アンテナの受信レベルを確認・調整するには 53
受信周波数を自動的に変更する（地上デジタル放送） 53
数字ボタンで選局できるチャンネルを変更する（地上デジタル／BS・CSデジタル放送） 54
空きチャンネルをスキップする（地上アナログ／地上デジタル／BS・CSデジタル） 56
BSアンテナのコンバーターへの電源供給を設定する（BS・CSデジタル放送） 57
衛星の周波数を変更する（BS・CSデジタル放送） 58
新しいソフトウェアをダウンロードする（地上デジタル／BS・CSデジタル放送） 59
本機の各種機能を設定する 60
設定メニューの使いかた 60
設定メニュー一覧 61
リモコンコードを変更する 62
新しいソフトウェアをダウンロードする 63
時計を合わせる 64
視聴制限を設定する 66

情報を消去する（データ放送、
受信メール、受信設定）.....68
外部機器の接続に関する機能を設定する 69
電話回線を設定する.....69
ISP設定について 75
LAN設定について.....76
接続するテレビに合わせて設定する 77
地域番号一覧表.....79

付録

索引.....86
お客様ご相談窓口.....87

安全上のご注意

ご使用の前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈絵表示の例〉

△記号は警告（注意）を促すことです。（この例は「手を挟まれないよう注意」）

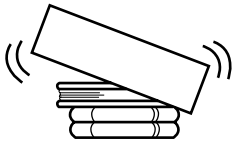
〇記号は行為を禁止することです。（この例は「分解禁止」）

●記号は行為を強制することです。（この例はコンセントから必ず「電源プラグを抜く」）

⚠ 警告

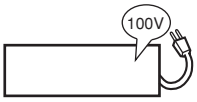
不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

● 表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



水にぬらさない

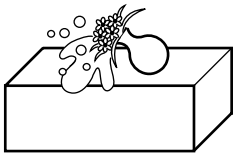
● 水場では本機を使用しないでください。
● 窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
● 万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

風呂場では使用しない

● 風呂、シャワー室では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。

水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない

● 本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。
誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。



⚠ 警告

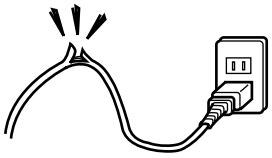
電源プラグが不完全な接続のまま使わない！
たこ足配線をしない！

- ショートや発熱により、火災や感電につながります。
- 最後までしっかりと正しく接続してください。

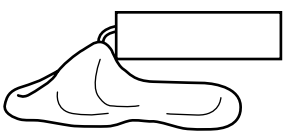
禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。



禁止



禁止

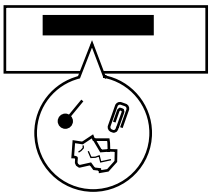
電源コードを加工しない

電源コードが傷んだら交換する

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く

改造しない
カバーを開けない

- 本機を改造すると火災・感電の原因となります。
- 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

異常なときは使わない

- 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグをコンセントから抜く

⚠ 警告

雷が鳴るときは アンテナ線、機器、 電源プラグには触れない

● 雷が鳴り出したら、アンテナ線、機器、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

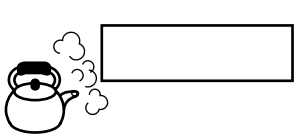
⚠ 注意

油煙や湯気が当たる場所に置かない

● 火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

● 調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



禁止

移動させるときは 注意を！

● 移動させるときは、取出しボタンを押して必ずディスクを取り出し、テレビなどとの接続線をはずしたことを確認のうえ、下記を行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
① 本体の電源を切る
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ 2分以上待ってから本機を動かす

電源プラグを
コンセントから抜く

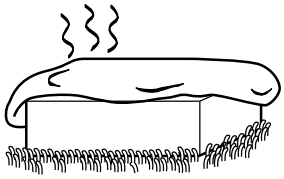
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない

● キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

● 本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。
本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。



禁止

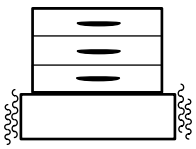
本機の上に乗らない

● 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

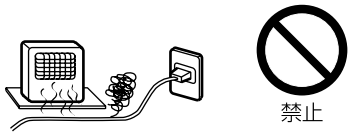
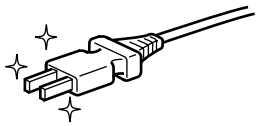
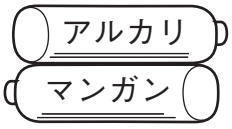
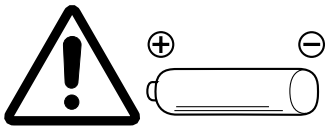
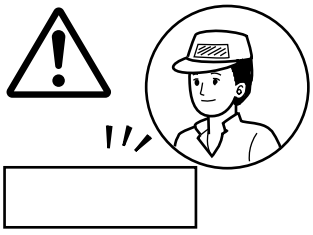
本機の上に重い物を置かない

● 本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



禁止

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグのゴミやホコリにご注意！	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、乾いた布で拭きいつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	電源プラグをコンセントから抜く
本機で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	 禁止
乾電池は本機の指示どおり正しく入れる	●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください。まちがえますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	
ディスクトレイに指を挟まれないように注意する	●トレイが閉まるときにはさまれて、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	手を挟まれないよう注意

使用上のご注意

お手入れについて	●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害（機会損失による補償など）は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを閉めたままリモコンの開／閉ボタンを押して、ディスクを取り出さないでください。強い力で動きが妨げられると、故障の原因になります。
電源が入っているときは本機を絶対に動かさない	●ハードディスクやDVDディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ハードディスクやDVDディスクを傷つけるおそれがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。
結露について	●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、録画や再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに室温で1～3時間放置してから、ご使用ください。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

その他の注意

- 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。
- ディスクの挿入口から異物を入れないでください。異物が取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。

電話回線の接続が必要な場合

デジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS)の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

インターネット網への接続が必要な場合

地上デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。

インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は待機状態（電源オフ）でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本機前面左側のフタの中のリセットボタンを押すか、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源ボタンを押してください。

ダウンロードについて

デジタル放送の運用などに変更が生じた場合など、本機を対応させるためにソフトウェアの更新が必要です。このソフトウェアは放送電波にのせて送られ、本機のソフトウェアを自動的に更新します。これをダウンロードといいます。このサービスを受けるには、本機の電源を切り、待機状態にしておいてください。

アンテナの点検・交換について

本機は地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS／110度CSデジタル放送に対応しています。美しい映像をお楽しみいただくために、アンテナの点検・交換をおすすめします。

ご注意

- 地上デジタル放送は、現在ご覧になっている地上アナログ放送と違う場合があります。現在お使いのアンテナが地上デジタル放送に対応しているかは、販売店にご相談ください。
- BSデジタル放送と110度CSデジタル放送をご覧になるには、専用のパラボラアンテナが必要です。現在BSデジタル放送のアンテナをお使いの場合でも、110度CSデジタル放送はご覧になれない場合があります。対応については販売店にご相談ください。

冷却用ファンについて

本機は、電源を入れたり、機能待機状態のときに、本機内部の温度を下げるためにファンの動作音がするときがありますが、故障ではありません。また、本機の電源を切っていても、以下のような場合はファンが動作しますが、故障ではありません。

- 「ダビング実行中」、「予約録画中」の間
- 有料チャンネルの契約情報更新が行われた場合、約2時間以上
- 高速起動を設定したとき
- i.LINK待機中のとき
- デジタル放送の番組表データを受信しているとき

本機の温度について

本機は、長時間使用したり、密閉されたラックに入れて使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

本機に記憶される個人情報などについて

お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、停電があったとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

メモリーカードについて

本機またはメモリーカードリーダーに挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失するおそれがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 本製品には、ACCESS社製データ放送用BMLブラウザ NetFront v3.0 DTV Profileを搭載しています。

NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。
Copyright(C) 1996-2003 ACCESS CO.,LTD.

ACCESS NetFront v3.0 DTV Profile

留意点

- 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- あなたが本機やビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
- 本機は、データ放送で登録したお客様の個人情報や受信したメールなどデジタル放送関連の設定値を記録します。万一、本機の不具合によりこれらの情報が消去された場合、復元できません。内容の補償についてはご容赦ください。
- この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTS Digital Outは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DVDロゴは登録商標です。
- Gコード、G-CODE、およびGコードロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社の日本国内における登録商標です。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
お問合せ先：（社）私的録画補償金管理協会
☎03-3560-3107（代）

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

デジタル放送の特長

本機はデジタル放送チューナーを内蔵しているので、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送を見ることができます。

デジタル放送の特長

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線1125本（有効1080本）・飛び越し走査1125i（1080i）と走査線750本（有効720本）・順次走査750p（720p）の2種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送に比べると多くのチャンネル放送を行うことができます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化の他に、独立データ放送やデジタルラジオ放送も行われます。

データ放送

文字や静止画で送られてくる情報から必要な情報を選んで画面に表示させることができます。データ放送には、テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類があります。また、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります (地上デジタル放送では、インターネット網への接続が必要な場合があります)。

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術MPEG-2 AAC方式の採用により、最大5.1チャンネル（5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル）のサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声を楽しむことができます。
（ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには、AAC方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。）

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

デジタル放送では、それぞれのチャンネルごとに約1週間分の番組情報が送られることがあります。それらの番組情報は電子番組ガイドとして利用することができます。電子番組ガイドでは画面上にそれぞれのチャンネルの番組表を表示させ、番組表から見たい番組を選んだり、番組の詳細情報を表示させたり、録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

デジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送には、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の3種類があります。

BSデジタル放送

BSデジタル放送は、東経110度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心で、無料放送の多いことが特長です（一部有料放送もあります）。基本的に放送事業者ごとの放送となるため、受信契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110度CSデジタル放送

110度CSデジタル放送は、東経110度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BSデジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心で、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です（一部無料放送もあります）。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどが予定されています。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのが特長です。

お知らせ

- 本機でBSデジタル放送および110度CSデジタル放送の両方を受信するには、110 度CS対応BSデジタルアンテナを使用する必要があります。
- 110度CSデジタル放送は、従来のCSデジタル放送「スカイパーフェクTV!（スカパー!）」（東経128度、124度のJSAT-3、JSAT-4を利用）とは異なる放送です。従来の「スカイパーフェクTV!（スカパー!）」を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

デジタル放送の受信契約について

B-CASカードは必ず登録してください
本機に付属のB-CASカード台紙の一部が（株）B-CASへのユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してお送りください。登録料は無料です。

デジタル放送を見るときや録画するときは、必ずB-CASカードを挿入してください
B-CASカードは、有料放送の課金や放送局からのメッセージを管理する他、著作権保護のためのコピー制御にも利用されます。デジタル放送を視聴する際は、必ずB-CASカードを挿入してください。

BSデジタル放送を受信するには

WOWOW、スター・チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するには、B-CASカードの登録の他に、見たい番組を放送している放送局との受信契約が必要になります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

●詳しくはそれぞれの放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、電話番号のお間違えのないようにお願いいたします。

BSデジタル放送局のお問い合わせ先（2006年4月現在）

BS放送局	お問い合わせ先	参考
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120 -151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） http://www.nhk.or.jp/bs/	NHKと衛星放送受信を契約していない場合は、衛星放送受信の契約が必要です。
WOWOW （191、192、193ch）	0120－480801（フリーダイヤル） 0570－008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの場合は、 045－683－8080 ） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/	WOWOWはテレビ放送のみの申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。
スター・チャンネルBS （200ch）	0570－010－110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの場合は、 045－339－1555） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star	スター・チャンネルBSはテレビ放送のみの申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

お知らせ

- NHKでは、BSデジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでにNHKと衛星放送受信を契約していても、本機に同梱されている「B-CASカードユーザー登録はがき」を送っていない場合、またははがきを送っていても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CASカードを本機に挿入してから30日経過後、NHK-BSデジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへの連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示されるNHKのフリーダイヤルに連絡し、B-CASカード番号、住所、名前、電話番号などを伝えると消えます。
- 一部のデータ放送などには、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送を受信するには

110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するには、B-CASカードの登録の他に、「スカイパーフェクTV！110（スカパー!110）」との受信契約が必要になります。110度CSデジタル放送は、BSデジタル放送のように個別の放送事業者ごとではなく、「スカイパーフェクTV！110（スカパー!110）」が放送チャンネル受信契約の代行を行っています。

- 110度CSデジタル放送では、チャンネルごとの受信契約の他に、チャンネルごとに契約するよりも料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
- 詳しくはカスタマーセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、電話番号のお間違えのないようにお願いいたします。

スカイパーフェクTV ！110（スカパー!110）・カスタマーセンター
0570−012−110または045−339−0002
受付時間　10:00〜20:00（年中無休）
http://www.skyperfectv110.jp/
（2006年4月現在）

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、以下の条件をすべて満たしていることが必要です。

受信地点が、すでに放送地域になっていること

関東・中京・近畿の三大都市圏では、2003年12月から放送が開始されています。その他の地域では、2006年末までに順次開始される予定となっています。
地上デジタル放送の受信エリアの目安については、下記にお問い合わせください。
総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター
0570-07-0101
受付時間　9：00〜21：00（平日）
　　9：00〜18：00（土、日、祝祭日）
http://www.d-pa.org/
（2006年4月現在）

UHFアンテナが、地上デジタル放送に対応していること

UHFアンテナには全帯域型と帯域専用型があります。地上デジタル放送を受信するには全帯域型または地上デジタル放送対応型のUHFアンテナをご使用ください。

UHFアンテナが、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていること

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できます。地上デジタル放送の送信塔が違う方向の場合は、UHFアンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更してください。

地上デジタル放送受信機の入力信号に、必要な強度があること

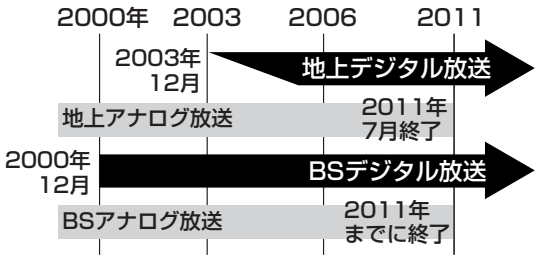
地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されます。そのため受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

お知らせ

- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設で地上デジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

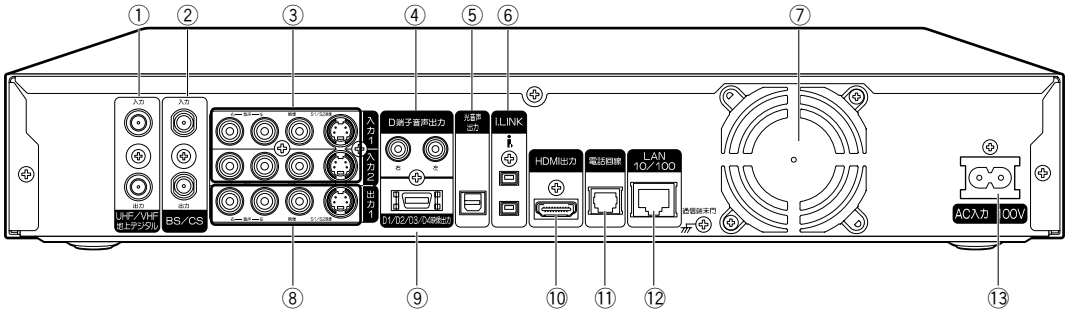
地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。



各部の名称と機能

以下は、『接続・設定編』（本編）で必要な各部名称です。

■本体背面



① **UHF（地上デジタル/アナログ）／VHF（地上アナログ）放送用アンテナ入出力端子**
地上デジタル、地上アナログ放送用のアンテナ線を接続します。

② **BS・110度CSデジタル放送用アンテナ入出力端子**
BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線を接続します。

③ **外部入力1端子／外部入力2端子**
ビデオデッキ、CATVホームターミナル、BS・CSチューナーなどのS映像・映像・音声出力端子と接続します。

④ **D端子音声出力**
本機のD1/D2/D3/D4映像出力端子とテレビを接続したときに、テレビの音声入力端子と接続します。

⑤ **光デジタル音声出力端子**
光デジタル音声入力端子付きアンプやデコーダーと光デジタルケーブルで接続します。

⑥ **i.LINK端子（DV-DH1000D/500D）**
i.LINKコードを使用して、D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。i.LINK対応機器と接続すると、機器間で映像、音声、制御信号を送信することができます。

⑦ **冷却用ファン**
電源を切っても回り続ける場合があります。

⑧ **外部出力1端子**
テレビのS映像・映像・音声入力端子と接続します。

⑨ **D1/D2/D3/D4映像出力端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続します。

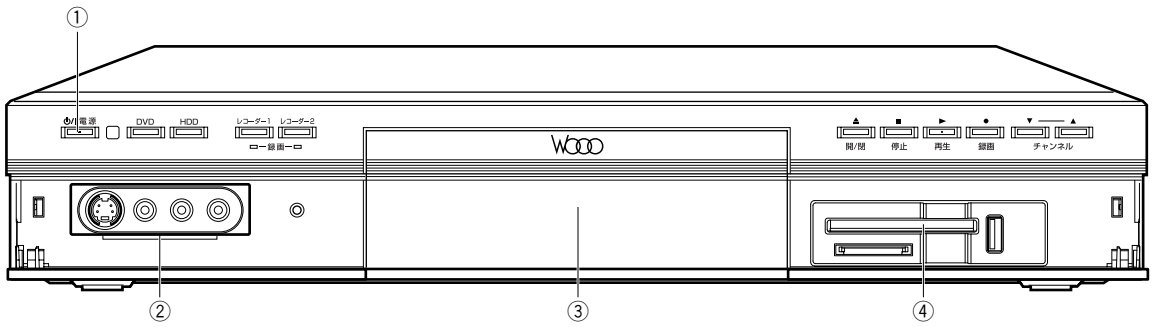
⑩ **HDMI出力端子（DV-DH1000D/500D/250D）**
HDMI入力端子のあるテレビと接続します。
※Ver.1.1対応（ただしDVD-Audioには非対応）
※5.1ch音声（Dolby、DTSなど）は出力できません。

⑪ **電話回線接続端子**
電話回線と接続します。

⑫ **ネットワーク（LAN 10/100）端子**
常時接続環境のインターネット網とLANケーブルで接続します。
（地上デジタル放送の双方向データ放送で使用されます。）
※パソコンから本機をコントロールすることはできません。
（pingも使えません）

⑬ **電源コード差込口**
電源コードを接続します。

■本体前面



① **電源ボタン（37ページ）**
本体の電源を入／切します。

② **外部入力3端子（29ページ）**
ビデオデッキやビデオカメラなど、外部機器のS映像・映像・音声出力端子と接続します。

③ **本体表示窓（37ページ）**
時間やチャンネル番号など、本機の状態を表示します。

④ **B-CASカード挿入口（23ページ）**
付属のB-CASカードを挿入します。

接続の流れ

次の流れに沿って、本機との各接続を行ってください。

1 アンテナを接続します
20ページ

2 デジタル放送を受信する場合は、本機にB-CASカードを挿入します
23ページ

3 電源を接続します
24ページ

4 テレビに接続します
25ページ

5 CATV（ケーブルテレビ）を視聴する場合にご覧ください
28ページ

6 他の機器と接続する場合にご覧ください(ビデオ、i.LINK、AV機器、カメラ)
29ページ

7 デジタル放送の拡張的な機能を使う場合にご覧ください
33ページ

ご注意

- 本機と他の機器を接続するときは、以下の点に注意してください。
  - ・各機器の電源を切ってから接続してください。
  - ・接続する機器の取扱説明書もあわせてお読みください。

❶アンテナを接続する

まず、アンテナを本機に接続します。

本機には、次の放送を受信するためのアンテナ入力端子があります。

●地上アナログ（VHF/UHF）放送／地上デジタル（UHF）放送

本機は、地上アナログ放送と地上デジタル放送を、共通の1つの端子から受信できます。

●BS・110度CSデジタル放送

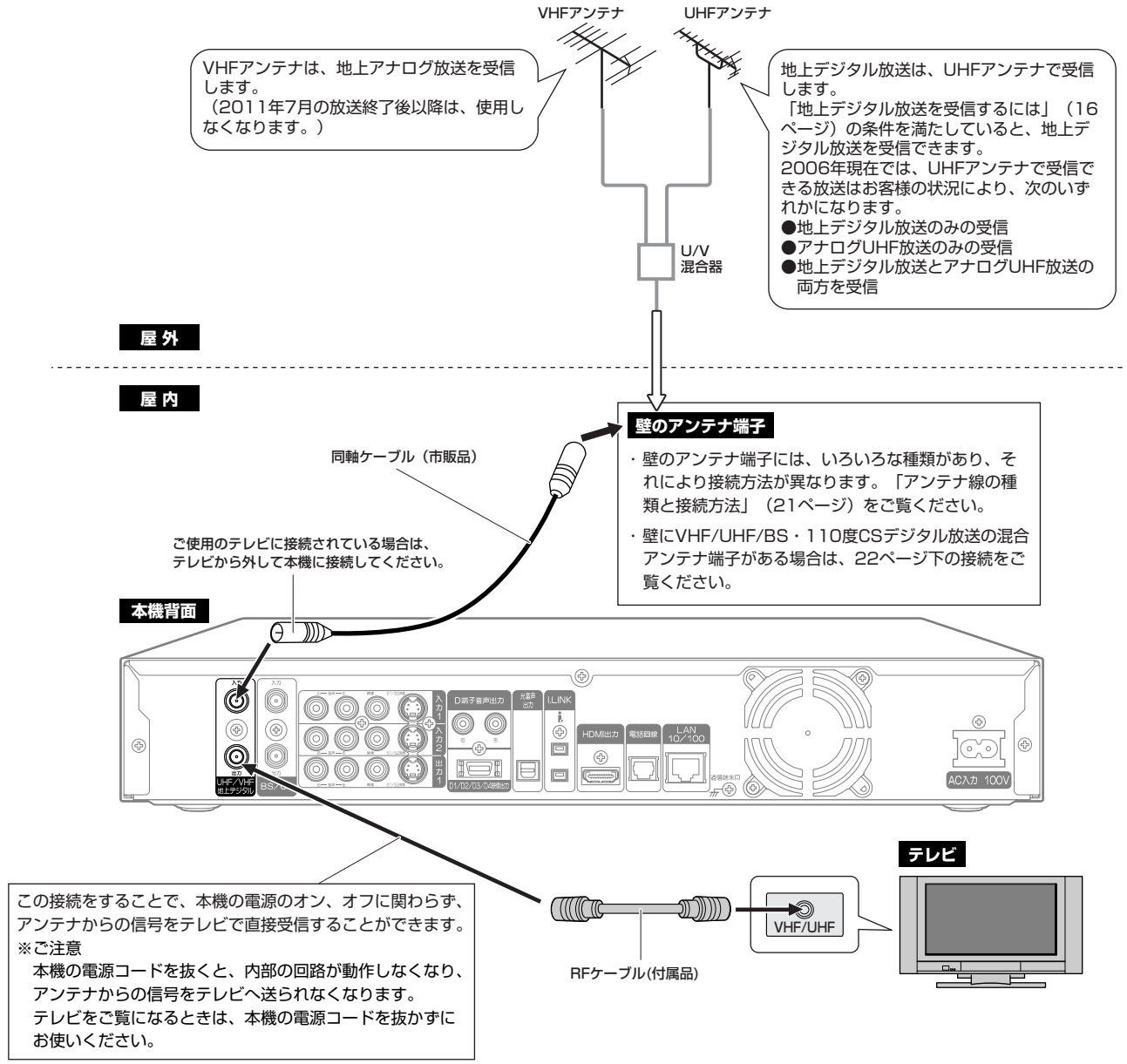
市販の、110度CS対応BSデジタル放送用パラボラアンテナを使用してください。

今までのBSアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、BSデジタル放送も映らない場合があります。

ご注意

- テレビ放送がCATV（ケーブル）のみで配信されている場合は、「⑤CATV（ケーブルテレビ）を視聴する場合」（28ページ）を行ってください。
- アンテナ工事は技術が必要です。販売店にご相談ください。
- VHF/UHFアンテナが独立しているなど、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。
- アンテナ線の接続には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。平行フィーダーを使用すると、受信状態が不安定なために妨害電波を受けやすくなり、画面にしま模様が現れたりします。やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、テレビからできるだけ離してください。また、室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、使用を避けてください。
- 電源コードや他の接続コード類は、アンテナ線からできるだけ離してください。

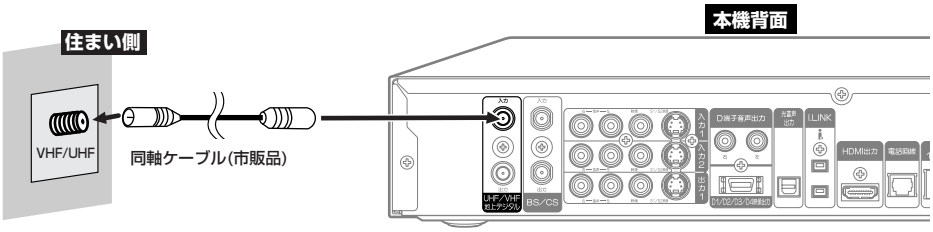
地上アナログ／デジタル放送のアンテナを接続する



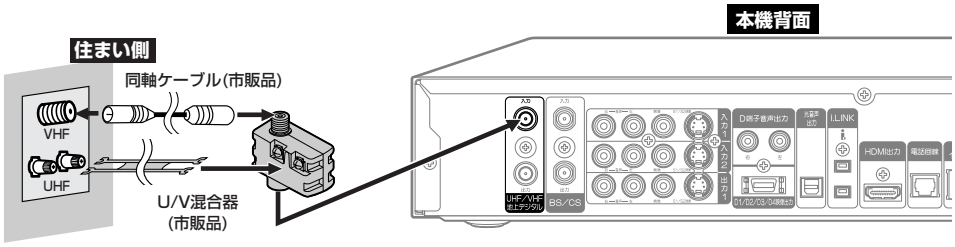
■ アンテナ線の種類と接続方法

お住まいの地域や設備によって、VHF/UHFアンテナ線の種類や接続形態が異なります。

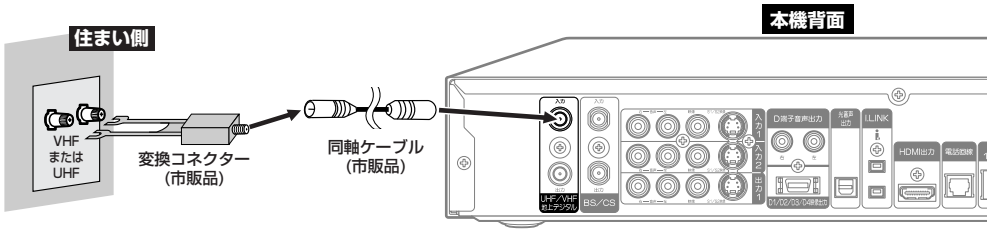
住まい側がVHFアンテナ線、UHFアンテナ線、VHF/UHF混合アンテナ線のいずれかのとき



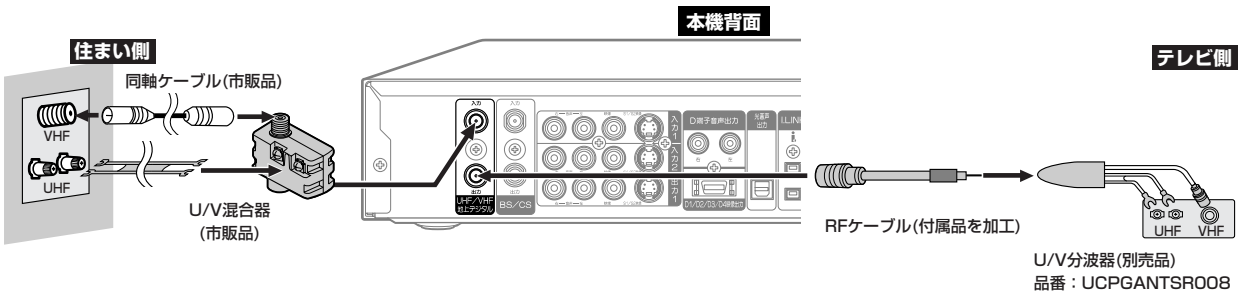
住まい側にVHFアンテナ線とUHFアンテナ線の両方があるとき



住まい側がVHFまたはUHFアンテナ線のとき



■ テレビのVHFアンテナ入力端子とUHFアンテナ入力端子が別々の場合

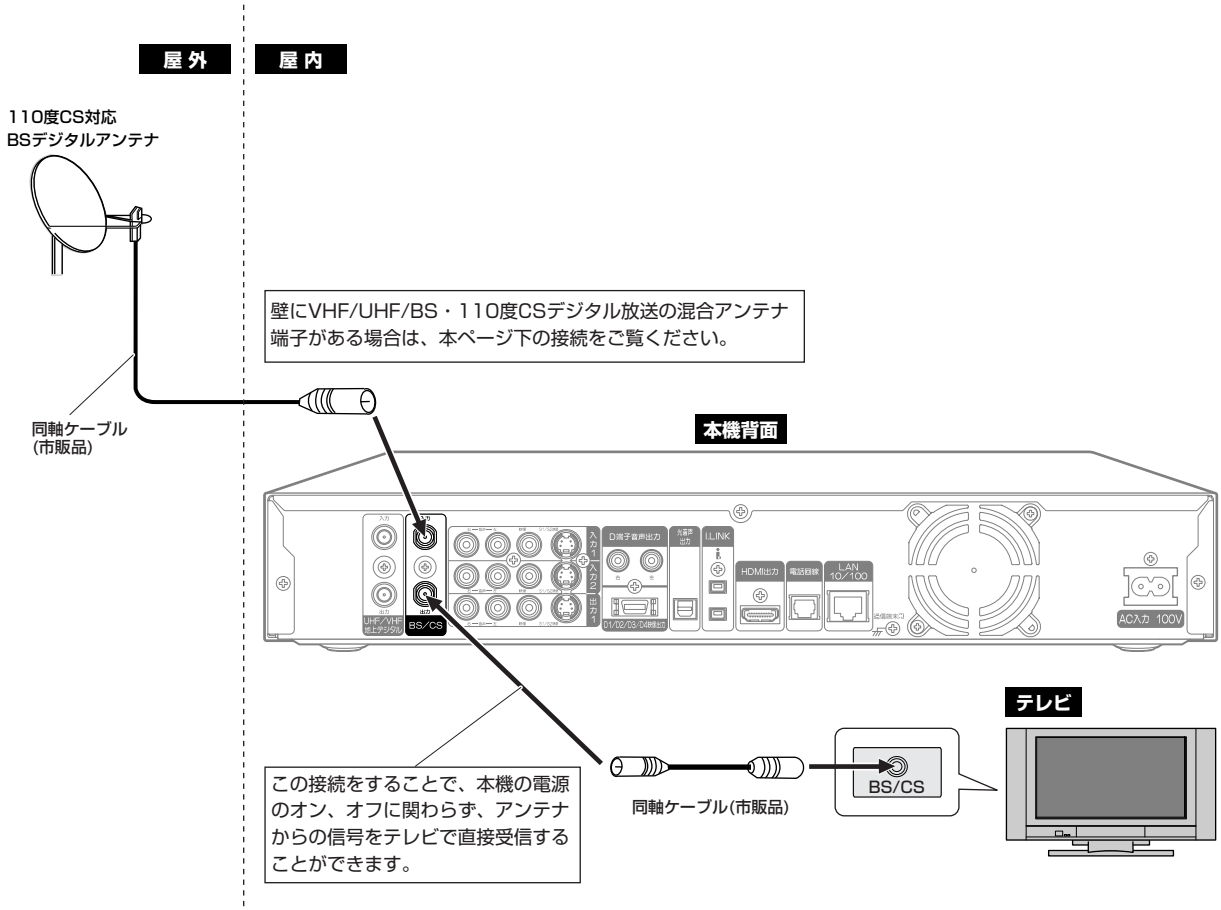


①RFケーブルの先端を加工してU/V分波器の入力端子に接続する。
②U/V分波器の出力端子をテレビのVHFアンテナ入力端子およびUHFアンテナ入力端子にそれぞれ接続する。

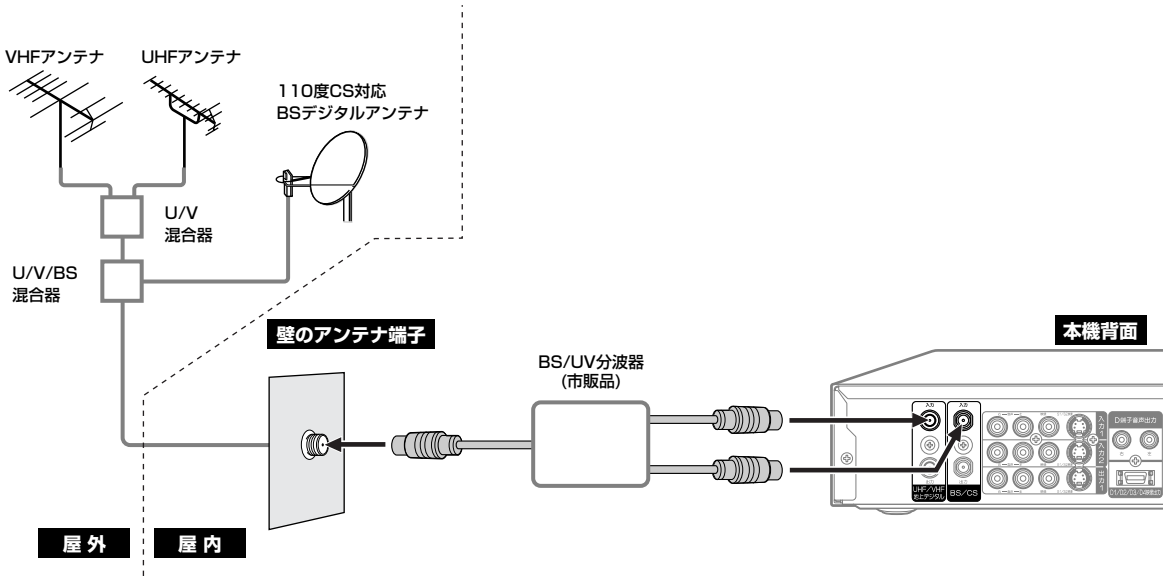
ご注意

- アンテナ線の種類によっては、アンテナプラグ（市販品）やU/V混合器（市販品）が必要な場合があります。
- 電波が弱い地域の場合、アンテナブースター（市販品）をご使用いただくことにより、電波の受信感度を全体的に増幅させることができますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナを接続する



壁にVHF/UHF/BS・110度CSデジタル放送の混合アンテナ端子がある場合



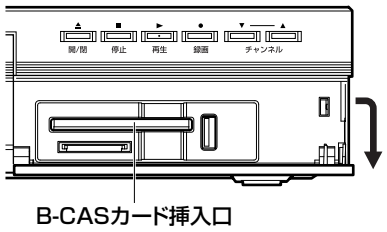
❷デジタル放送を受信する場合は、本機にB-CASカードを挿入する

地上デジタルやBS・110度CSデジタル放送を受信するときは、B-CASカードを必ず挿入してください。地上アナログのみを受信している場合は、この手順は不要です。

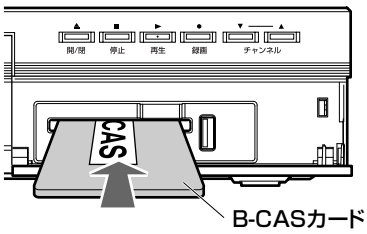
ご注意

● 電源は、接続しないでください。
接続後にB-CASカードを挿入する場合は、必ずいったん電源コードをコンセントから外してください。

1 本機前面右側のフタを開ける

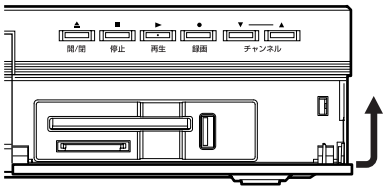


2 絵柄表示面を上にしてB-CASカードを挿入する



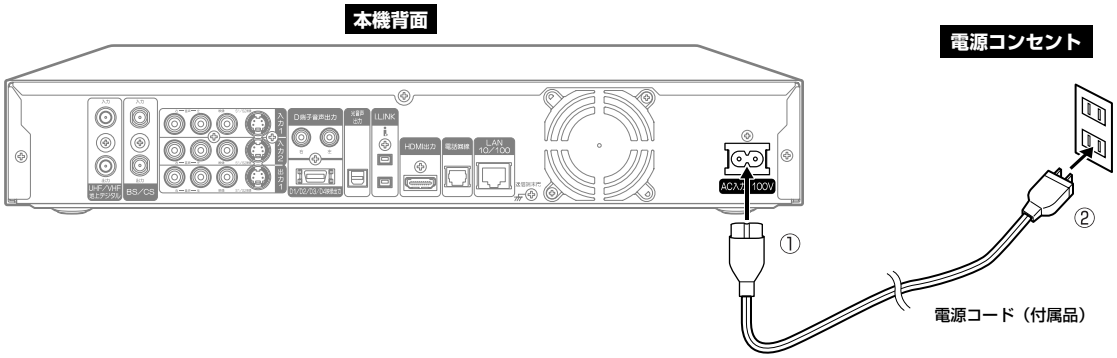
• 絵柄の矢印を挿入口に合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込みます。

3 本機前面右側のフタを閉める



❸電源を接続する

①本機の電源コード差込口に電源コードを差し込む
②電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込む



■ 長期間使用しないときには

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

お知らせ

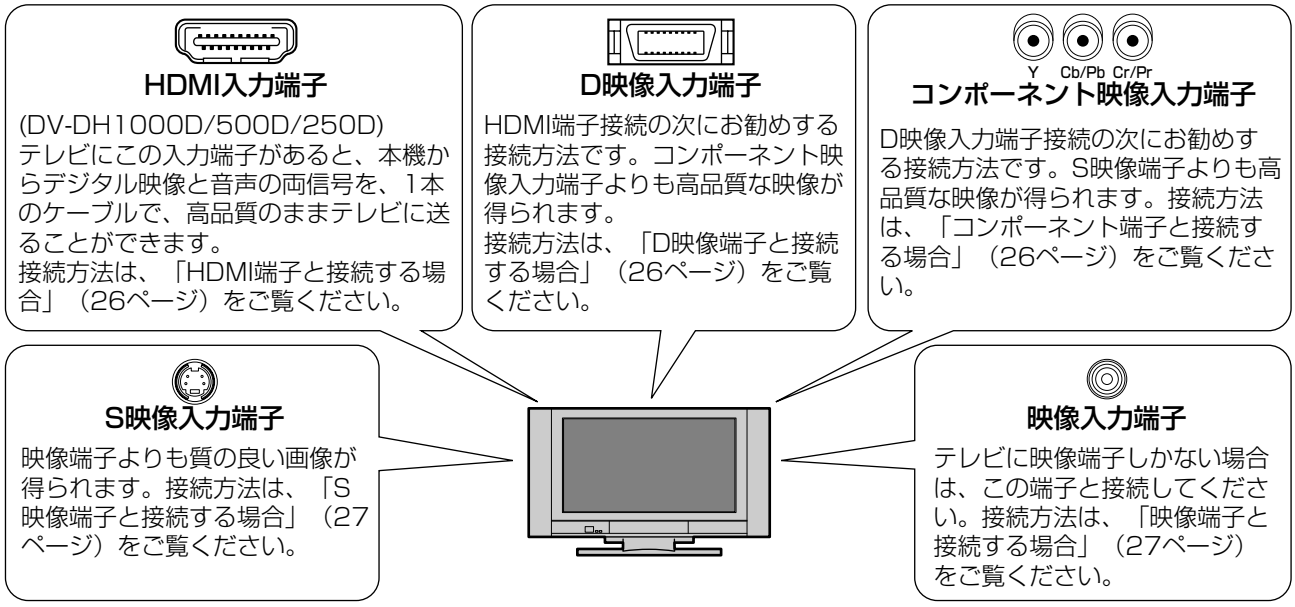
● 本取扱説明書では、「電源コードが接続されて、本機の電源が切れている状態」を『待機』と表記しています。

❹テレビに接続する

テレビの入力端子を確認する

ご使用のテレビの映像信号入力端子の種類によって、接続方法が異なります。テレビの端子を確認し、どれか1つの方法で接続してください。映像品質の良い順に接続方法を並べると、次のようになります。

HDMI端子 → D映像端子 → コンポーネント映像端子 → S映像端子 → 映像端子



HDMI入力端子

(DV-DH1000D/500D/250D)
テレビにこの入力端子があると、本機からデジタル映像と音声の両信号を、1本のケーブルで、高品質のままテレビに送ることができます。
接続方法は、「HDMI端子と接続する場合」（26ページ）をご覧ください。

D映像入力端子

HDMI端子接続の次にお勧めする接続方法です。コンポーネント映像入力端子よりも高品質な映像が得られます。
接続方法は、「D映像端子と接続する場合」（26ページ）をご覧ください。

コンポーネント映像入力端子

D映像入力端子接続の次にお勧めする接続方法です。S映像端子よりも高品質な映像が得られます。接続方法は、「コンポーネント端子と接続する場合」（26ページ）をご覧ください。

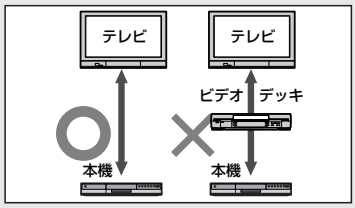
S映像入力端子

映像端子よりも質の良い画像が得られます。接続方法は、「S映像端子と接続する場合」（27ページ）をご覧ください。

映像入力端子

テレビに映像端子しかない場合は、この端子と接続してください。接続方法は、「映像端子と接続する場合」（27ページ）をご覧ください。

ご注意

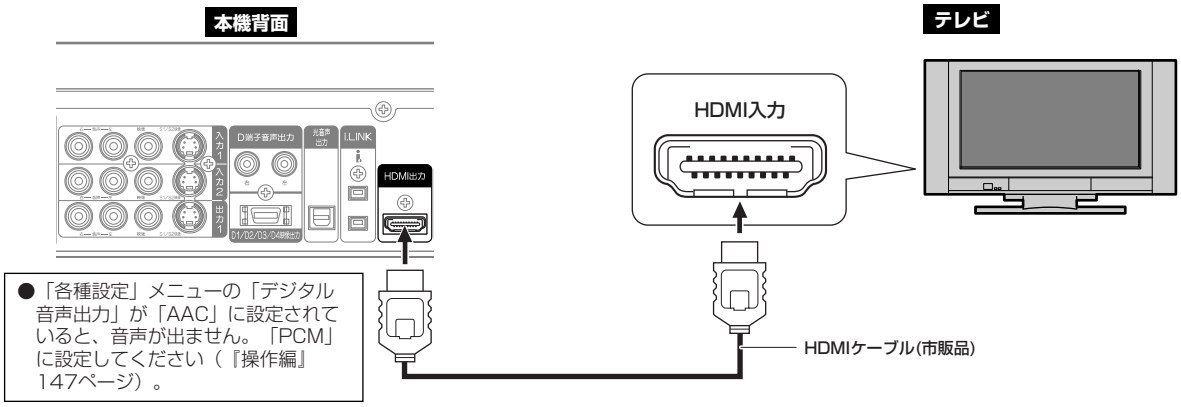


- ビデオデッキ経由で本機とテレビを接続しないでください。コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。
- ビデオ内蔵テレビと本機を接続するときは、ビデオ側ではなく、テレビ側の入力端子に映像・音声コードを接続してください。画面の乱れが発生する場合は、他のテレビと接続してください。
- D映像出力端子とHDMI出力端子は、どちらか一方しか信号が出力されません。HDMIケーブルを接続すると、出力が自動的にHDMI出力端子に切り換ります。
  映像が出ない場合は、本機の電源を入れた後で、リモコンの［決定］を押しながら左上の［入力切換］を押して、出力先を切り換えてください。
- D1/D2映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D端子をいったん外して「映像端子との接続」（27ページ）の接続を行ってから、「接続するテレビに合わせて設定する」（77ページ）の「D端子出力設定」を「固定：525i」または「自動：D2」に設定してください。「D端子出力設定」の設定が正しくないと、D映像出力端子からの映像がテレビに映りません。
- HDMI出力端子（またはD出力端子）と映像端子（またはS映像出力端子）を同時に接続すると、映像端子（またはS映像出力端子）側の映像には、メニューやナビゲーション画面が映らなかったり、乱れる場合があります。また、HDMI出力（またはD出力端子）の映像は映像端子（またはS映像出力端子）に比べ、わずかに遅れます。
- D映像端子をご使用のときは、音声コードは必ずD端子用音声出力端子に接続してください。

お知らせ

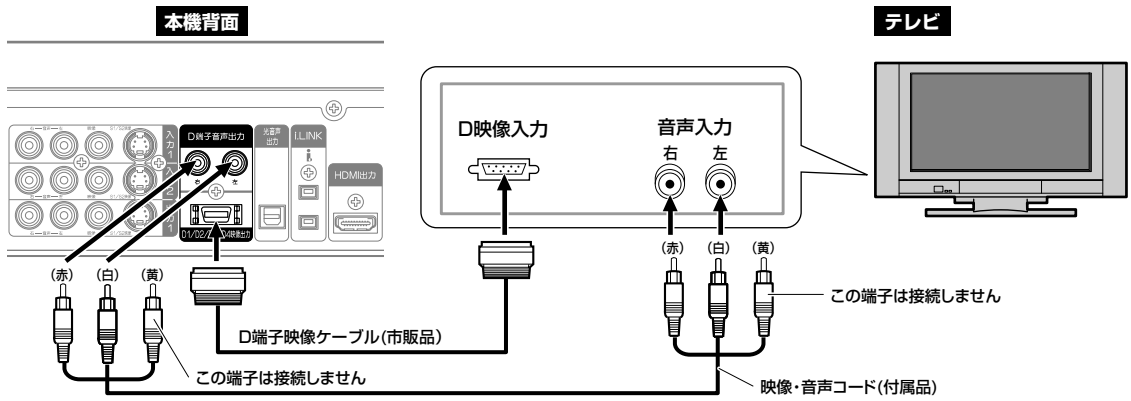
- S映像端子／映像端子
  お使いのテレビにオートワイドやスムーズワイド機能がある場合、画面上の表示が一部見えなくなることがあります。そのような場合は、テレビの表示モードをフルモード（16:9 固定表示モード）またはノーマルモード（4:3 固定表示モード）に切り換えてください。
- S映像端子
  本機は自動的にワイドテレビの画面表示を切り換えるS1/S2規格に対応しています。

HDMI端子と接続する場合（DV-DH1000D/500D/250D）



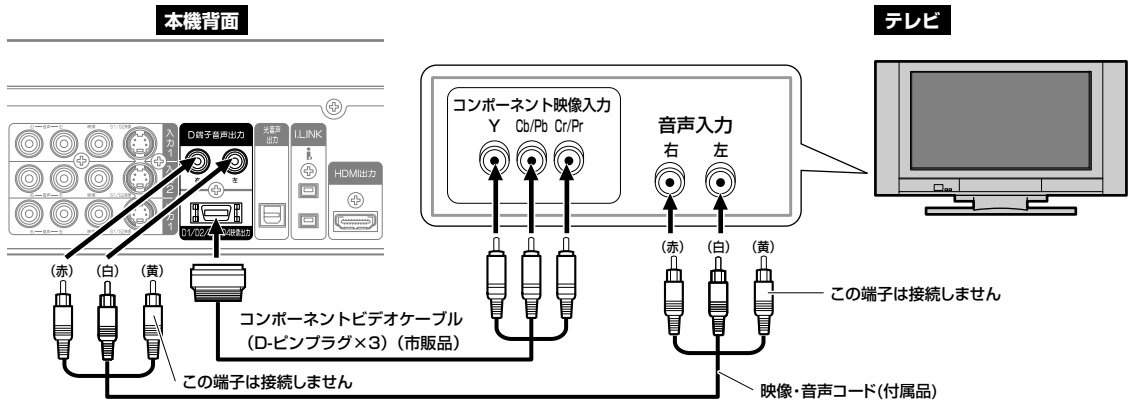
●「各種設定」メニューの「デジタル音声出力」が「AAC」に設定されていると、音声が出ません。「PCM」に設定してください（『操作編』147ページ）。

D映像端子と接続する場合



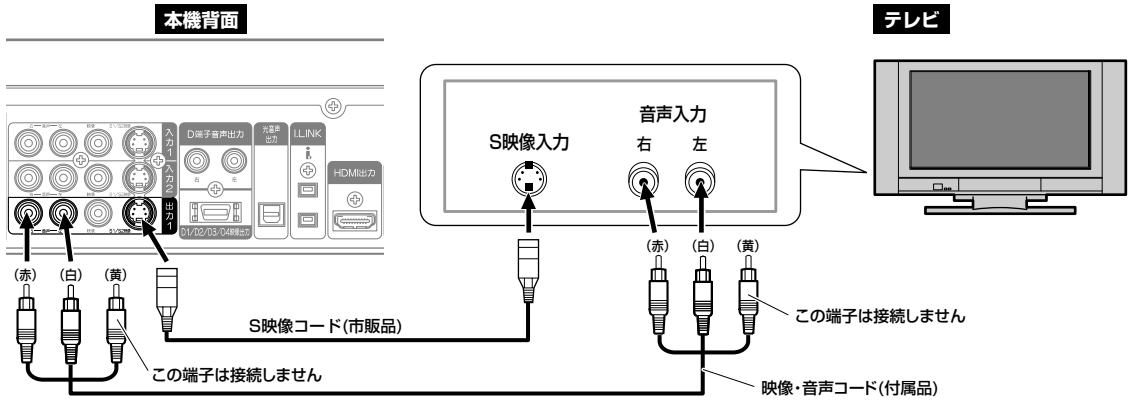
●音声コードは、必ずD端子用音声出力端子に接続してください。
●HDMI端子とD映像端子を同時に接続すると、どちらか一方しか出力されません。
リモコンの［決定］を押しながら左上の［入力切換］を押して、切り換えてください。

コンポーネント端子と接続する場合

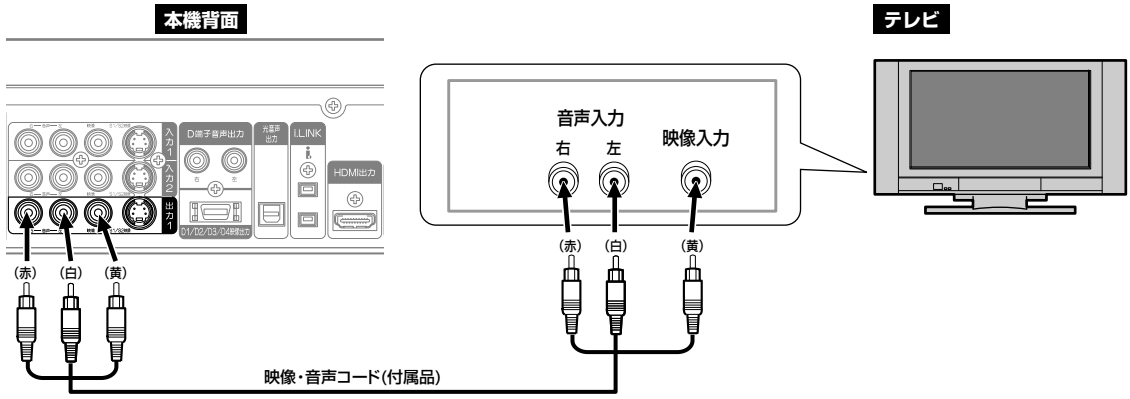


●音声コードは、必ずD端子用音声出力端子に接続してください。
●お使いのテレビのコンポーネント端子がハイビジョン専用（Y、Pb、Pr）の場合は、本機からの出力がハイビジョン信号のときのみ、テレビに映ります。

S映像端子と接続する場合



映像端子と接続する場合



ご注意

- HDMI出力端子（またはD出力端子）と映像端子（またはS映像出力端子）を同時に接続すると、映像端子（またはS映像出力端子）側の映像には、メニューやナビゲーション画面が映らなかったり、乱れる場合があります。また、HDMI出力（またはD出力端子）の映像は映像端子（またはS映像出力端子）に比べ、わずかに遅れます。
- D映像端子をご使用のときは、音声コードは必ずD端子用音声出力端子に接続してください。
- 本機のHDMI端子を変換ケーブルなどを使ってテレビやモニターのDVI端子に接続した場合、本機の設定に関らず、1125iや750pモードで映像を出力することはできません。
- 本機のHDMI端子に接続したテレビやオーディオ機器によっては、対応音声フォーマットにより音声が出ないことがあります。
  この場合は、「各種設定」の「デジタル音声出力」を「PCM」に設定してください（『操作編』147ページ）。
- HDMIケーブルは、 HDMI の表示があるケーブルを使ってください。

HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標又は登録商標です。

⑤CATV（ケーブルテレビ）を視聴する場合

CATV（ケーブルテレビ）には、以下のような伝送方式があります。

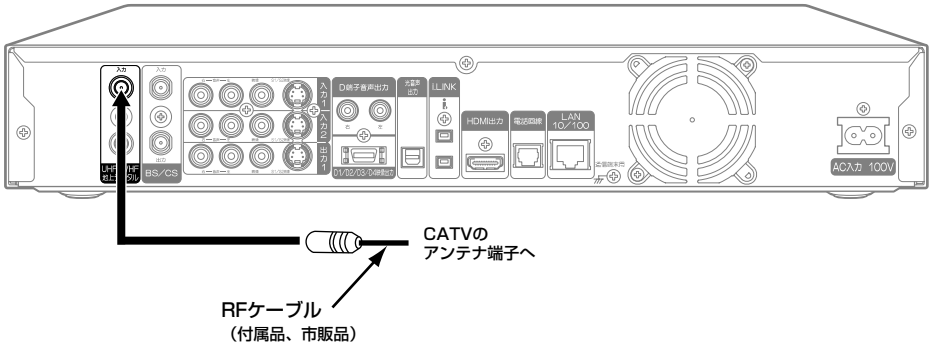
●CATVの受信はCATV会社との契約が必要です。また、放送方式や接続について、詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

伝送方式	特長	本機の対応
同一周波数パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送が変換されずにそのまま伝送される方式です。 アンテナ線を本機と接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○
周波数変換パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送をCATVで伝送可能な周波数に変換して伝送する方式です。 アンテナ線を本機と接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○
トランスモジュレーション方式	放送局から受信した電波をケーブルテレビ局の電波に変換して送信する方式です。 アンテナ線を本機に接続してもデジタル放送はご覧になれません。 CATVホームターミナルの映像・音声出力を本機と接続すると、CATVの番組を本機で録画することができます。CATVホームターミナル側の接続については、CATVホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。	○

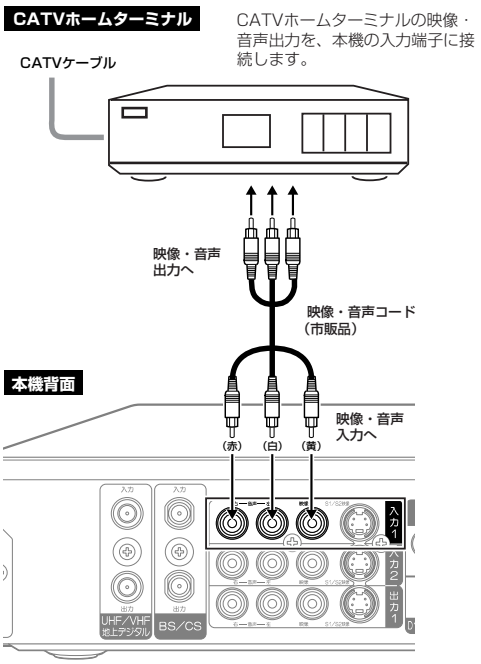
お知らせ

● CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）を受信するにはアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

■ 同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式の場合



■ トランスモジュレーション方式の場合（CATVホームターミナルをご利用ください）



・ハイビジョン画質での録画はできません。
・本機の番組表やダウンロード機能はお使いになれません。

ご注意

● CATVホームターミナルのD映像端子やコンポーネント映像端子からの映像を録画することはできません。

お知らせ

● トランスモジュレーション方式は、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の再送信にも使用されているため、デジタル放送対応のCATVホームターミナル1台で地上・BS・110度CSのすべてのデジタル放送を受信することができます。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

⑥他の機器と接続する

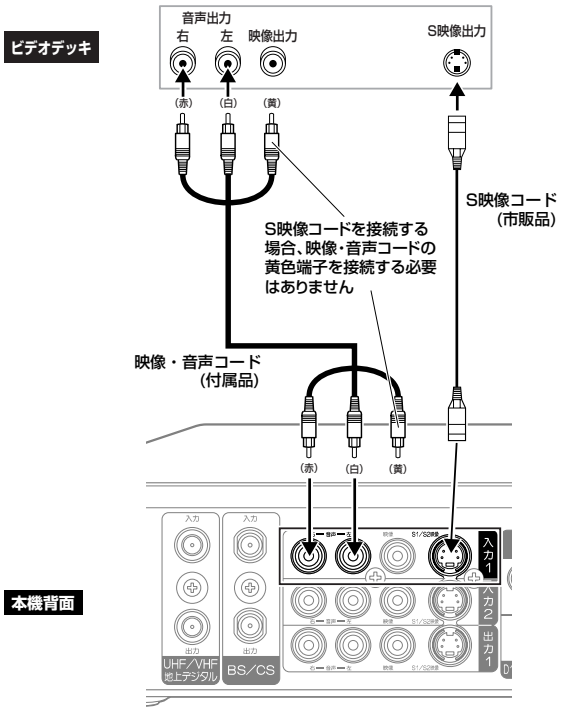
お好みやご使用の目的に合わせて、ビデオデッキなどお手持ちの他の機器を接続します。

ビデオデッキと接続する

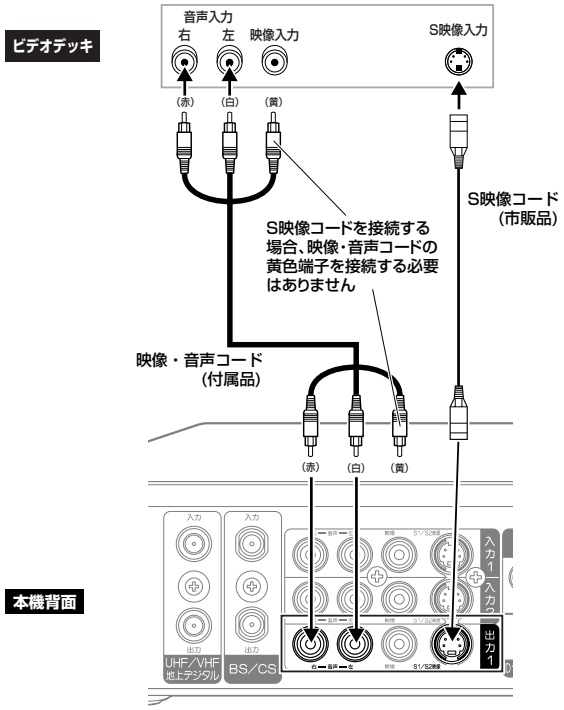
ビデオデッキと本機を接続すると、ビデオデッキで再生している映像をテレビに映したり、本機に録画することができます。また、本機で再生している映像をビデオデッキで録画することもできます。

映像・音声コードおよびS映像コードを使用して、下図のように接続してください。

■ 本機で録画する場合



■ ビデオデッキで録画する場合



お知らせ

- コピーガード信号が入っているテープを再生した場合は、コピーガードの影響により本機では正常に録画できません。

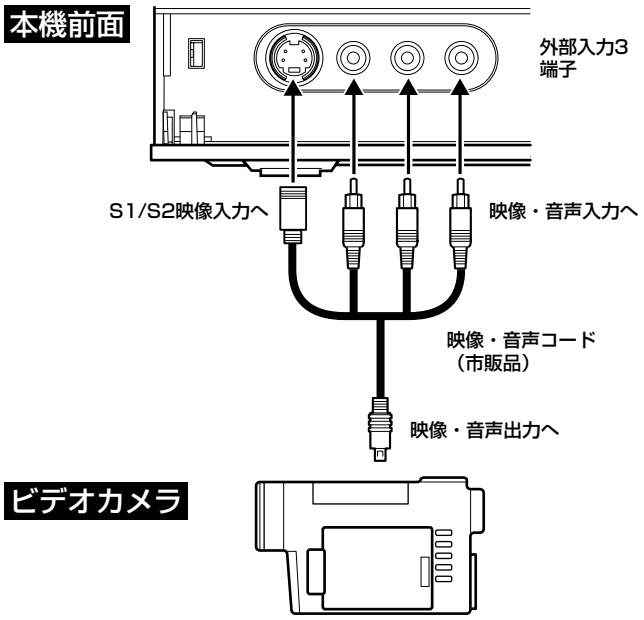
ビデオカメラと接続する

ビデオカメラと本機を接続すると、ビデオカメラで再生している映像をテレビに映したり、本機に録画することができます。

映像・音声コードおよびS映像コードを使用して、右図のように接続してください。

お知らせ

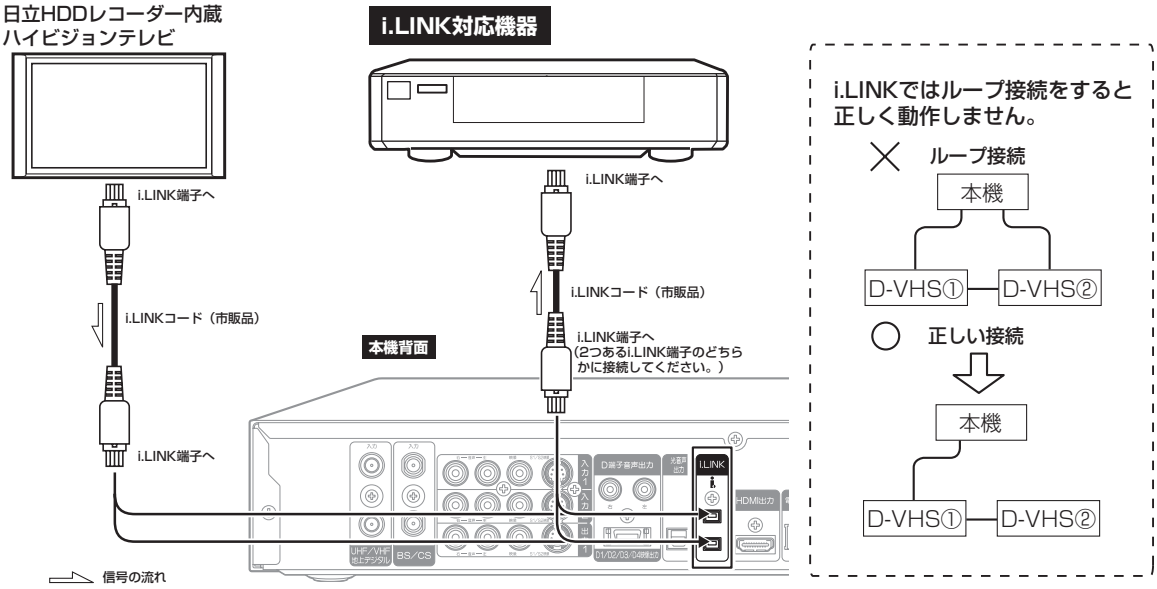
- S映像コードを接続する場合、映像・音声コードの黄色端子を接続する必要はありません。映像・音声コードの黄色端子とS映像コードの両方を接続した場合は、S映像コードの信号が優先されます。



i.LINK 対応機器と接続する（DV-DH1000D/500D）

i.LINK対応機器と本機を接続すると、双方向で映像、音声、制御信号を送信することができます。例えば、日立HDDレコーダー内蔵ハイビジョンテレビで録画したハイビジョン番組を本機へ移動（ムーブ）できます。また、本機とD-VHSビデオデッキを接続すれば、本機で録画したハイビジョン番組を、D-VHSビデオへ移動（ムーブ）することができます。またD-VHSビデオデッキの基本的な操作も可能です。

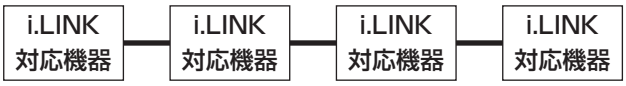
i.LINKコードを使用して、下図のように接続してください。



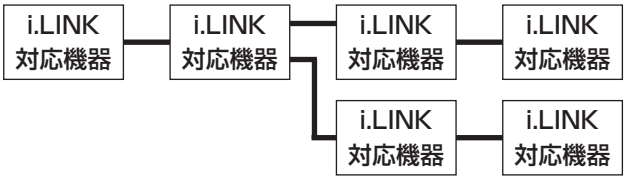
■ i.LINK対応機器の複数接続について

i.LINK対応機器は最大17台まで接続することができます。

信号は接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、データのやりとりや操作ができます。



i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続する場合は、i.LINK対応機器を最大63台まで接続することができます。



■ 本機と接続できるi.LINK 対応機器

本機では、下記のi.LINK 対応機器との接続のみ対応しています。**下記以外の機器は接続できません。**

●本機へムーブできる機器

日立HDD内蔵ハイビジョンテレビ

W42P-HR9000/W37P-HR9000/W32L-HR9000

●本機からムーブできる機器

日立ハイビジョンHDD／DVDレコーダー

DV-DH1000D/DV-DH500D

D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ

DT-DRX100（日立製）、HM-DHX1（日本ビクター製）、HM-DHX2（日本ビクター製）、HM-DHS1（日本ビクター製）

Rec-POT M デジタルハイビジョン ハードディスクレコーダー

HVR-HD250F/HVR-HD160F/HVR-HD160M（I･O DATA製）（D-VHSモードでご使用ください）

お知らせ

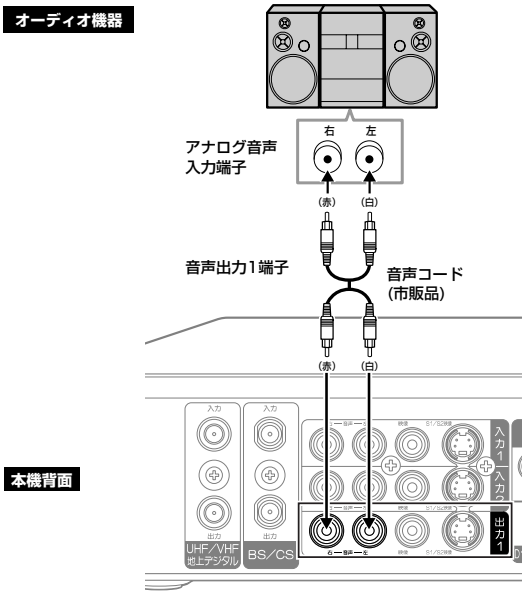
- 本機は最大転送速度が400Mbpsのため、i.LINK対応機器と接続する場合はS400対応以上の4ピンi.LINKコード（市販品）を使用してください。
- i.LINKコードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- i.LINKコードは、本機の2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。
- ループ接続にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤動作を起こします。
- i.LINKコードをテレビに近付けると、映像・音声が乱れたり、誤動作を起こすことがあります。i.LINKコードは、テレビからできるだけ離してください。
- 本機とD-VHSビデオデッキをアナログ接続する場合は、「ビデオデッキと接続する」（29ページ）を参照してください。
- 本機と接続したi.LINK対応機器の使用中は、使用していないi.LINK対応機器のi.LINKコードを外したり、接続したり、電源を入れる／切るなどの操作を行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- i.LINK対応機器には、電源を切っているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機では「i.LINK待機」（『操作編』119ページ）の設定で、本機の電源を切っているときでも接続しているi.LINK対応機器の制御を受けるように設定することができます。

AV機器と接続する

お手持ちのAV機器と接続すると、テレビ放送や録画した番組を迫力ある音響で楽しむことができます。

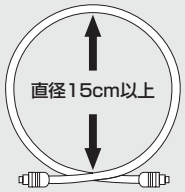
■ アナログ音声端子で接続する場合

音声コードを使用して、下図のように接続してください。



ご注意

- 長さが3m以下の光デジタルケーブルを使用してください。
- 光デジタルケーブルを接続するときは、しっかり奥まで差し込んでください。
- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際は、直径が15cm 以上になるように巻いてください。



- 本機に接続しているアンプやデコーダーがAAC、ドルビーデジタル、DTSに対応している場合は、「各種設定」メニューの「デジタル音声出力」（『操作編』147ページ）を「AAC」に設定してください。対応していない場合は、「PCM」に設定してください。
各機能の設定が正しくないと、デジタル放送を映すときに音が歪み、スピーカーが壊れることがあります。

お知らせ

- MPEG-2 AACやドルビーデジタル、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

■ 光デジタル音声端子で接続する場合

●光デジタルケーブルで接続する場合

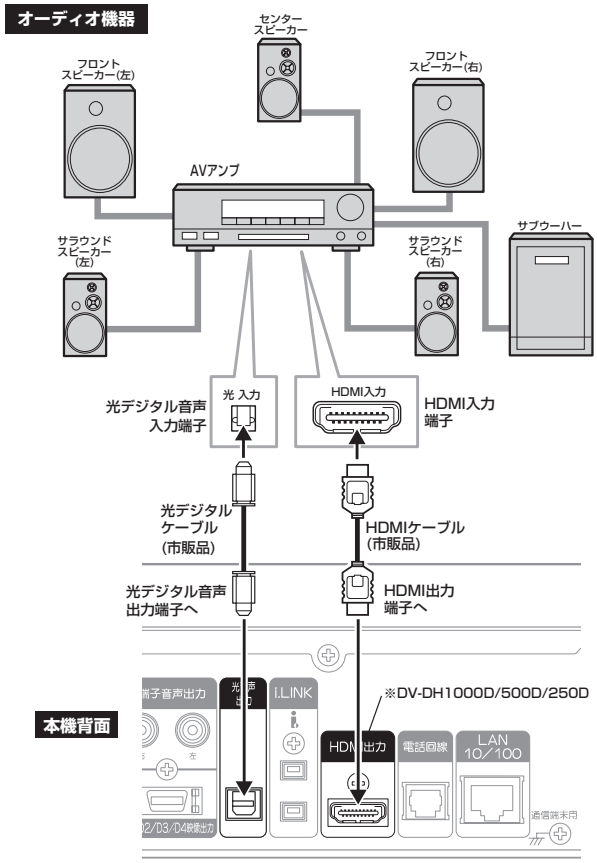
AAC、ドルビーデジタル、DTS対応のAVアンプと接続すると、臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。下図のように接続してください。

●HDMIケーブルで接続する場合 (DV-DH1000D/500D/250D)

HDMI入力対応のAVアンプと接続できます。
本機の「各種設定」メニューの「デジタル音声出力」を「PCM」に設定してください（『操作編』147ページ）。
HDMI接続はDTS出力に対応していません。DTSデジタルサラウンドをお楽しみになる場合は、光デジタルケーブルをご利用ください。

ご注意

- HDMI端子とD端子の両方をAVアンプに接続すると、AVアンプの入力切換によってHDMI出力が出ない場合があります。この場合はリモコンの［決定］を押しながら左上の［入力切換］を押して、本機の出力を切り換えてください。



AACのデジタル放送番組では、［音声切換］を押しても光デジタル音声出力の音声は切り換わりません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「Dolby」「ドルビー」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSとDTS Digital Outは米国Digital Theater Systems.Inc.の登録商標です。

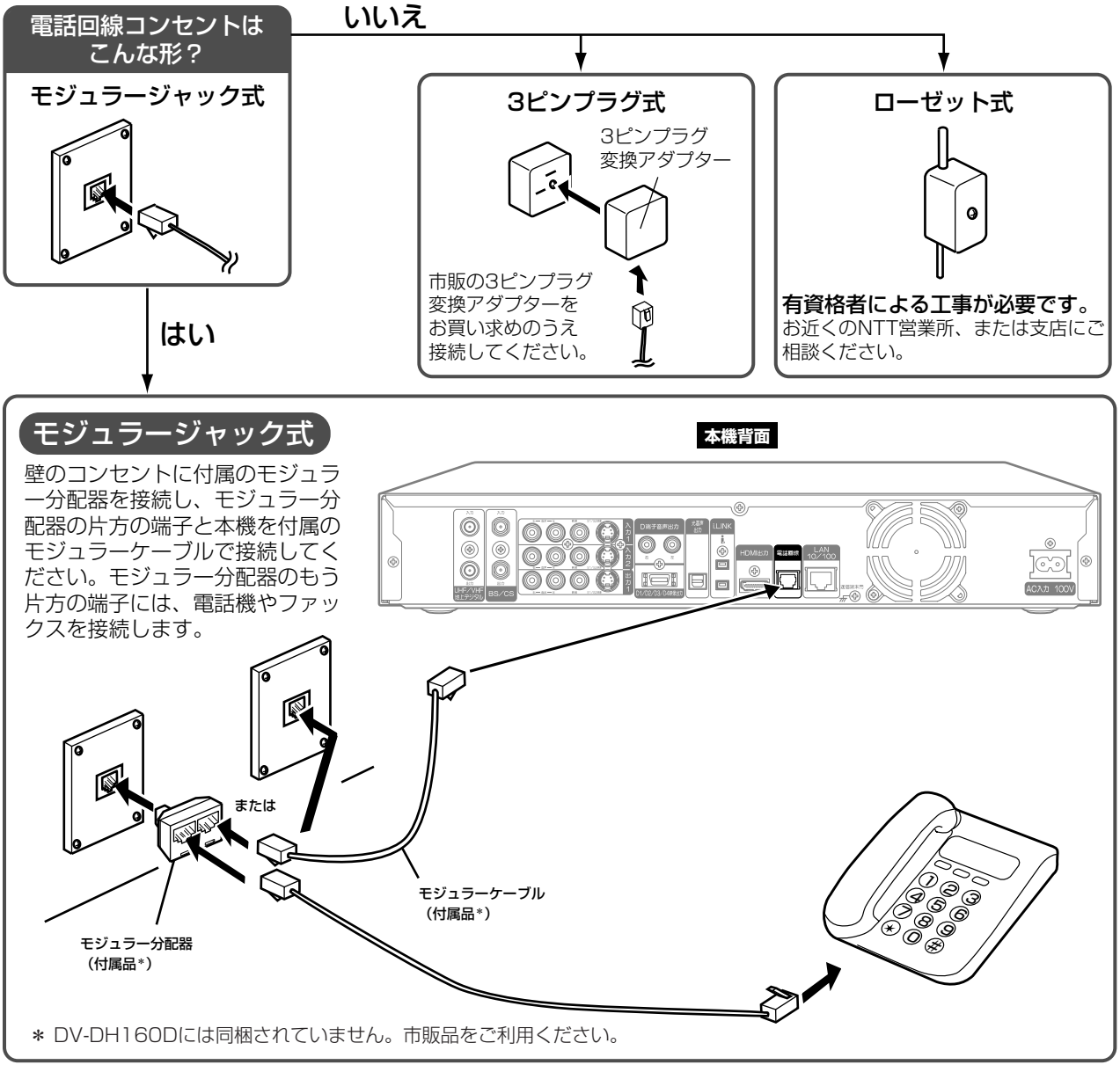
❼デジタル放送の拡張機能を使う

電話回線と接続する

本機を電話回線に接続すると、デジタル放送の有料番組の視聴記録を送信したり、視聴者参加番組へ参加したりできます。モジュラー分配機とモジュラーケーブルを使用して、下図のようにNTTの2線式公衆電話回線を分配し、プッシュ式またはダイヤル式（10PPS/20 PPS）の電話機と本機を接続してください。

また、電話回線を接続したあとは、回線の種類や発信者番号通知などを必ず設定してください（69ページ）。

なお、ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。



＊ DV-DH160Dには同梱されていません。市販品をご利用ください。

お知らせ

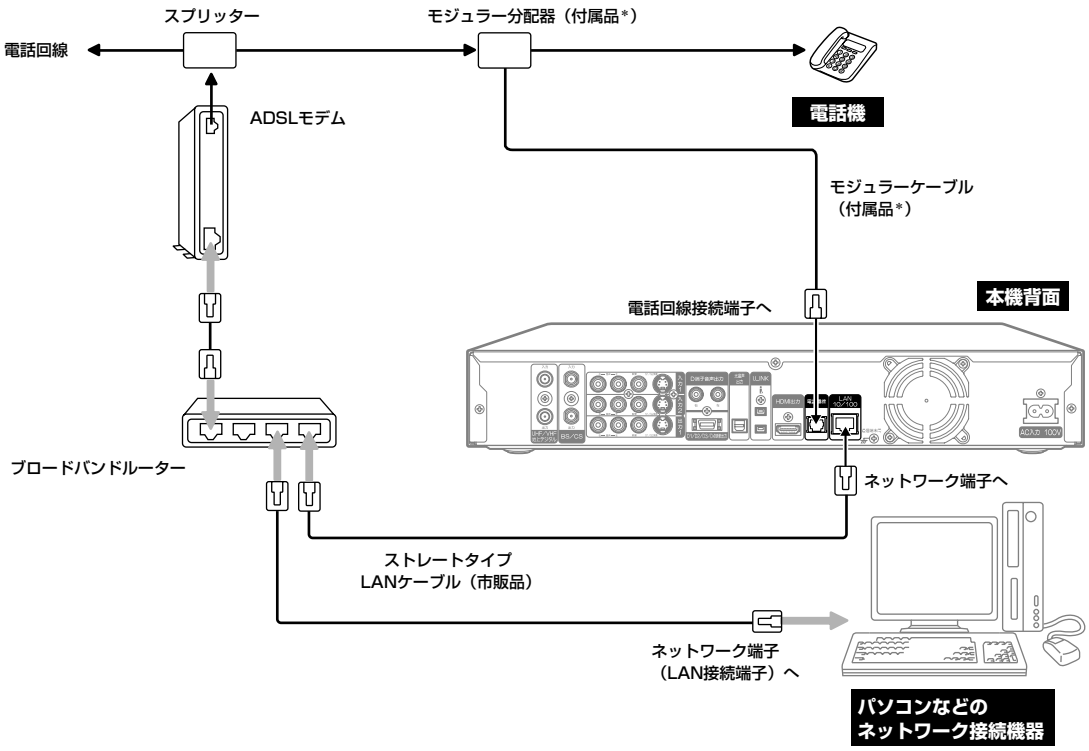
- ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店またはNTTの営業所や支店にご相談ください。

インターネット網に接続する

本機は、地上デジタル放送、BSデジタル放送の新しい双方向データサービス（データ放送）に対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続できるLANインターフェースを装備しています。必要に応じてインターネット網に接続してください。

お知らせ

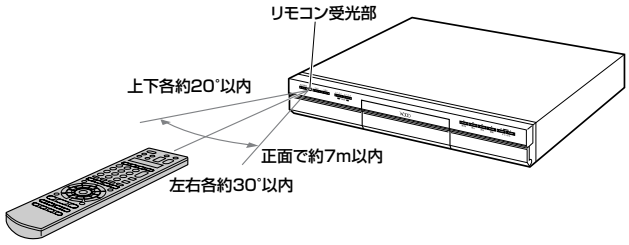
- 本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。
- 本機は、ADSLモデムまたはブロードバンドルーターを経由してインターネット網に接続してください。電話回線から直接インターネット網へ接続することはできません。
- スプリッターを介して電話回線を分配する場合は、市販の分配器を使用してください。
- 本機は、地上デジタル放送の双方向データサービス通信が行われるまで、DHCPによるIPアドレス取得を行いません。



＊ DV-DH160Dには同梱されていません。
市販品をご利用ください。

リモコンの準備

リモコンの使用範囲について



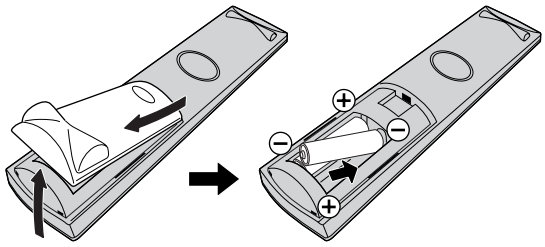
お知らせ

- 本機の受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本機の受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 本機をラックなどに入れて使用するときは、ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

電池を入れる

リモコンに電池を入れると、本機を操作できるようになります。

付属の単3形乾電池（2本）の⊕⊖を確認して、⊖側に押しながら入れてください。



⚠注意 乾電池の使用上のご注意

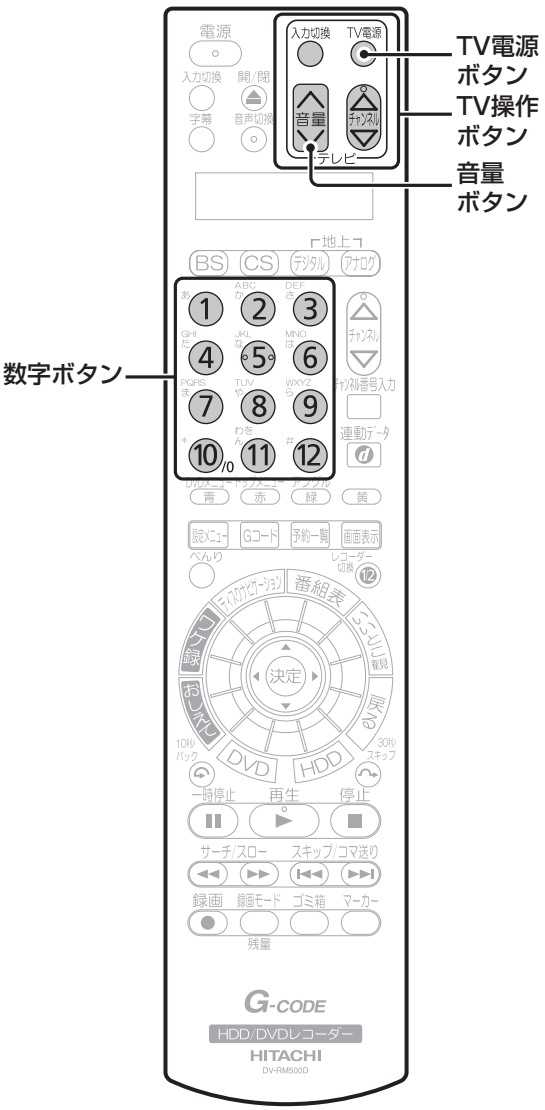
- 本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池をリモコンに挿入するときは、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、リモコンの表示どおりに正しく入れてください。向きを間違えて入れると、乾電池の破裂・液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

お知らせ

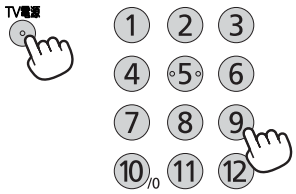
- リモコンの電池を交換すると、リモコンでテレビの操作ができなくなります。
  この場合は、もう一度テレビのメーカー番号を設定してください（36ページ）。
- 電池を交換するときは、2本同時に交換してください。
- 乾電池はマンガン電池、またはアルカリ電池をご使用ください。マンガン電池とアルカリ電池の併用はしないでください。

リモコンでテレビを操作できるようにする

本機と接続しているテレビをリモコンで操作できるように設定します。



1 [TV電源] を押しながら、数字ボタン（2桁）を押す



● メーカー番号は下記の表をご覧ください。メーカー番号が複数ある場合は、テレビの音量調節などを正しく操作できる番号を選んでください。

例）番号「01」を入力するとき

［⑩/0］を押してから、［①］を押します。

メーカー	番号	メーカー	番号
日立	01	シャープ（1）	09
松下（1）	02	シャープ（2）	10
ビクター	03	富士通ゼネラル	11
ソニー	04	NEC	12
東芝	05	日立／松下（2）	13
三菱	06	松下（3）	14
サンヨー（1）	07	松下（4）	15
サンヨー（2）	08	パイオニア	16

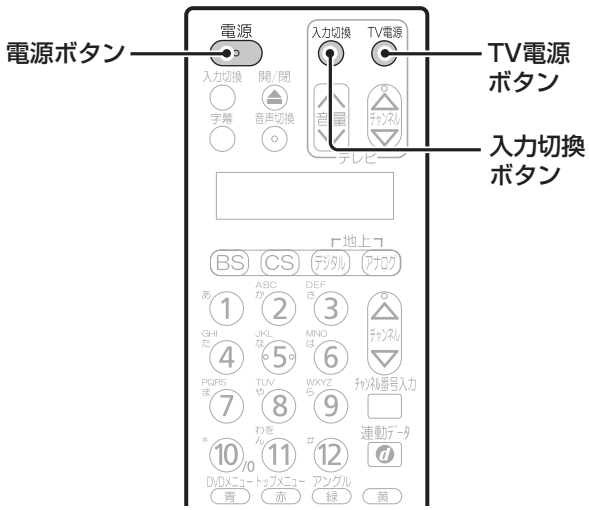
2 リモコンをテレビに向け、[TV電源]、[入力切換]（テレビ側）、[チャンネル△▽]（テレビ側）、[音量へ〉] などを押して、テレビを操作できるか確認する

ご使用になるテレビ（プラズマテレビ、液晶テレビを含む）の製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かない場合があります。この場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

お知らせ

● 下記の日立製BSデジタルハイビジョンテレビをご使用の場合は、メーカー番号を「13」に合わせてください。
・W32-DH2000　・W36-DH2000
・36CL-DH2200　・32CL-DH2200

電源を入れる／切る



電源を入れる

はじめて本機の電源を入れたときは、簡単セットアップが自動的に起動します（38ページ）。

1 ［電源］を押す

電源

本体の表示窓に「HELLO」のメッセージが表示され、電源が入ります。

- 「HELLO」が繰り返し表示されている間はハードディスク（HDD）の起動処理を行っています。「HELLO」の表示が消えるまでしばらくお待ちください。（約40秒以上）
- 本体にDVDディスクを入れているときは、DVDディスクの確認処理を行うため、「HELLO」の表示が消えるまでさらに時間がかかります。

2 ［TV電源］を押す

TV電源

テレビの電源が入ります。

3 ［入力切換］を押して、テレビの外部入力を本機に切り換える

入力切換

テレビ放送が表示されます。これでテレビ放送の視聴や録画、再生などが操作できるようになります。

- テレビ放送が表示されない場合は、［入力切換］を繰り返し押して、テレビの外部入力が本機に切り換わっているか確認してください。また、本機とテレビの接続を確認してください（25ページ）。

お知らせ

- 本取扱説明書では、「電源コードが接続されて、本機の電源が切れている状態」を『待機』（録画予約がある場合は『予約待機』）と表記しています。

お知らせ

- テレビとD映像出力端子、あるいはHDMI出力端子を接続しているのに映像がテレビに映らない場合は、本機の電源を入れた後で、リモコンの［決定］を押しながら左上の［入力切換］を押してください。
  この操作をするたびに、本機の映像の出力先が以下のように切り換ります。
  D映像出力端子 ⇔ HDMI出力端子
  ※同時に出力することはできません。
- 設定メニュー（60、61ページ）の「各種設定」メニューの「無操作電源オフ」を「する」に設定すると、本機を操作しないまま約2時間が経過すると自動的に本機の電源が切れます。初期設定は、「しない」です。
- 設定メニュー（60、61ページ）の「各種設定」メニューの「FL省電力」を「する」に設定すると、待機時や電源を切ったときに本体表示窓に何も表示さず、約1.2Wの電力を節約できます。「FL省電力」が「しない」（初期設定）に設定されているときは、本体表示窓に時計や録画予約マークなどが表示されます。

電源を切る

1 ［TV電源］を押す

TV電源

テレビの電源が切れます。

2 ［電源］を押す

電源

本体の表示窓に「BYE」のメッセージが表示され、電源が切れます。

- 電源を切った直後は、もう一度［電源］を押しても電源が入らない場合があります。そのような場合は、しばらく待ってからもう一度［電源］を押してください。

すぐに操作できるようにする（高速起動）

電源が切れている状態から、操作がすぐにできるように設定できます。「HDD-DVD設定」メニューの「高速起動」を「する」に設定してください（『操作編』146ページ）。

お知らせ

- 高速起動を「する」に設定すると、電源を切ったときの待機消費電力が増加します（『操作編』165ページ）。また、内部回路が動作しているため、冷却用ファンが回転します。

簡単セットアップ

本機の電源をはじめて入れたときに、簡単セットアップ画面が表示されます。

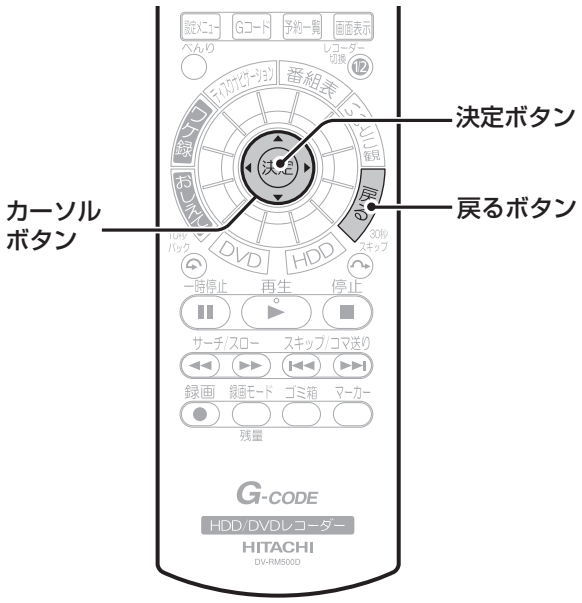
画面の指示に従って、テレビ放送の視聴に必要な設定を行ってください。

簡単セットアップ画面は、次回電源を入れたときからは表示されません。

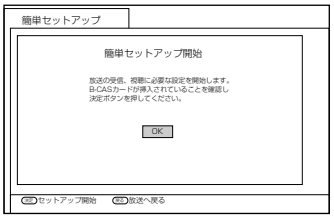
お知らせ

- 一画面前に戻るときは、［戻る］を押します。

- 簡単セットアップを途中で終了するときは、メニュー画面が消えるまで［戻る］を繰り返し押します。
- 「設定メニュー」の「受信設定」メニューから各機能を個別に設定することもできます（42ページ）。



1 「簡単セットアップ開始」画面が表示されているのを確認して［決定］を押す

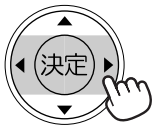


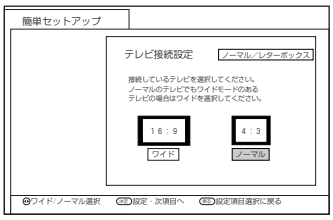
- 「OK」が黄色になってから［決定］を押してください。
- 「OK」が黄色になるまで数分かかる場合があります。

2 接続しているテレビに合わせて本機の設定をする

① 画面の指示に従いテレビのタイプ（アスペクト比）を［カーソル◀▶］で選び、［決定］を押す

「アスペクト比について」（41ページ）、およびテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。



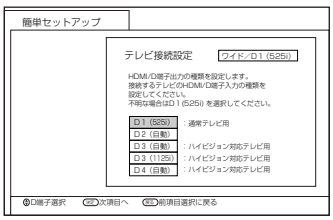


② **手順①で「ワイド（16：9）」を選んだ場合**

お使いのテレビのHDMI/D端子(DV-DH160DではD端子)の種類（D1～D4）に合ったものを［カーソル▲▼］で選び、［決定］を押す

（S映像端子、映像端子で接続する場合は、「D1(525i)」を選んでください。）

「お知らせ」（41ページ）、およびテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

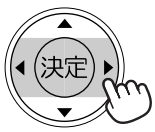


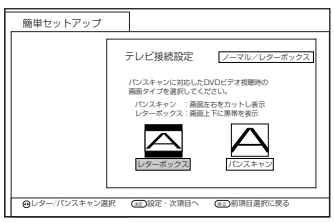
最後に「画面は正常に表示されていますか。」の確認メッセージが表示されます。正常に表示されている場合は［カーソル◀▶］で「はい」を、正常に表示されない場合は［戻る］を押して手順②を再度行ってください。

手順①で「ノーマル（4：3)」を選んだ場合

パンスキャンに対応したDVDを視聴するときのテレビの映り方を、画面の説明で確認して、［カーソル◀▶］で選び、［決定］を押す

（D端子付きの4：3テレビに接続する場合は、テレビ側のV圧縮表示機能をオンにして、本機のテレビ接続設定を「ワイド（16：9)」にしてください。）





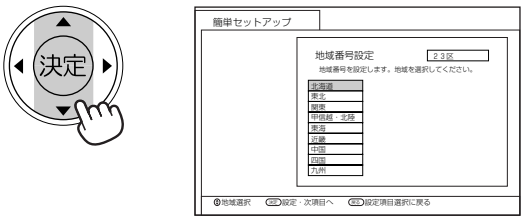
お知らせ

- 本機を4：3テレビのD端子に接続する場合、正しい縦横比で映像を表示するためには、テレビ側の映像を上下に圧縮（V圧縮）して表示する機能*が必要です。そのような機能がない4：3テレビには、D端子で接続できません。S映像端子や映像端子で接続してください。

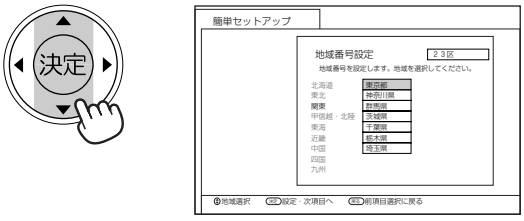
  * メーカーにより、高画質ワイドモード、高密ワイドモードなどと呼ばれています。

3 地上アナログ放送のチャンネル設定をする

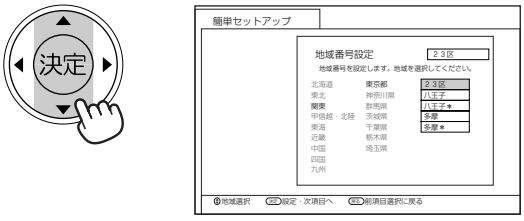
① [カーソル ▲▼] でお住まいの地方を選び、[決定] を押す



② [カーソル ▲▼] でお住まいの都道府県を選び、[決定] を押す



③ [カーソル ▲▼] でお住まいの地域を選び、[決定] を押す



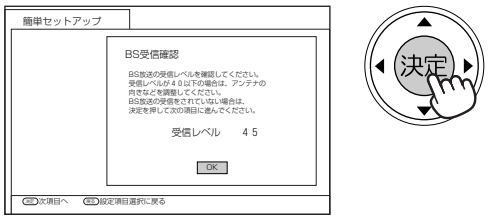
4 BSデジタル放送の受信設定をする

① [カーソル ◀▶] でBSアンテナへの電源供給設定を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 共聴受信やすでに他の機器（テレビ、ビデオなど）から、コンバーター電源が供給されている場合は、本機能を必ず「切」に設定してください。
- 本機能を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っていてもコンバーターへ電源を供給します。

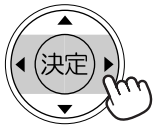
② BS放送の受信レベルを確認し、画面の指示に従う

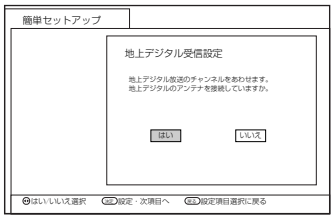


5 地上デジタル放送の受信設定をする

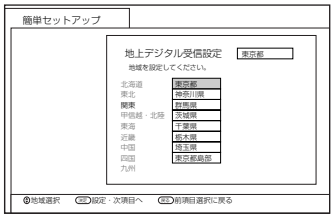
① 画面の質問に、［カーソル◀▶］で「はい」か「いいえ」で答え、［決定］を押す

「いいえ」を選んだ場合、これで手順5は終了です。手順6を行ってください。

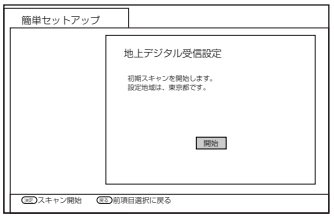




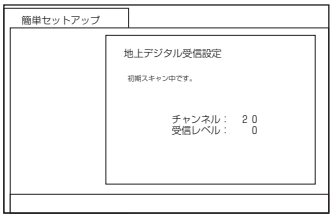
② 手順①で「はい」を選んだ場合は、［カーソル▲▼］でお住まいの都道府県を選び、［決定］を押す



③ 地上デジタル放送のスキャン開始画面を確認し、［決定］を押す



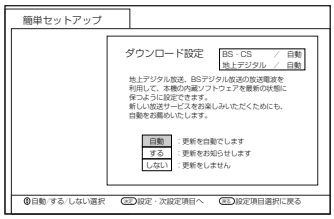
チャンネルのスキャンが始まります。



スキャン中は中断しないでください。

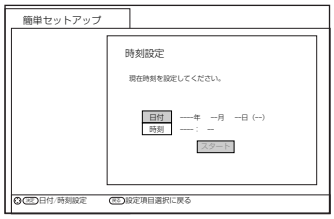
④ スキャンが終了すると次の画面が表示されるので、［決定］を押す

6 本機の内蔵ソフトウェアを最新に保つための設定を［カーソル▲▼］で選び、［決定］を押す



7 デジタル放送を受信していない場合は、［カーソル▲▼］と［決定］で年月日と時分を合わせる

詳しくは、「時計を合わせる」（64ページ）を参照してください。



8 「設定終了」画面が表示されたら、［決定］を押す

設定が完了し、通常画面に戻ります。

アスペクト比について

アスペクト比とは画面の縦と横の長さの比のことで、16：9（ワイド）と4：3があります。

本機では以下のように表示されます。

■ワイドテレビに接続した場合

○正しい表示です。
ワイド放送をワイドテレビで表示した場合です。

○正しい表示です。
4：3放送をワイドテレビで表示した場合です。

○正しい表示です。
4：3放送の上下に黒帯が入った映像を表示した場合です。
お使いのテレビによっては「ズーム」などの拡大機能を使って、中央部を画面いっぱいに表示することができます。

×誤った表示です。
ワイド放送の上下に黒帯が付いて表示されています。
「TV接続設定」の「ワイドTV接続」を「する」に設定してください（77ページ）。

×誤った表示です。
テレビ側のワイドモード切替で、「フル」モードなど画面いっぱいになるように切り換えてください。

△本機のD映像出力端子からテレビの1125i信号専用のコンポーネント端子に接続し、4：3放送を視聴した場合の表示です。
正しい縦横比で表示するには、S映像端子または映像端子で接続してください。（ただしハイビジョン画質では表示されません。）

■4：3テレビに接続した場合

○正しい表示です。
4：3放送を4：3テレビで表示した場合です。

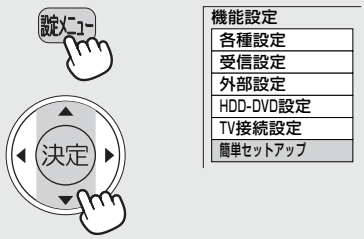
○正しい表示です。
ワイド放送を4：3テレビで表示した場合です。

×誤った表示です。
ワイド放送が4：3画面に縦長に表示されています。
「TV接続設定」の「ワイドTV接続」を「しない」に設定してください（77ページ）。

○正しい表示です。
画面の一部が拡大された表示です。
「TV接続設定」の「16：9映像出力」を「パンスキャン」に設定し、パン＆スキャンに対応した市販のDVDビデオを再生した場合です。

お知らせ

- [設定メニュー]を押し、[カーソル ▲▼]で「簡単セットアップ」を選択して［決定］を押すと、再度簡単セットアップを行うことができます。



- デジタル放送の受信設定でデジタル放送の受信レベルが低い場合は、受信できないことがあります。この場合は、アンテナの向きを調整したり、接続状況（接栓・分配・混合など）を確認してから、受信レベルの数値が地上デジタル放送の場合は「45」以上、BS／CSデジタル放送の場合は「40」以上あることを確認してください（53、55ページ）。
- 「お使いのテレビの接続設定」では、テレビ側の端子をご確認ください。
  - ・「D1」/「D2」：ハイビジョン未対応の通常テレビ
    「D1映像入力端子」「D2映像入力端子」のあるテレビに接続するとき、または、D端子を使用せず「外部入力端子」「S映像入力端子」と接続するときに選びます（25ページ）。
  - ・「D3」/「D4」：ハイビジョン対応テレビ
    「D3映像入力端子」「D4映像入力端子」のあるテレビに接続するときに選びます（25ページ）。
- HDMI/D端子設定で「D3（自動）」「D3（1125i）」を選択しても、「自動」／「固定」の選択画面に移りません。
- 「時計の設定」で、デジタル放送を受信している場合は、時計の設定は必要ありません。

テレビ放送の受信に関する機能を設定する

簡単セットアップで基本的な設定は完了します。

さらに、不要なチャンネルをとばしたり、チャンネルを追加したりすることもできます。

本機の「受信設定」メニューから、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・CSデジタル放送の受信に関する各種機能を設定します。

受信設定メニューで設定できる機能は以下のとおりです。

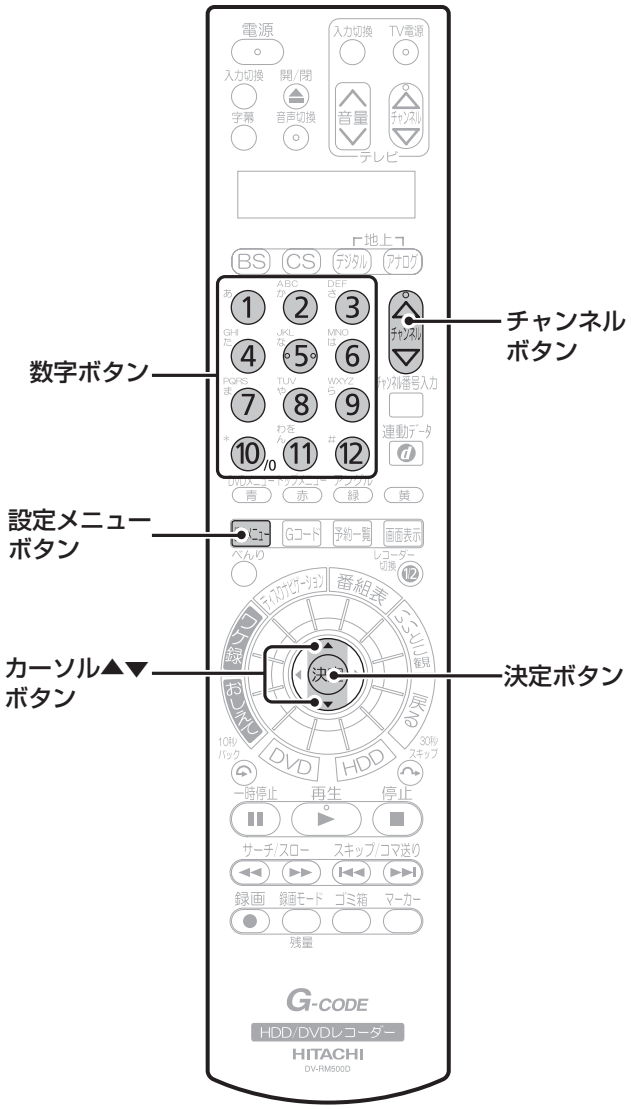
機能名		機能説明	参照ページ
郵便番号		お住まいの地域の郵便番号および地域番号を入力して、地上アナログ放送のチャンネルを自動的に設定します。	43、44
地域設定			
地上アナログ	CH合せ（マニュアル）	地上アナログ放送のチャンネルを手動で追加・変更します。	45
	CHスキップ設定	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	56
	アッテネーター	VHF/UHFアンテナから入る電波が強すぎて妨害が起こる場合は、［入］に設定します。	49
	GRT設定 （DV-DH1000Dのみ）	画像が二重三重になったり、にじんで見えたり、色や明るさがおかしくなったりするゴースト妨害を軽減するように設定します。	50
地上デジタル	CH合せ（地域名）	お住まいの都道府県名を設定して、地上デジタル放送のチャンネルを自動的に設定します。	51
	CH合せ（マニュアル）	各数字ボタンに割り当てられている地上デジタル放送のチャンネルを変更します。	54
	CHスキップ設定	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	56
	受信周波数変更	放送局から送信される周波数の変更に合わせて、本機の周波数を自動的に変更するように設定します。	53
	ダウンロード	新しいソフトウェアを自動的にダウンロードして、本機の内蔵ソフトウェアが最新の状態になるように設定します。	59
BS・CS	CH合せ（BS）	各数字ボタンに割り当てられているBS・CSデジタル放送のチャンネルを変更します。	54
	CH合せ（CS）		
	CHスキップ設定（BS）	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	56
	CHスキップ設定（CS）		
	受信設定変更	衛星の故障などによって送信される周波数が変更されたとき、放送局からの指示に従って受信する周波数を変更します。	58
	ダウンロード	新しいソフトウェアを自動的にダウンロードして、本機の内蔵ソフトウェアが最新の状態になるように設定します。	59
	コンバーター電源	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給するように設定します。	57

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

簡単セットアップで基本的な設定は完了します。
お住まいの地域が変わったりした場合に、新たに設定することができます。

お住まいの地域の郵便番号および地域番号を入力すれば、地上アナログ放送のチャンネルを本機が自動的に設定します。

また、チャンネルを設定すると、お住まいの地域に関するデジタル放送の緊急放送やデータ放送を受信することもできます。



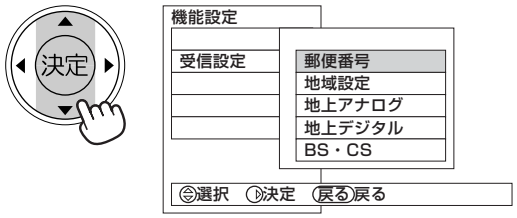
1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

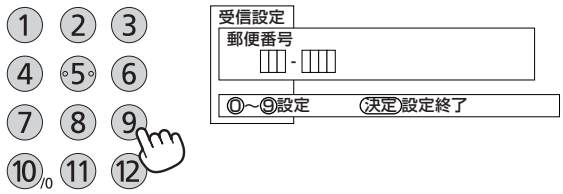
2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「郵便番号」を選び、[決定] を押す



4 数字ボタンでお住いの地域の郵便番号（7桁）を入力し、[決定] を押す



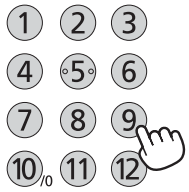
郵便番号が設定されます。

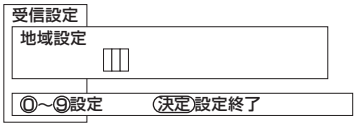
- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。

5 ［カーソル▲▼］で「地域設定」を選び、［決定］を押す

地域番号の入力画面が表示されます。

6 数字ボタンでお住いの地域の地域番号を入力し、［決定］を押す





・地域番号については、「地域番号一覧表」（79ページ）をご覧ください。

・入力した郵便番号と地域番号にもとづいて、地上アナログ放送のチャンネルが自動的に設定されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。
- 地域番号の頭に「0」がつく場合は、「0」を省略することができます。

7 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

8 ［チャンネル△▽］を押してチャンネルを切り換え、チャンネル番号と「地域番号一覧表」の放送局が合っているか確認する

■チャンネルの手動設定について

以下のような場合は、チャンネルを手動で設定してください。

- チャンネルを自動的に設定したあと、各チャンネルを変更、削除、追加するとき
- テレビに表示されているチャンネル番号と映っている放送局が合っていないとき
- 地域番号一覧表に記載されていない地域のチャンネルを設定するとき

チャンネルの手動設定については、「チャンネルを手動で合わせる（地上アナログ放送）」（45ページ）をご覧ください。

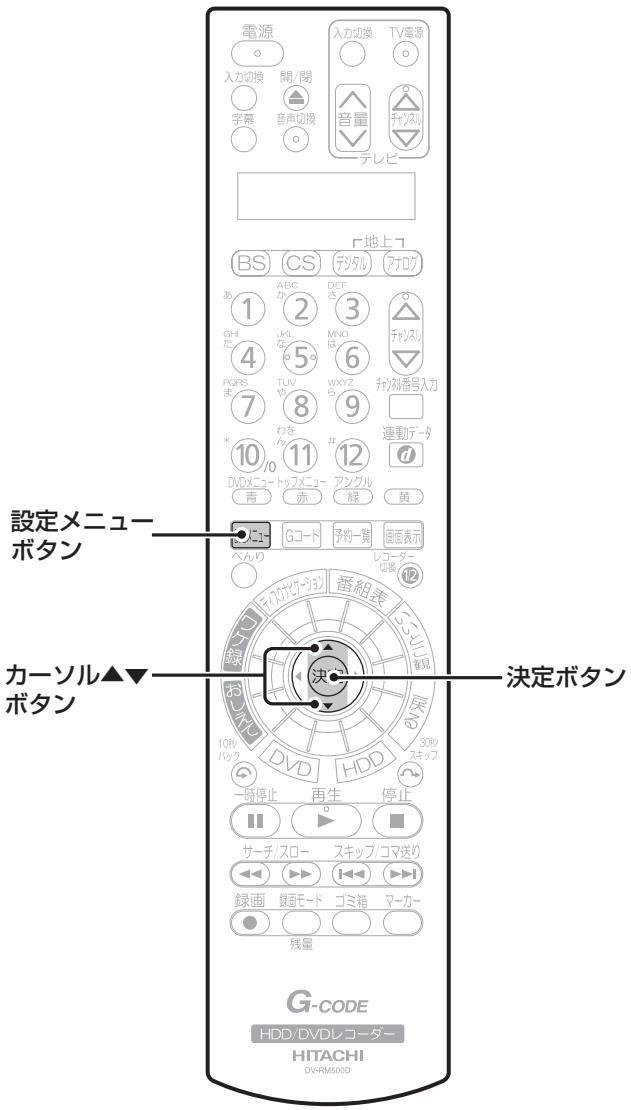
お知らせ

- ［チャンネル］を押してチャンネルを選局するとき、放送局が割り当てられていない空きチャンネルを自動的にスキップするように設定することができます（56ページ）。空きチャンネルをスキップするように設定しておくと、放送局が割り当てられているチャンネルのみ切り換えられるので、見たいチャンネルにすばやく切り換えることができます。

チャンネルを手動で合わせる（地上アナログ放送）

地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号を入力して自動的にチャンネルを合わせた後（43ページ）でチャンネルを追加・変更したいときは、手動でチャンネルを合わせることができます。

また、Gコード予約をするときは、必ずガイドチャンネルの設定を行ってください。



例として、［⑤］のボタンに「42」チャンネルを設定して、チャンネル表示を「35」、ガイドチャンネルを「42」と設定する場合の手順を説明します。

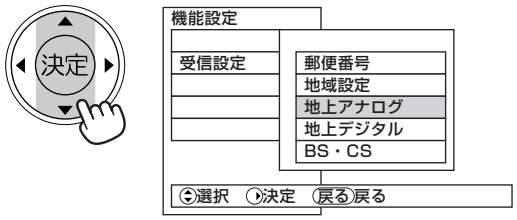
1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

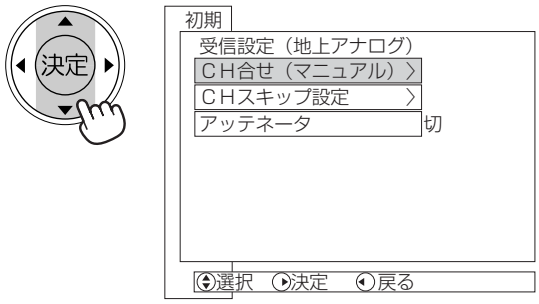
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

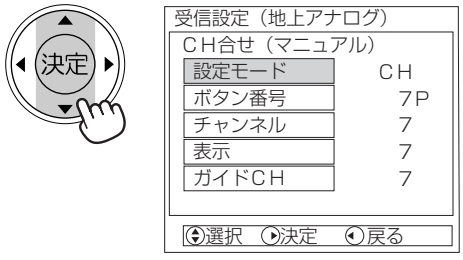
3 ［カーソル▲▼］で「地上アナログ」を選び、［決定］を押す



4 ［カーソル▲▼］で「CH合せ（マニュアル）」を選び、［決定］を押す



5 ［カーソル▲▼］で「設定モード」を選び、［決定］を押す

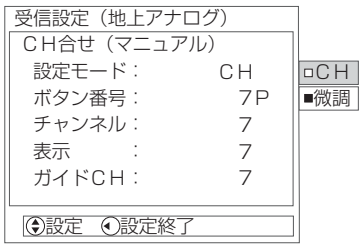


お知らせ

ガイドチャンネルについて

Gコード予約を正しく行うために、放送局ごとにつけられた特定の番号です。地域番号一覧表に記載されていない地域の方や、地域番号による設定後その他のチャンネルを追加した場合は、ガイドチャンネルの設定が必要です。

6 [カーソル▲▼]で「CH」を選び、[決定]を押す

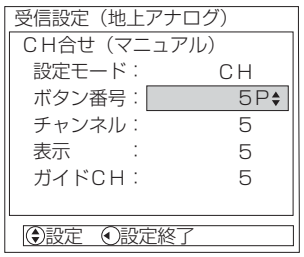


• 各チャンネルの周波数を微調整する場合は、「微調」を選びます。

7 [カーソル▲▼]で「ボタン番号」を選び、[決定]を押す

ボタン番号の設定欄にカーソルが移動します。

8 [カーソル▲▼]でチャンネルのボタン番号（ここでは5）を選び、[決定]を押す



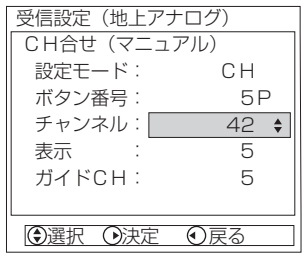
ボタン番号が設定されます。

• ボタン番号を「1P～12P」に設定したチャンネルは、数字ボタン［①］～［⑫］で選ぶことができます。「13P～38P」に設定したチャンネルは、チャンネルボタンで選ぶことができます。

9 [カーソル▲▼]で「チャンネル」を選び、[決定]を押す

チャンネルの設定欄にカーソルが移動します。

10 [カーソル▲▼]で受信するチャンネル（ここでは42）を選び、[決定]を押す



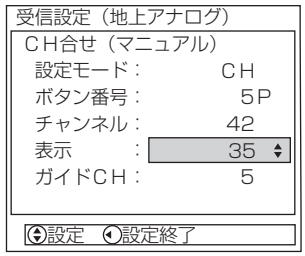
チャンネルが設定されます。

• 受信チャンネルについては、「地域番号一覧表」（79ページ）をご覧ください。
• 手順6で「微調」を選んだ場合は、［カーソル▲▼］を押すたびに、周波数が調整され、映像の映りが変わります。

11 [カーソル▲▼]で「表示」を選び、[決定]を押す

表示の設定欄にカーソルが移動します。

12 [カーソル▲▼]で画面に表示されるチャンネル番号（ここでは35）を選び、[決定]を押す

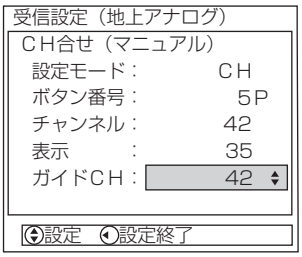


画面に表示されるチャンネル番号が設定されます。

13 [カーソル▲▼]で「ガイドCH」を選び、[決定]を押す

ガイドチャンネルの設定欄にカーソルが移動します。

14 [カーソル▲▼]でガイドチャンネル(ここでは42)を選び、[決定]を押す



Gコード予約のときのガイドチャンネルが設定されます。

- ガイドチャンネルについては、ガイドチャンネル一覧表（右欄～48ページ）をご覧ください。
- ガイドCHを未設定の状態にするには「--」を選択します。
- 他のチャンネルボタン番号で使用しているガイドCHを設定すると、先に設定されていたガイドCHが取り消され、未設定「--」になります。
- 続けてチャンネルを追加・変更したい場合は、手順7～14を繰り返します。

15 チャンネルの追加・変更が終了したら、[設定メニュー]を2回押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 地上アナログ放送を録画予約する場合、「表示」で設定した番号が予約一覧のチャンネルとして表示されます。複数のチャンネルで同じ表示番号を設定すると、正しく録画予約できないことがありますのでご注意ください。

ガイドチャンネル一覧表

地域	放送局	ガイドCH
全国	NHK総合	80
	NHK教育	90
北海道	HBC北海道放送	1
	STV札幌テレビ	5
	TVH（テレビ北海道）	17
	UHB（北海道文化放送）	27
	HTB北海道テレビ	35
青森	RAB青森放送	1
	青森朝日放送	34
	ATV青森テレビ	38
岩手	IBC岩手放送	6
	岩手朝日テレビ	20
	岩手めんこいテレビ	33
	テレビ岩手	35
宮城	TBCテレビ（東北放送）	1
	仙台放送	12
	KHB東日本放送	32
	ミヤギテレビ	34
秋田	ABS秋田放送	11
	AAB秋田朝日放送	31
	AKT秋田テレビ	37
山形	YBC山形放送	10
	さくらんぼテレビ	30
	テレビユー山形	36
	YTS山形テレビ	38
福島	福島テレビ	11
	テレビユー福島	31
	福島中央テレビ	33
	KFB福島放送	35
関東	日本テレビ	4
	TBS	6
	フジテレビ	8
	テレビ朝日	10
	テレビ東京	12
	東京MXテレビ	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉	38
	TVK（テレビ神奈川）	42
	チバテレビ	46
	群馬テレビ	48
	とちぎテレビ	23
新潟	BSN（新潟放送）	5
	新潟テレビ21	21
	TeNYテレビ新潟	29
	NST（新潟総合テレビ）	35
富山	KNB北日本放送	1
	チューリップテレビ	32
	BBT富山テレビ	34
石川	MRO（北陸放送）	6
	北陸朝日放送	25
	テレビ金沢	33
	石川テレビ	37
福井	FBCテレビ（福井放送）	11
	福井テレビ	39
山梨	YBS山梨放送	5
	UTY（テレビ山梨）	37

地域	放送局	ガイドCH
長野	SBC信越放送	11
	ABN長野朝日放送	20
	テレビ信州	30
	NBS長野放送	38
静岡	SBS（静岡放送）	11
	静岡第一テレビ	31
	静岡朝日テレビ	33
	テレビ静岡	35
中京	東海テレビ	1
	CBC（中部日本放送）	5
	メ～テレ（名古屋テレビ）	11
	テレビ愛知	25
	三重テレビ	33
	中京テレビ	35
	岐阜放送	37
関西	MBS毎日放送	4
	ABCテレビ（朝日放送）	6
	関西テレビ	8
	よみうりテレビ	10
	テレビ大阪	19
	テレビ和歌山	30
	BBCびわ湖放送	30
	KBS京都	34
	サンテレビ	36
	奈良テレビ	55
鳥取 島根	日本海テレビ	1
	BSSテレビ（山陰放送）	10
	山陰中央テレビ	34
岡山 香川	RNC西日本放送	9
	RSKテレビ（山陽放送）	11
	テレビせとうち	23
	KSB瀬戸内海放送	33
	OHKテレビ（岡山放送）	35
広島	RCCテレビ（中国放送）	4
	広島テレビ	12
	TSS（テレビ新広島）	31
	広島ホームテレビ	35
山口	KRY山口放送	11
	YAB山口朝日放送	28
	TYSテレビ山口	38
徳島	四国放送	1
愛媛	南海放送	10
	愛媛朝日放送	25
	あいテレビ	29
	テレビ愛媛	37
高知	高知放送	8
	テレビ高知	38
	高知さんさんテレビ	40
福岡	KBC九州朝日放送	1
	RKB毎日放送	4
	TNCテレビ西日本	9
	TVQ九州放送	19
	FBS福岡放送	37
佐賀	STSサガテレビ	36

地域	放送局	ガイドCH
長崎	NBC長崎放送	5
	NIB長崎国際テレビ	25
	NCC長崎文化放送	27
	KTNテレビ長崎	37
熊本	RKK熊本放送	11
	KAB熊本朝日放送	16
	KKTくまもと県民テレビ	22
	TKUテレビ熊本	34
大分	OBS大分放送	5
	OAB大分朝日放送	24
	TOSテレビ大分	36
宮崎	MRT宮崎放送	10
	UMKテレビ宮崎	35
鹿児島	MBC南日本放送	1
	KYT鹿児島読売テレビ	30
	KKB鹿児島放送	32
	KTS鹿児島テレビ	38
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
	RBCテレビ（琉球放送）	10
	QAB琉球朝日放送	28

お知らせ

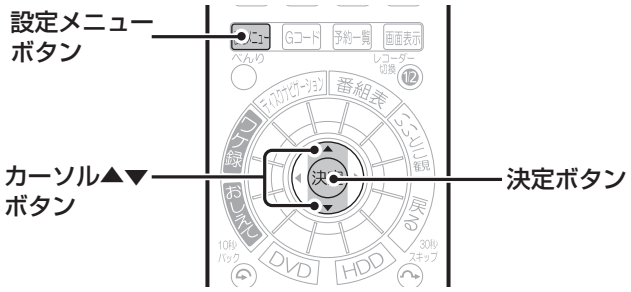
CATVなどでアナログBS放送をご覧になっている場合

アナログBS放送をVHF/UHF/CATVチャンネルに変換している場合は、下記のようにガイドCHを合わせてください。

放送局	ガイドCH
BS5(WOWOW)	73
BS7 NHK衛星第一	74
BS11 NHK衛星第二	76

映像が不安定になるとき（アッテネーターの設定）

地上アナログ放送時、VHF/UHFアンテナから入る電波が強すぎて、妨害が起こるような場合は、アッテネーターを「入」にします。通常は「切」にしてご使用ください。



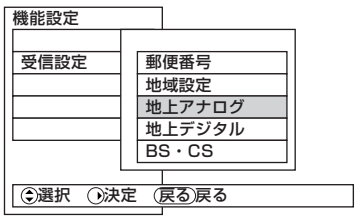
1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

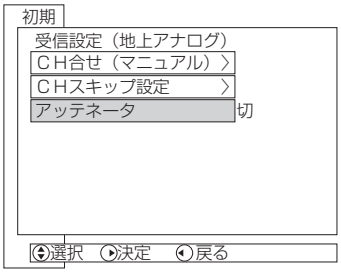
2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

受信設定メニューが表示されます。

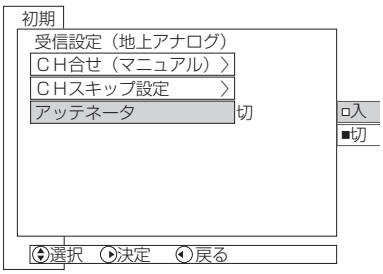
3 [カーソル▲▼] で「地上アナログ」を選び、[決定] を押す



4 [カーソル▲▼] で「アッテネータ」を選び、[決定] を押す



5 [カーソル▲▼] で「入」を選び、[決定] を押す



アッテネーター機能がオンになります。

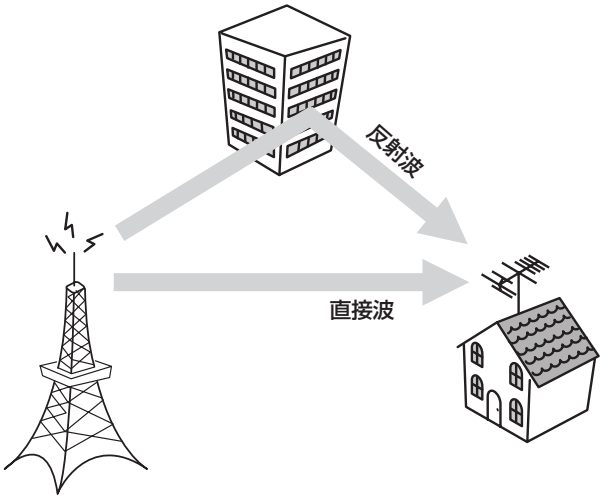
6 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

画像の二重三重映り（ゴースト）を軽減する（DV-DH1000Dのみ）（地上アナログ放送）

地上アナログ放送の放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、画像が二重三重になったり、にじんで見えたり、色や明るさがおかしくなったりします。これらの現象をゴースト妨害といいます。

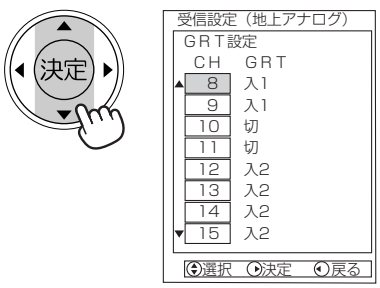
本機に搭載されているゴースト・リダクション・チューナー（GRT）により、ゴースト妨害を軽減する（ゴーストリダクション）ことができます。



1 [設定メニュー]を押して、地上アナログ放送の受信設定画面で「GRT設定」を選ぶ

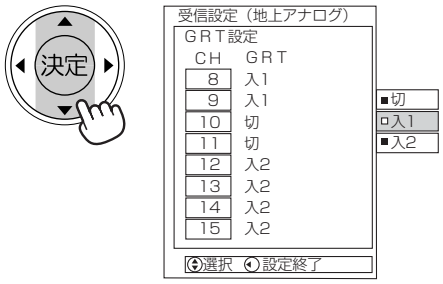
ゴーストリダクション設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼]でゴーストリダクションを設定するチャンネルを選び、[決定]を押す



設定内容が表示されます。

3 [カーソル▲▼]で設定内容を選び、[決定]を押す



設定項目	内　容
切	ゴーストリダクションが無効になります。ゴースト妨害が発生しない地域で設定します。
入1	ゴーストリダクションの標準の設定値です。
入2	「入1」でゴーストリダクション効果が小さい場合に設定します。

選んだチャンネルのゴーストリダクションが設定されます。

- 続けて他のチャンネルのゴーストリダクションを設定したい場合は、手順2～3を繰り返します。

4 各チャンネルのゴーストリダクションを設定したら、[設定メニュー]を2回押す

機能設定画面が消えます。

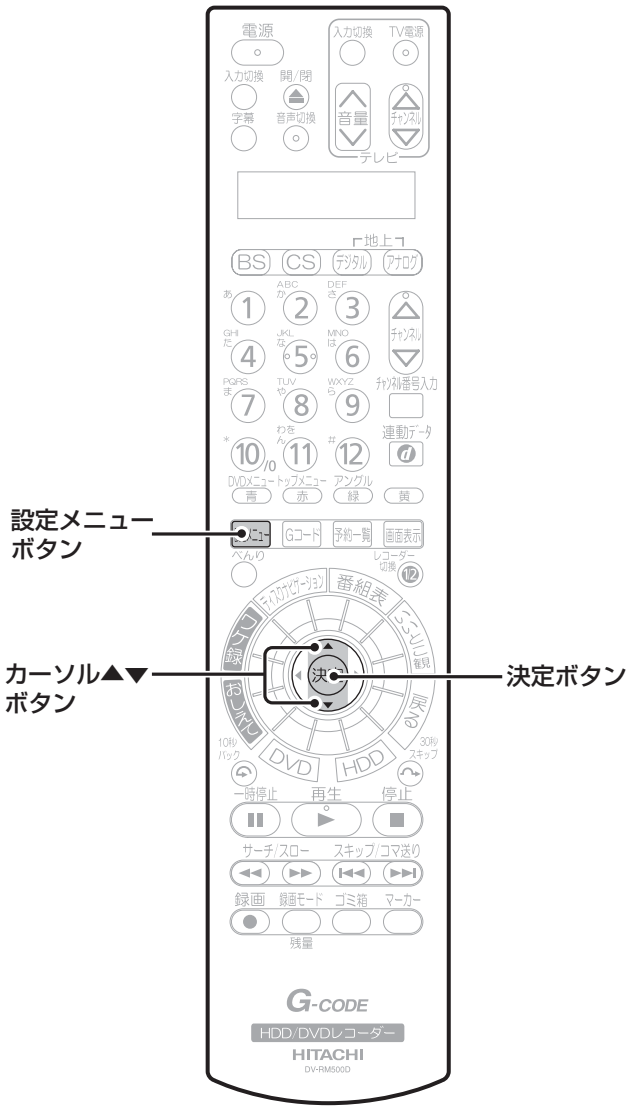
お知らせ

- ゴーストリダクションが働くとき、画面がガタつくことがありますが故障ではありません。
- 放送局から送られてくる信号の中にゴースト除去基準信号（GCR信号）がない場合、ゴーストリダクションは働きません。
- デジタル放送やビデオ入力端子で入力した映像では、ゴーストリダクションは働きません。
- 以下のような場合はゴーストリダクションが働かないことがあります。
  - ・受信状態が良くないとき
  - ・UHF/VHFアンテナの向きが合っていないとき
  - ・UHF/VHFアンテナ線の接続が正しくないとき
  - ・ゴースト妨害が大きいとき
  - ・飛行機など動きのあるものに反射してゴースト妨害が発生したとき
  - ・ゴースト妨害の数が多いとき
- 地域番号を合わせてチャンネルを設定したり（43ページ）、チャンネルを追加・変更したり（45ページ）すると、本機能は自動的に「入1」に設定されます。必要に応じてもう一度設定し直してください。
- UHF/VHFアンテナの設置や調整を行うときは、本機能を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

簡単セットアップで基本的な設定は完了します。
新たに地上デジタル放送を視聴する場合や、引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合に設定してください。

お住まいの都道府県名を設定すると、地上デジタル放送のチャンネルを本機が自動的に設定します。



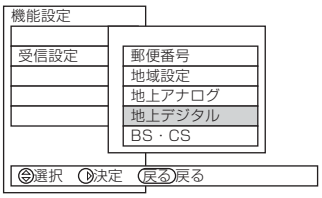
1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

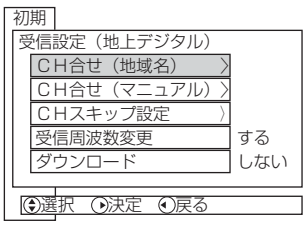
2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

受信設定メニューが表示されます。

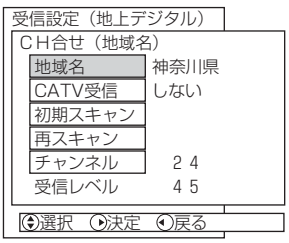
3 [カーソル▲▼] で「地上デジタル」を選び、[決定] を押す



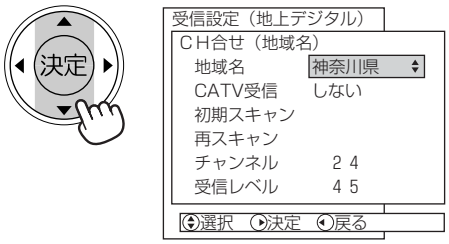
4 [カーソル▲▼] で「CH合せ（地域名）」を選び、[決定] を押す



5 [カーソル▲▼] で「地域名」を選び、[決定] を押す



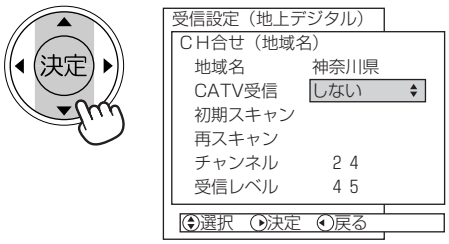
6 [カーソル▲▼]でお住まいの都道府県を選び、[決定]を押す



7 [カーソル▲▼]で「CATV受信」を選び、[決定]を押す

CATV受信の設定欄にカーソルが移動します。

8 [カーソル▲▼]で「しない」を選び、[決定]を押す



UHFアンテナから地上デジタル放送を受信するように設定されます。

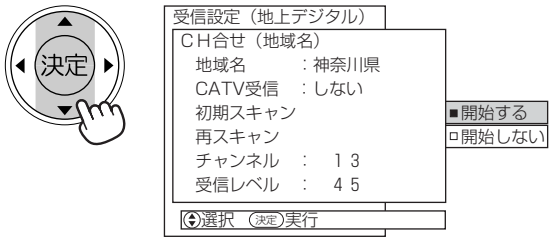
- CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送が配信されている場合は、「する」に設定してください。

9 [カーソル▲▼]で「初期スキャン」を選び、[決定]を押す

設定内容が設定されます。

- すでに地上デジタル放送のチャンネルを設定していて、新しく開局された放送局を追加する場合や周波数が変更された場合は、「再スキャン」を選んでください。「再スキャン」を実行すると、現在設定されている地上デジタル放送のチャンネルが再設定されます。

10 [カーソル▲▼]で「開始する」を選び、[決定]を押す



お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが、リモコンの数字ボタン［①］～［⑫］に自動的に設定されます。

- 各チャンネルには数字ボタンの番号に対応した3桁のチャンネル番号が付きます。番組表などには、数字ボタンの番号ではなく、3桁のチャンネル番号が表示されます。

11 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が消えます。

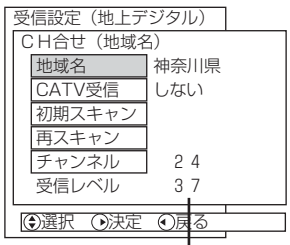
お知らせ

- 隣接地域のチャンネルとチャンネル番号が同じ場合は、チャンネルを区別するために、4桁目の番号（枝番）が付きます。
- 地上デジタル放送受信の条件を満たしているにもかかわらず、チャンネル設定ができない場合は、「アンテナの受信レベルを確認・調整するには」（53ページ）を参照してください。
- 「設定メニュー」の「ダウンロード」を「する」もしくは「自動」に設定しているとき（59ページ）は、「再スキャン」を実行しなくても自動的にチャンネルが再設定される場合があります。
- 「初期スキャン」を行っていない場合は、「再スキャン」を行うことはできません。
- 「受信レベル」の数値の横に、受信状態を表すコードが表示されることがあります。

アンテナの受信レベルを確認・調整するには

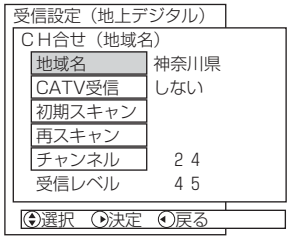
地上デジタル放送の電波を受信できないと、チャンネルを設定することができません。受信アンテナの向きを調整したり、接続状況（接栓・分配・混合など）を確認してから、次のように調整してください。

1 51ページの手順1～4を行う



アンテナの受信レベルが表示されます。

2 受信アンテナの向きを調整する



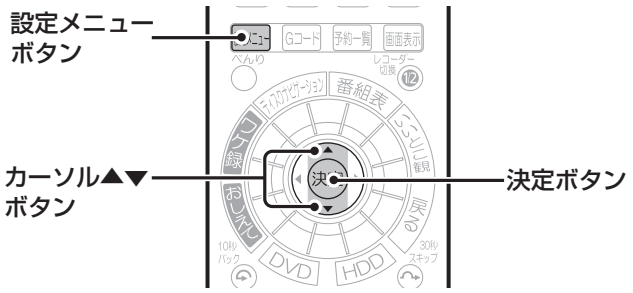
- 受信レベルの数値が「45」以上になるようにアンテナの向きを調整してください。

3 「地上デジタル放送のチャンネルを設定する」の手順5～11（51、52ページ）を行う

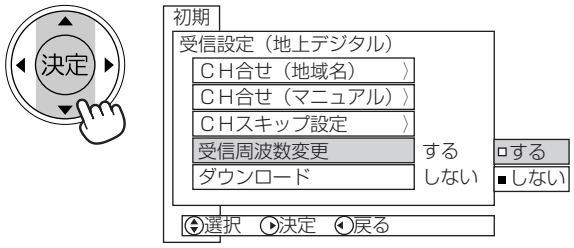
地上デジタル放送のチャンネルが設定されます。

受信周波数を自動的に変更する（地上デジタル放送）

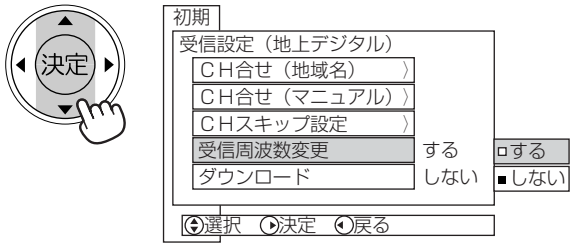
放送局から送信される周波数が変更された場合に、本機の周波数も自動的に変更するように設定することができます。通常は変更の必要はありません。



1 51ページの手順1～3を行い、［カーソル▲▼］で「受信周波数変更」を選び、［決定］を押す



2 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す



受信周波数変更が設定されます。

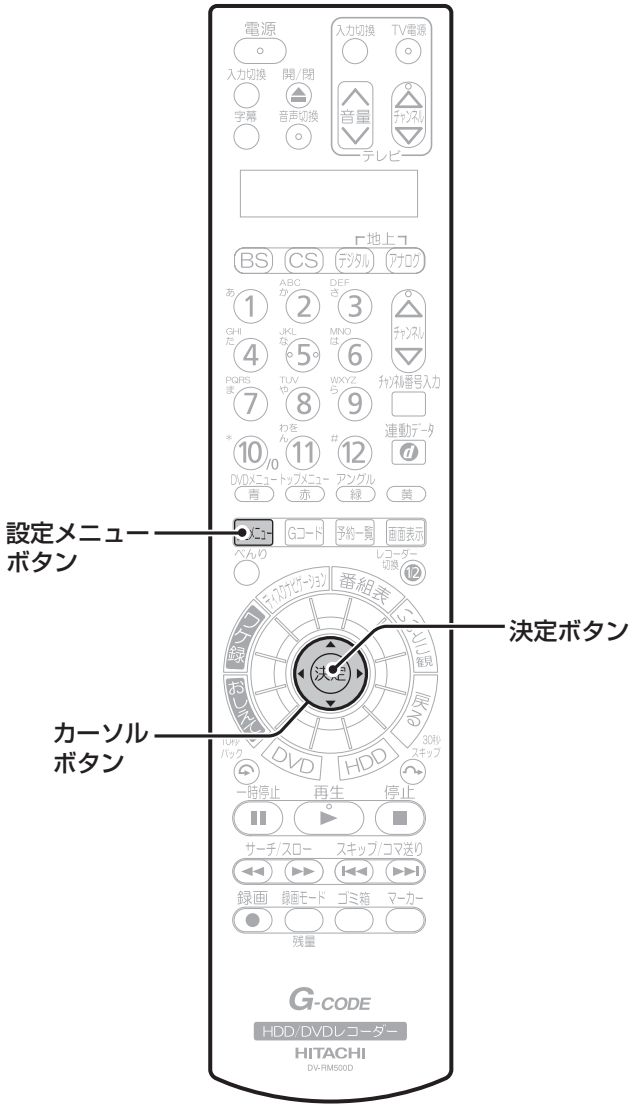
3 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

数字ボタンで選局できるチャンネルを変更する（地上デジタル/BS・CSデジタル放送）

デジタル放送では、各数字ボタンに割り当てられているチャンネルを変更することができます。ただし、受信するチャンネルそのものを変更することはできません。

ここでは、地上デジタル放送を例に、各数字ボタンに割り当てられているチャンネルを変更する手順について説明します。



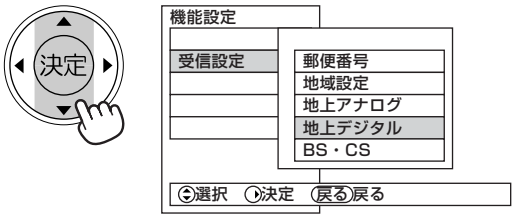
1 [設定メニュー] を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

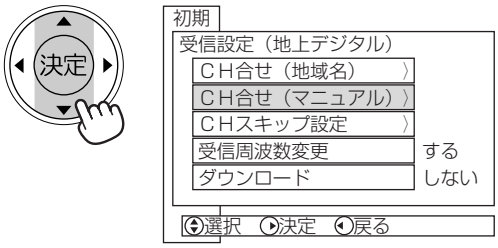
受信設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「地上デジタル」を選び、[決定] を押す



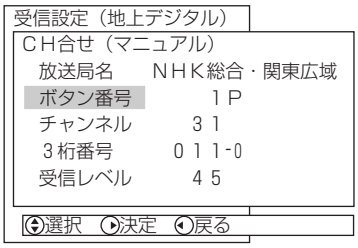
- BS・CSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は、「BS・CS」を選びます。

4 [カーソル▲▼] で「CH合せ（マニュアル）」を選び、[決定] を押す

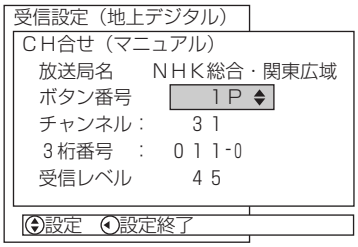


- BSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は「CH合せ（BS）」を選びます。
  CSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は「CH合せ（CS）」を選びます。

5 [カーソル▲▼]で「ボタン番号」を選び、[決定]を押す



6 [カーソル▲▼]でチャンネルを変更したい数字ボタンの番号を選び、[決定]を押す



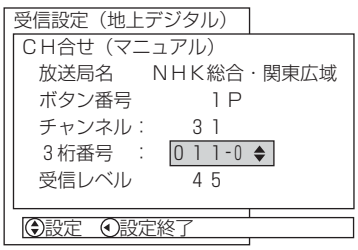
変更する数字ボタンの番号が設定されます。

7 [カーソル▲▼]で「3桁番号」を選び、[決定]を押す

3桁番号の設定欄にカーソルが移動します。

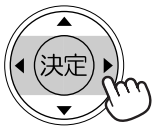
• BS・CSデジタル放送のチャンネルを設定する場合は、「チャンネル番号」を選びます。

8 [カーソル▲▼]でチャンネルの3桁番号を選び、[決定]を押す



設定変更の確認メッセージが表示されます。

9 [カーソル◀▶]で「はい」を選び、[決定]を押す



数字ボタンに割り当てられているチャンネルが変更されます。

10 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が消えます。

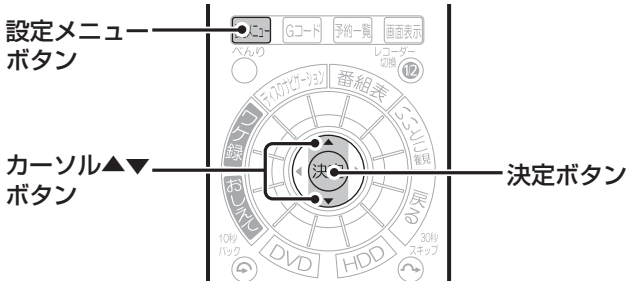
お知らせ

● デジタル放送の電波を受信できない場合は、チャンネルを変更することができません。受信アンテナの向きを調整したり、接続状況（接栓・分配・混合など）を確認してから受信レベルの数値が地上デジタル放送の場合は「45」以上、BS/CSデジタル放送の場合は「40」以上あることを確認してください。

空きチャンネルをスキップする（地上アナログ／地上デジタル／BS・CSデジタル）

チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定することができます。空きチャンネルをスキップするように設定しておくと、受信しているチャンネルのみ切り換えられるので、見たいチャンネルにすばやく切り換えることができます。

ここでは、地上アナログ放送を例に、チャンネルスキップを設定する手順について説明します。



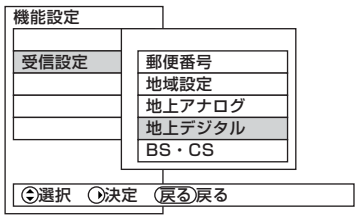
1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

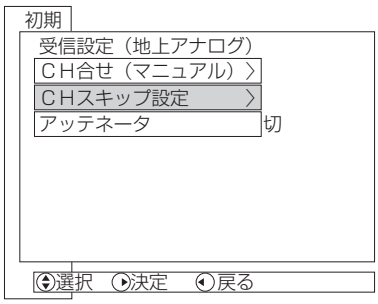
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で受信設定画面で設定を変更したい放送（地上アナログ／地上デジタル／BS・CS）を選び、［決定］を押す

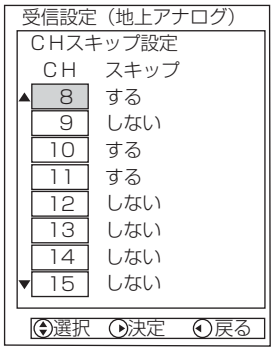


4 ［カーソル▲▼］で「CHスキップ設定」を選び、［決定］を押す



- BSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する場合は、「CHスキップ設定（BS）」を選びます。
  CSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する場合は、「CHスキップ設定（CS）」を選びます。

5 ［カーソル▲▼］でスキップ設定したいチャンネルを選び、［決定］を押す



6 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す

選んだチャンネルがスキップ設定されます。

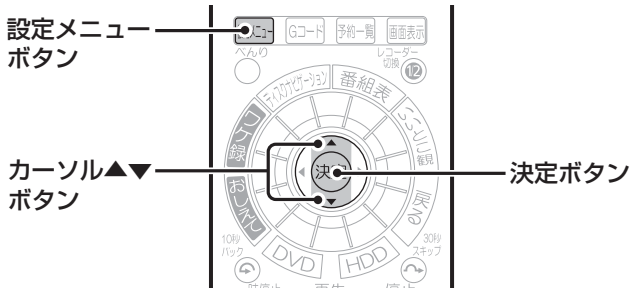
- 続けてスキップ設定したい場合は、手順5と6を繰り返します。

7 チャンネルのスキップ設定が終了したら、［設定メニュー］を2回押す

機能設定画面が消えます。

BSアンテナのコンバーターへの電源供給を設定する（BS・CSデジタル放送）

本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給するように設定します。



1 ［設定メニュー］を押す

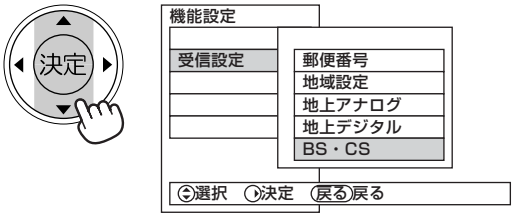
設定メニュー

機能設定画面が表示されます。

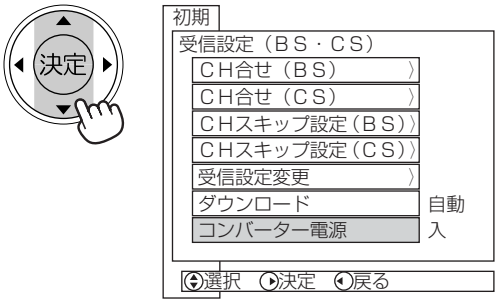
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

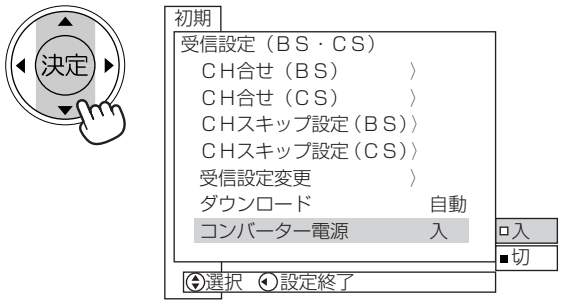
3 ［カーソル▲▼］で「BS・CS」を選び、［決定］を押す



4 ［カーソル▲▼］で「コンバーター電源」を選び、［決定］を押す



5 ［カーソル▲▼］で「入」または「切」を選び、［決定］を押す



設定項目	内　容
入	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給します。個別にアンテナを設置している場合に設定してください。
切	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給しません。マンション共聴や、すでに他の機器（テレビ、ビデオなど）から、コンバーター電源が供給されている場合に設定してください。

コンバーターへの電源供給が設定されます。

6 ［設定メニュー］を押す

設定メニュー

機能設定画面が消えます。

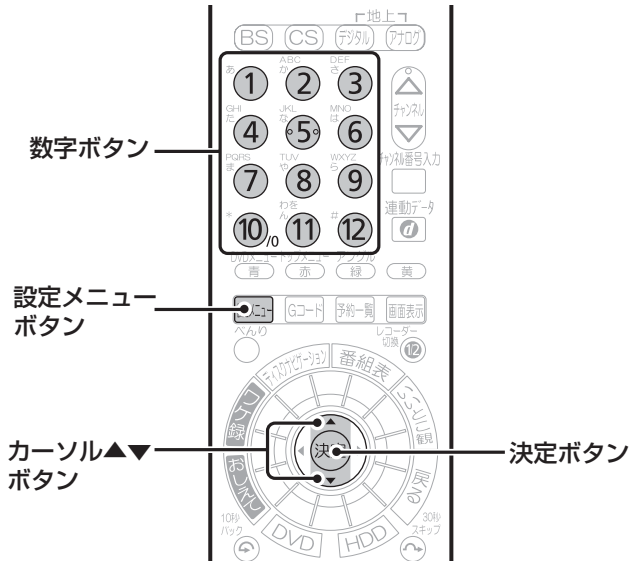
お知らせ

- 共聴受信やすでに他の機器（テレビ、ビデオなど）から、コンバーター電源が供給されている場合は、本機能を必ず「切」に設定してください。
- 本機能を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っていてもコンバーターへ電源を供給します。

衛星の周波数を変更する（BS・CSデジタル放送）

衛星の故障などによって送信される周波数が変更されたとき、放送局からの指示に従って受信する周波数を変更することができます。また、衛星に取り付けられているトランスポンダー（映像・音声信号を送受信する電気回路）の受信レベルを確認することもできます。

周波数は放送局から変更の指示があった場合のみ、変更してください。また、放送局から変更後の周波数情報が送信されている場合は、手動で変更しても自動的に周波数情報にしたがった周波数に合わせられ、変更はできません。



1 ［設定メニュー］を押す

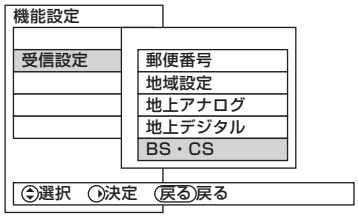
設定メニュー

機能設定画面が表示されます。

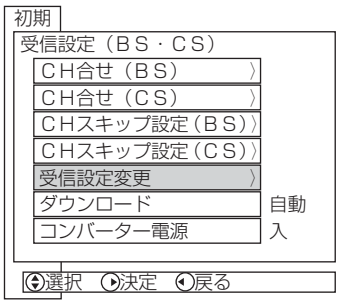
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

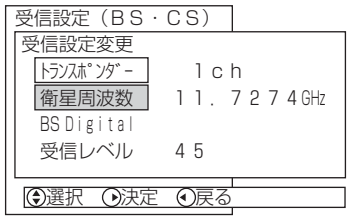
3 ［カーソル▲▼］で「BS・CS」を選び、［決定］を押す



4 ［カーソル▲▼］で「受信設定変更」を選び、［決定］を押す

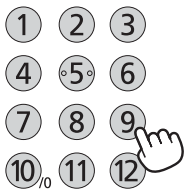


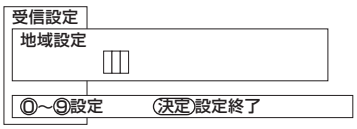
5 ［カーソル▲▼］で「衛星周波数」を選び、［決定］を押す



- トランスポンダーの受信レベルを確認したい場合は、「トランスポンダー」を選んだ後、［カーソル▲▼］で受信レベルを確認したいトランスポンダーを選んでください。「受信レベル」欄にトランスポンダーの受信レベルが表示されます。

6 数字ボタンで周波数を入力し、［決定］を押す





受信する周波数が変更されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。

7 ［設定メニュー］を押す

設定メニュー

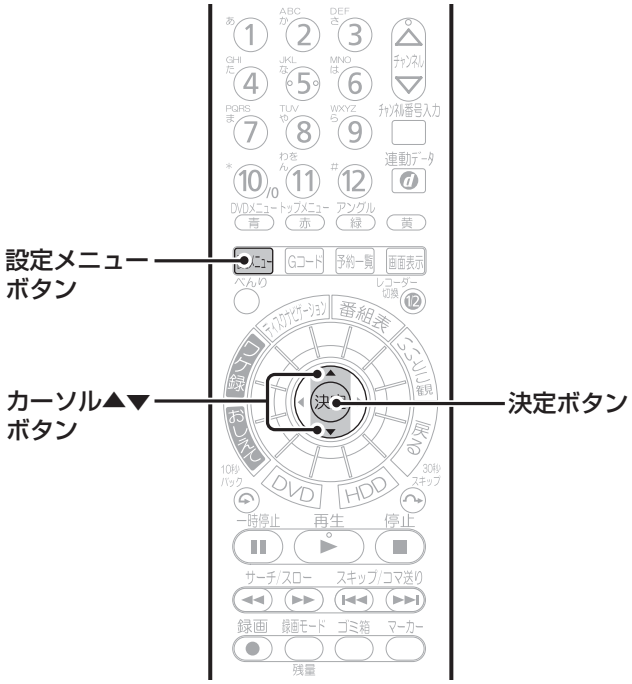
機能設定画面が消えます。

新しいソフトウェアをダウンロードする（地上デジタル/BS・CSデジタル放送）

本機で受信している地上デジタル放送またはBS・CSデジタル放送を利用して、本機の内蔵ソフトウェアを最新の状態にすることができます（ダウンロード）。

新しいソフトウェアは、本機の電源が切れている状態の午前4時頃に、必要に応じて自動的にダウンロードされます。

ここでは、地上デジタル放送を例に、ダウンロード方法を設定する手順について説明します。



1 [設定メニュー] を押す

設定メニュー

機能設定画面が表示されます。

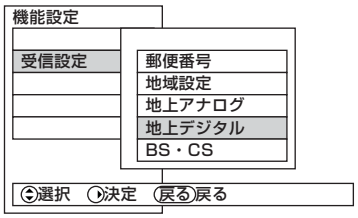
2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

決定

受信設定メニューが表示されます。

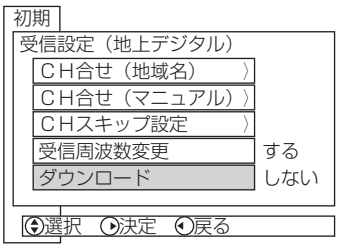
3 [カーソル▲▼] で「地上デジタル」または「BS・CS」を選び、[決定] を押す

決定



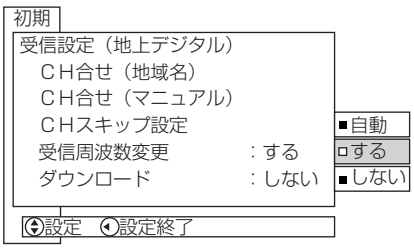
4 [カーソル▲▼] で「ダウンロード」を選び、[決定] を押す

決定



5 [カーソル▲▼] で「自動／する／しない」を選び、[決定] を押す

決定



設定項目	内　容
自動	ソフトウェアの更新情報が届くと、新しいソフトウェアを自動的にダウンロードします。
する	ソフトウェアの更新情報が届くと、メールで予定時刻をお知らせします。予定時刻の経過後、新しいソフトウェアを手動でダウンロードしてください。
しない	ソフトウェアの更新情報が届くとメールで予定時刻をお知らせしますが、新しいソフトウェアはダウンロードしません。

新しいソフトウェアのダウンロード方法が設定されます。

6 [設定メニュー] を押す

設定メニュー

機能設定画面が消えます。

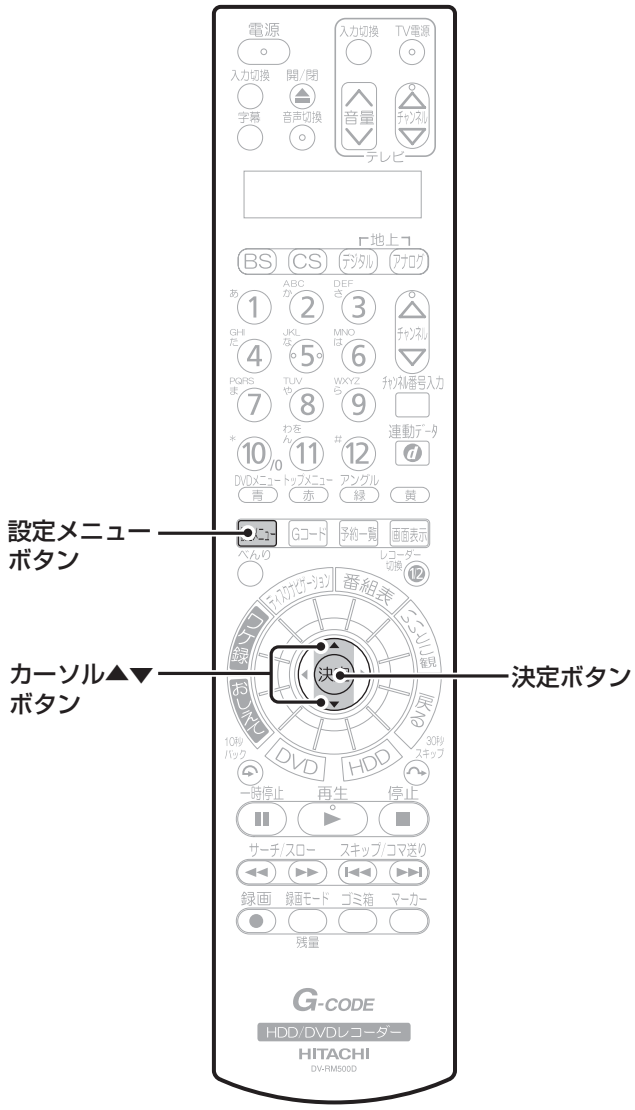
お知らせ

- 本機能を「しない」に設定すると、手動でプログラム更新データをダウンロードすることもできません。
- 「自動」を設定すると、本機の電源が切れている状態のときに、自動的にダウンロードされます。
  このとき、本機の電源が自動的に入ります。
- ダウンロード終了直後は、番組表データがいったんクリアされます。そのままにしておけば、翌日深夜に番組表データを取り込みます。すでに予約してある予約録画には影響ありません。

本機の各種機能を設定する

設定メニューの使いかた

ここでは「各種設定」を例に説明しています。他の設定も同様の操作でお使いください。



1 [設定メニュー] を押す

設定メニュー

機能設定画面が表示されます。

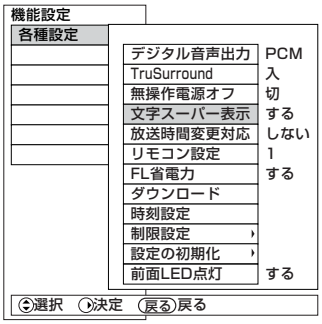
2 [カーソル▲▼] で「各種設定」を選び、[決定] を押す

決定

各種設定メニューが表示されます。

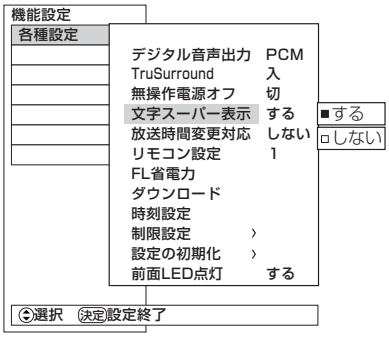
3 [カーソル▲▼] で設定したい機能を選び、[決定] を押す

決定



4 [カーソル▲▼] で設定したい内容を選び、[決定] を押す

決定



選んだ内容が設定されます。

5 [設定メニュー] を押す

設定メニュー

機能設定画面が消えます。

設定メニュー一覧

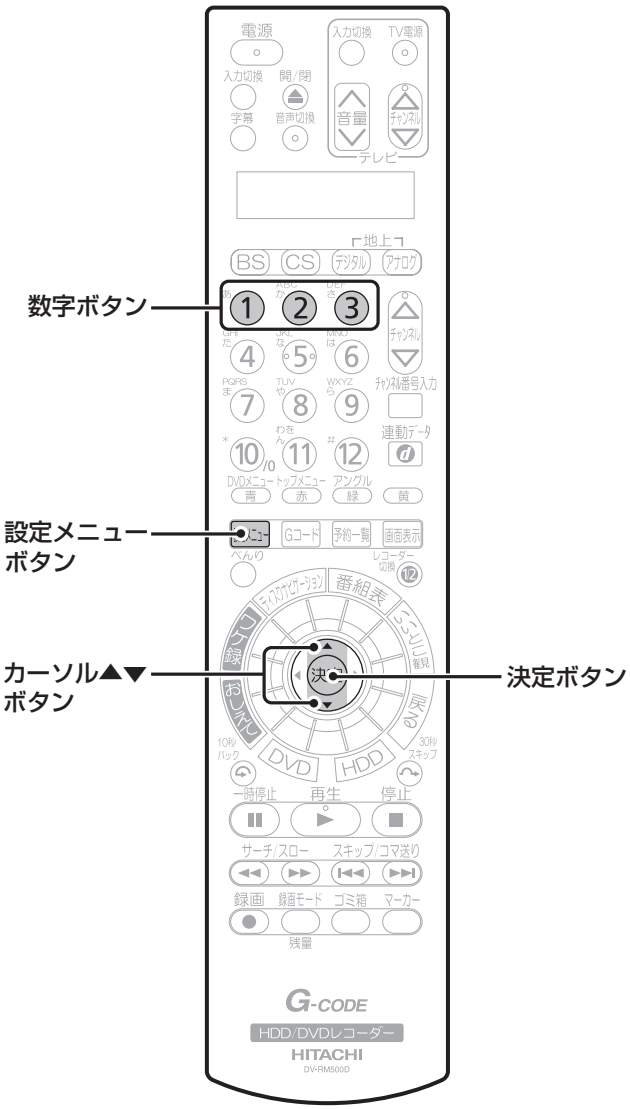
- 設定メニュー
  - 各種設定
    - デジタル音声出力『操作編』(147ページ)
    - TruSurround『操作編』(147ページ)
    - 無操作電源オフ(37ページ)
    - 文字スーパー表示『操作編』(147ページ)
    - 放送時間変更対応『操作編』(147ページ)
    - リモコン設定(62ページ)
    - FL省電力(37ページ)
    - ダウンロード(63ページ)
    - 時刻設定(64ページ)
    - 制限設定(66ページ)
    - 設定の初期化(68ページ)
    - 前面LED点灯『操作編』(8ページ)(DV-DH1000D/500D/250Dで設定可能)
  - 受信設定(42ページ)
    - 郵便番号
    - 地域設定
    - 地上アナログ
      - CH合せ(マニュアル)
      - CHスキップ設定
      - アッテネータ
      - GRT設定(DV-DH1000Dで設定可能)
    - 地上デジタル
      - CH合せ(地域名)
      - CH合せ(マニュアル)
      - CHスキップ設定
      - 受信周波数変更
      - ダウンロード
    - BS・CS
      - CH合せ(BS)
      - CH合せ(CS)
      - CHスキップ設定(BS)
      - CHスキップ設定(CS)
      - 受信設定変更
      - ダウンロード
      - コンバーター電源
  - 外部設定
    - 外部入力自動録画『操作編』(74ページ)
    - 電話回線(69ページ)
    - ISP設定(75ページ)
    - i.LINK機器設定『操作編』(118ページ)(DV-DH1000D/500Dで設定可能)
    - i.LINK待機『操作編』(119ページ)(DV-DH1000D/500Dで設定可能)
  - HDD-DVD設定『操作編』(146ページ)
    - サムネイル作成時間
    - EP録画モード
    - とばし観
      - 録画設定
      - 再生設定
    - いいとこ観録画
    - DVD-Video互換記録
    - 二重音声選択
    - XPモード音声選択
    - 連続再生
    - HDD初期化
    - DVD専用設定
      - 音声言語
      - 字幕言語
      - メニュー言語
      - プログレッシブ
      - デジタル音声出力
      - 音声のダイナミックレンジ圧縮
    - 高速起動(37ページ)
  - TV接続設定(77ページ)
    - ワイドTV接続
    - 16:9映像出力
    - D端子出力設定
    - HDMI出力設定(DV-DH1000D/500D/250Dで設定可能)
  - 簡単セットアップ(38ページ)

リモコンコードを変更する

当社製の他のDVDレコーダーやDVDプレーヤーのリモコンと本機のリモコンはほとんど同じ方式のため、お互いに干渉する場合があります。このような場合は、リモコンコードを変更すると、他のリモコンの干渉を防ぐことができます。

まず本体のリモコンコードを変更し、次にリモコンのリモコンコードを変更してください。

●通常は変更する必要はありません。



1 「設定メニューの使いかた」の手順1～3（60ページ）を行い、手順3で「リモコン設定」を選ぶ

設定内容が表示されます。

2 [カーソル▲▼]で「2」または「3」を選び、[決定]を押す

本体のリモコンコードが設定されます。

3 リモコン側のリモコンコードを変更する

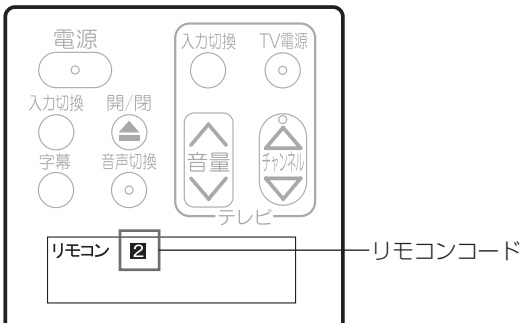
手順2で設定した本体のリモコンコードに合わせてください。

[決定]を押しながら、本体のリモコンコードに合わせて下記のボタンを押してください。

リモコンコード1(R-1) → 数字ボタン[①]

リモコンコード2(R-2) → 数字ボタン[②]

リモコンコード3(R-3) → 数字ボタン[③]



リモコンのリモコンコードが設定されます。

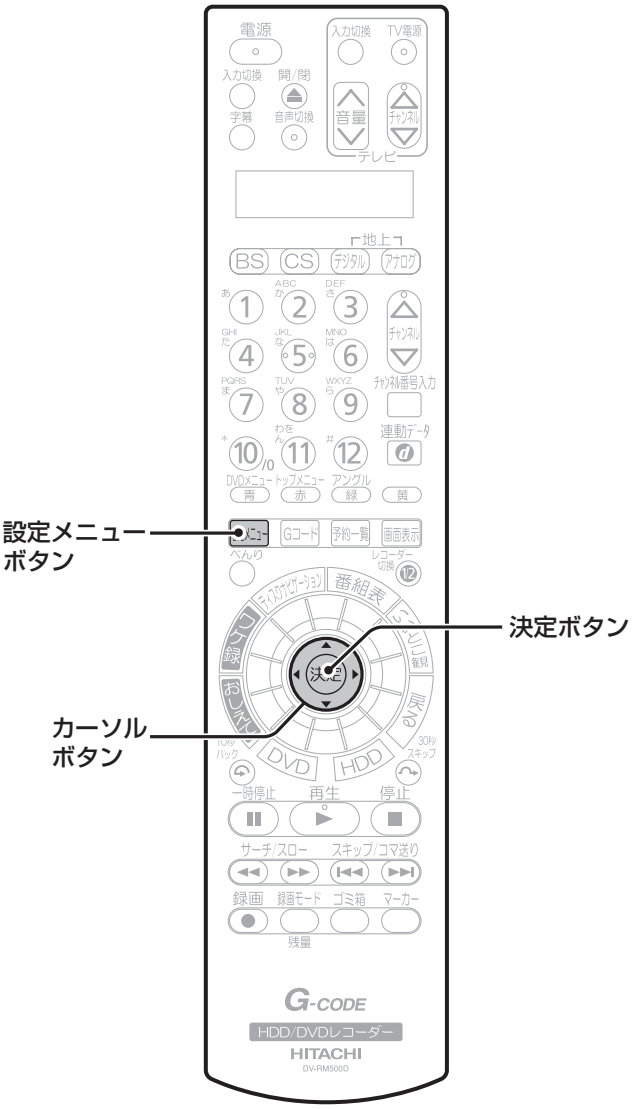
お知らせ

● 本体とリモコンのリモコンコードが合っていない場合、リモコンを操作すると本体の表示窓に「R-1」「R-2」「R-3」のいずれかが表示されます。このような場合は、本体とリモコンのリモコンコードが合っているか確認してください。

新しいソフトウェアをダウンロードする

本機で受信しているデジタル放送を利用して、本機の内蔵ソフトウェアを最新の状態にすることができます（ダウンロード）。お買い上げ時は自動的にダウンロードするように設定されていますが、新しいソフトウェアがある場合は各種設定メニューから手動でダウンロードすることもできます。

ここでは、手動でダウンロードする方法を説明します。



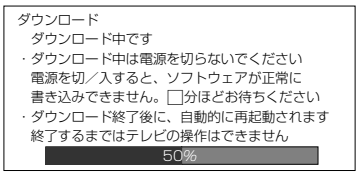
1 「設定メニューの使いかた」の手順1～3（60ページ）を行い、手順3で「ダウンロード」を選ぶ

ダウンロードの確認メッセージが表示されます。

- 「ダウンロード」がグレー表示されているときは、新しいソフトウェアはありません。

2 [カーソル◀▶]で「はい」を選び、[決定]を押す

新しいソフトウェアがダウンロードされます。



■ダウンロード中の動作について

ダウンロード中は本体表示窓に「DWNLD」と表示されます。電源ボタン以外は操作できません。

また、ダウンロード中に［電源］を押すと、上記のメッセージが表示されます。以降はダウンロードが終了するまでお待ちください。

お知らせ

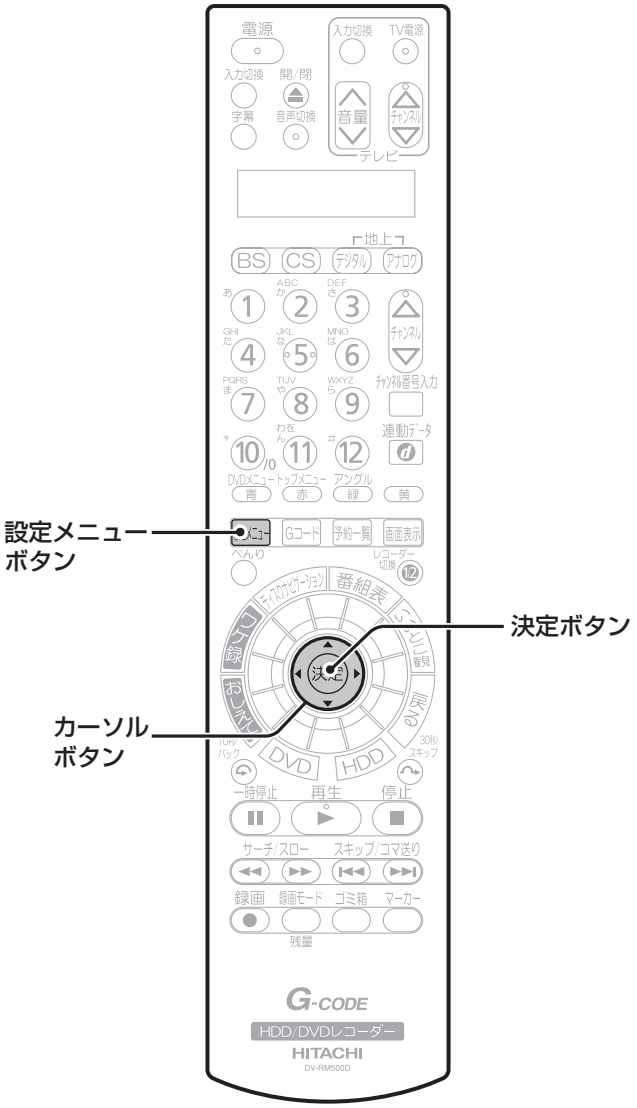
- ダウンロードの時間は、更新するソフトウェアの内容によって異なります。
- お買い上げ時は、受信設定メニューの「地上デジタル」および「BS・CS」の「ダウンロード」が「自動」に設定されているため（59ページ）、本体の電源が切れているときに自動的に新しいソフトウェアがダウンロードされます。
- 受信設定メニューの「地上デジタル」および「BS・CS」の「ダウンロード」を「しない」に設定した場合（59ページ）は、本機能で新しいソフトウェアをダウンロードできません。
- 新しいソフトウェアが無い場合は、ダウンロードできません。
- ダウンロード中は電源コードを抜かないでください。ソフトウェアの更新が中断し、正常に更新されない場合があります。
- ダウンロードと録画予約が重なった場合は、録画予約が優先されます。
- 録画予約開始の約30分前になると、本機能は選べません。
- ダウンロード終了直後は、番組表データがいったんクリアされます。そのままにしておけば、翌日深夜に番組表データを取り込みます。すでに予約してある予約録画には影響ありません。

時計を合わせる

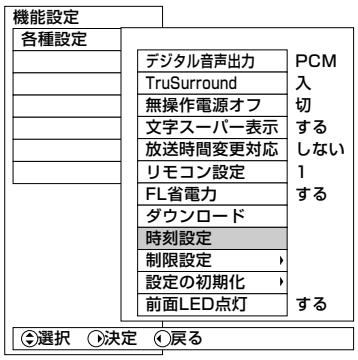
地上アナログ放送やCATV（ケーブルテレビ）などのアナログ番組を録画予約する前に、時計が合っていることを確認してください。時計が合っていない場合は時計を合わせてください。

デジタル放送を受信している場合は、電源を入れるたびに時計を自動的に合わせるため時計を合わせる必要はありません。

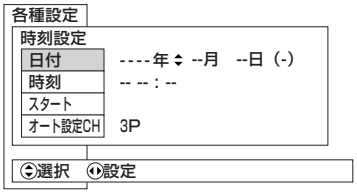
■ 時計を合わせる



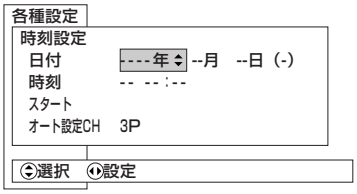
1 「設定メニューの使いかた」の手順1～3（60ページ）を行い、手順3で「時刻設定」を選ぶ



2 [カーソル▲▼]で「日付」を選び、[決定]を押す



3 [カーソル▲▼]で「年」を合わせ、[決定]を押す



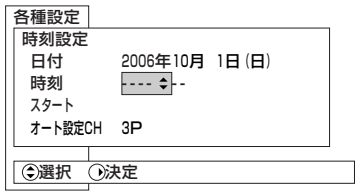
「年」が設定され、「月」にカーソルが移動します。

- 同様の操作で「月」と「日」を合わせてください。「日」を設定すると、自動的に「曜日」が設定されます。
- 日付を設定し直したい場合は、[カーソル◀▶]を押して設定する項目を選んでください。

4 [カーソル▲▼]で「時刻」を選び、[決定]を押す

時刻設定欄にカーソルが表示されます。

5 [カーソル▲▼]で「時」を合わせ、[決定]を押す



「時」が設定され、「分」にカーソルが移動します。

- 同様の操作で「分」を合わせてください。
- 時刻を設定し直したい場合は、[カーソル◀▶]を押して設定する項目を選んでください。
- 本機の時刻表示は12時間表示です。

6 [カーソル▲▼]で「スタート」を選び、[決定]を押す

本体の時計が設定されます。

- [決定]は時報などに合わせて押してください。

7 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- デジタル放送を受信している場合は、時計を手動で合わせることができません。

■ 自動時刻合わせを設定する（オート設定CH）

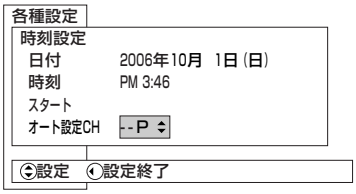
本機の電源が切れた状態の場合、毎日正午に、NHK教育テレビの時報に合わせて2分以内の誤差を自動調整するように設定できます。2分以上時刻がずれている場合は、時計を合わせ直してください。

デジタル放送を受信している場合は、時刻情報を定期的に受信するため本機能を設定する必要はありません。

1 「時計を合わせる」の手順1、2（64ページ）を行い、次の手順3で「オート設定CH」を選び、[決定]を押す

オート設定CH画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼]でNHK教育テレビのチャンネルボタン番号を選び、[決定]を押す



自動時刻合わせが設定されます。

- チャンネルボタン番号は、必ずNHK教育テレビを設定してください。
  例えば、リモコンの数字ボタン［⑫］にNHK教育テレビが設定されている場合は、「12P」にします。
- 未設定の状態にするには「・・P」を選択してください。

3 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が消えます。

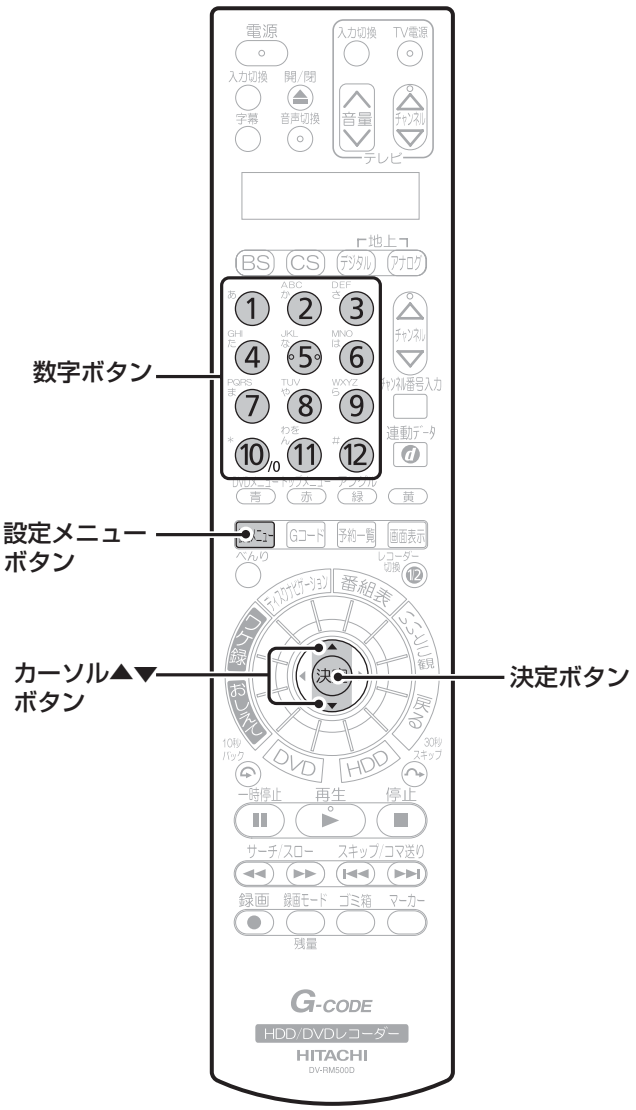
お知らせ

- 放送番組の編成によっては時報が放送されないことがあります。また、音楽と一緒に鳴る時報では、時刻は自動調整されません。
- 本機能を設定すると、時刻設定ができなくなります。

視聴制限を設定する

子どもに見せたくない番組やDVDビデオの視聴を制限したり、有料番組を購入するときの金額の上限を設定したりできます。

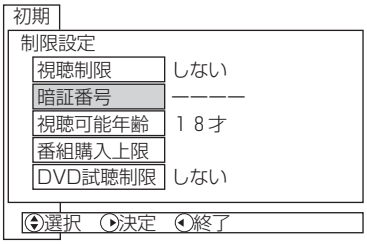
視聴制限を設定すると、視聴制限の対象となる番組の放送時やDVDビデオの再生時、また上限を超える有料番組の購入時に、暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力しないと、視聴や再生、購入はできません。



1 「設定メニューの使いかた」の手順1～3（60ページ）を行い、手順3で「制限設定」を選ぶ

制限設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼]で「暗証番号」を選び、[決定]を押す



- はじめて視聴制限を設定する場合、「暗証番号」以外は選べません。

3 数字ボタンを押して4桁の暗証番号を入力する

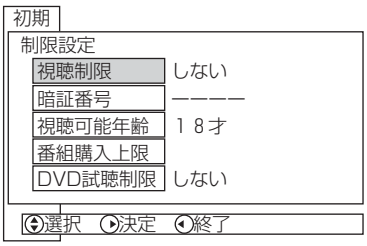
暗証番号の再入力メッセージが表示されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタン［⑩/0］を押してください。

4 数字ボタンを押して、手順3と同じ4桁の暗証番号を入力する

暗証番号が登録され、他の項目が設定できるようになります。

5 [カーソル▲▼]で「視聴制限」を選び、[決定]を押す



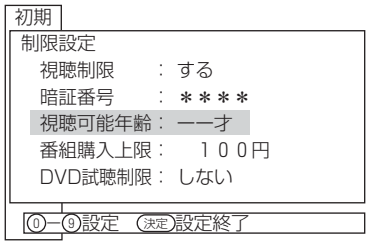
6 [カーソル▲▼]で「する」を選び、[決定]を押す

視聴制限の設定が有効になります。

7 [カーソル▲▼]で「視聴可能年齢」を選び、[決定]を押す

視聴可能年齢の入力欄にカーソルが移動します。

8 数字ボタンで年齢（4〜20）を入力し、［決定］を押す



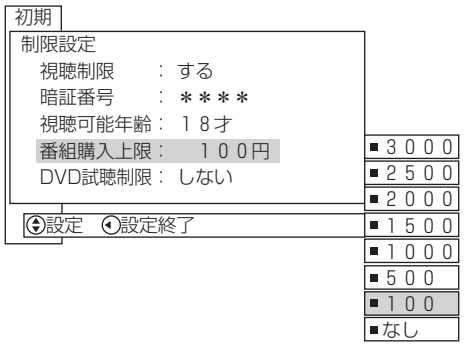
視聴可能年齢が設定されます。

- 1桁の年齢を入力するときは、はじめに［⑩/0］を押して「0」を入力してください。
- 視聴可能年齢を「20」才に設定すると、番組の対象年齢に関係なく番組を視聴することができます。

9 ［カーソル▲▼］で「番組購入上限」を選び、［決定］を押す

番組購入上限の設定内容が表示されます。

10 ［カーソル▲▼］で金額の上限を選び、［決定］を押す

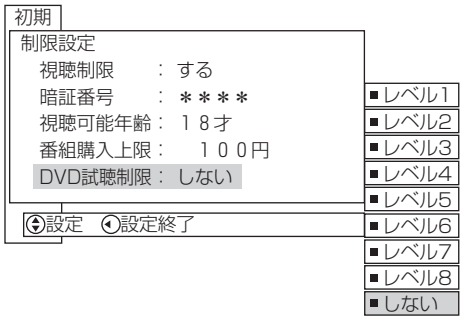


番組購入上限が設定されます。

11 ［カーソル▲▼］で「DVD視聴制限」を選び、［決定］を押す

DVD視聴制限の設定内容が表示されます。

12 ［カーソル▲▼］で視聴制限のレベルを選び、［決定］を押す



DVD視聴制限が設定されます。

- 「レベル1」がもっとも視聴制限が厳しくなります。

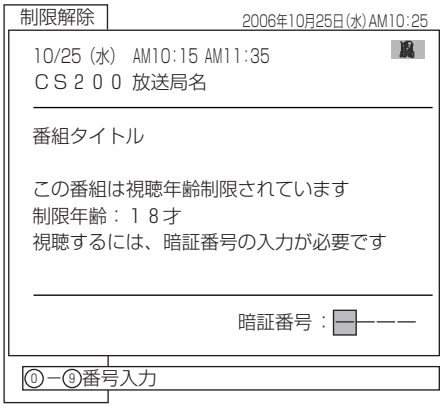
13 ［設定メニュー］を押す

視聴制限が設定されます。

■視聴制限を一時的に解除するには

視聴制限の対象になる番組やDVDビデオを選ぶと、制限解除画面が表示されます。数字ボタンを押して暗証番号を入力すると、視聴制限を一時的に解除することができます。

- ●チャンネルを切り換えると、視聴制限の状態に戻ります。
- ●視聴制限を一時解除しない場合は、他のチャンネルに切り換えてください。

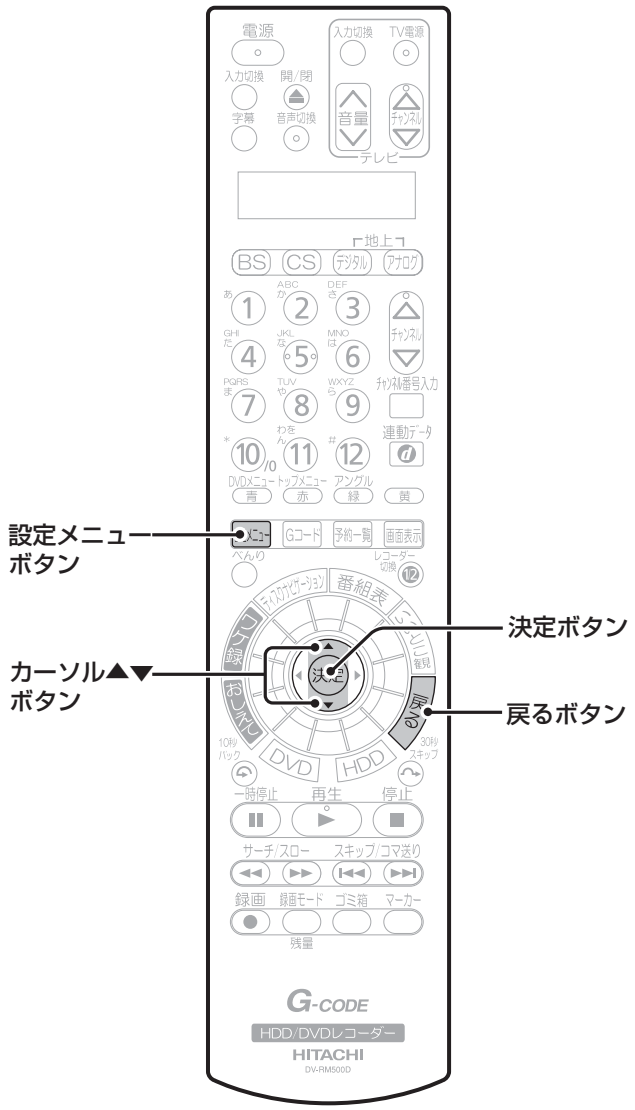


お知らせ

- ● 視聴制限の番組で登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。万が一忘れてしまった場合は、視聴したい放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

情報を消去する（データ放送、受信メール、受信設定）

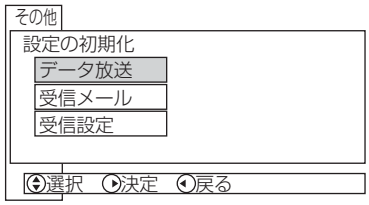
本機を他の人に譲ったり、廃棄したりする場合は、その前にデータ放送で登録した個人情報や受信したメール、およびデジタル放送関連の設定を消去してください。



1 「設定メニューの使いかた」の手順1～3（60ページ）を行い、手順3で「設定の初期化」を選ぶ

設定の初期化画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼]で消去（初期化）する項目を選び、[決定]を押す



設定項目	内　容
データ放送	データ放送の視聴時に登録した個人情報を消去します。
受信メール	デジタル放送の放送局から送られてきたメールを消去します
受信設定	デジタル放送関連の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

初期化の確認メッセージが表示されます。

3 [カーソル▲▼]で「はい」を選び、[決定]を押す

もう一度初期化の確認メッセージが表示されます。

4 [カーソル▲▼]で「はい」を選び、[決定]を押す

選んだ項目の情報および設定が初期化されます。

- 続けて他の項目の情報および設定を初期化する場合は、手順2～4を繰り返します

5 各項目のデータを削除したら、[戻る]を押す

各種設定メニュー画面に戻ります。

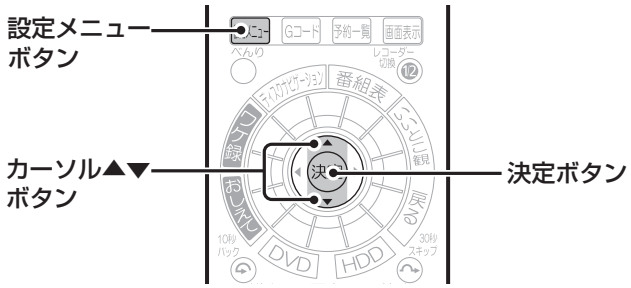
お知らせ

- 録画中は受信設定の情報を消去(初期化)できません。

外部機器の接続に関する機能を設定する

電話回線を設定する

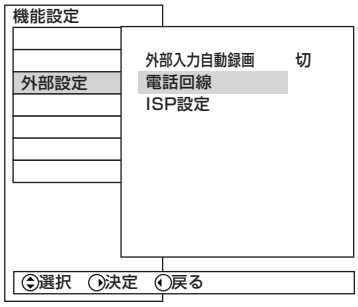
デジタル放送では、電話回線を使って有料番組の視聴記録送信や、視聴者参加番組でのデータ送信などを行うことができます。デジタル放送を視聴する場合は、必ず電話回線を接続し、電話回線の種類や番号通知などの設定を行ってください。



■電話回線の種類を設定する

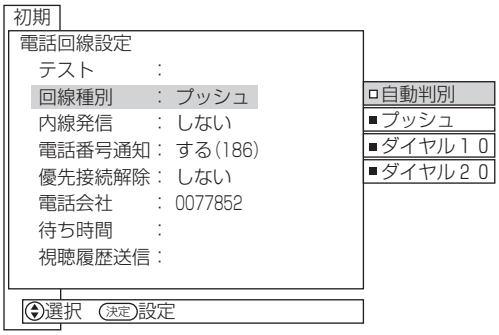
お使いの電話回線の種類を設定します。

1 [設定メニュー] を押して、「外部設定」メニューで「電話回線」を選び、[決定] を押す



2 [カーソル▲▼] で「回線種別」を選び、[決定] を押す

3 [カーソル▲▼] で「自動判別」を選び、[決定] を押す



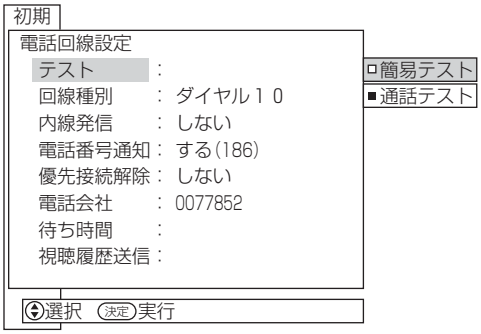
電話回線の種類を本機が自動的に判別し、約1分後、判別結果が回線種別として設定されます。

- 自動判別できなかった場合は、ご使用になっている回線の種類を選んでください。

4 [カーソル▲▼] で「テスト」を選び、[決定] を押す

設定内容が表示されます。

5 [カーソル▲▼] で「簡易テスト」を選び、[決定] を押す



回線が正常に接続できるかどうかのテストを行い、約1分後テスト結果が表示されます。

- 実際に回線を接続してテストする場合は、「通話テスト」を選んでください。この場合、約10円の通話料がかかります。

6 [設定メニュー] を押す

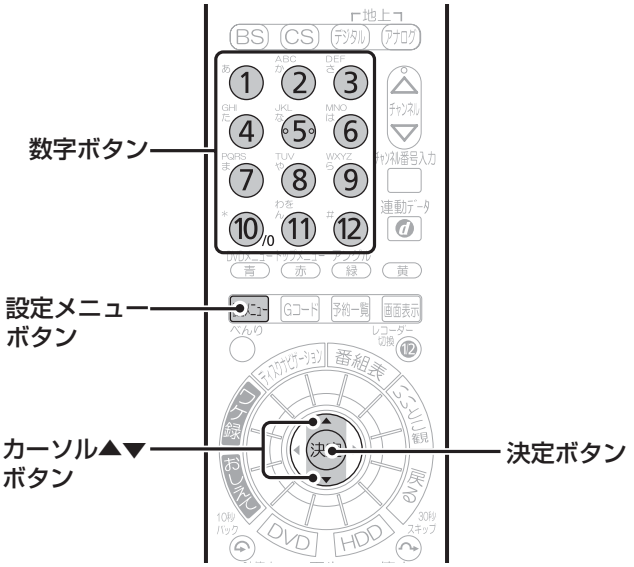
機能設定画面が消えます。

お知らせ

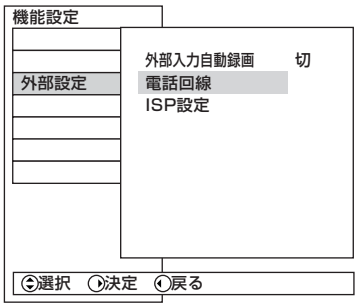
- ご使用の電話回線がプッシュ式かダイヤル式かわからない場合は、ご使用の電話機でダイヤルしてください。受話器から「ピッポッパッ」と聞こえるときはプッシュ（トーン）式、「ガリガリ」または「ジリジリ」とダイヤルを回す音が聞こえるときはダイヤル（パルス）式です。
- 押しボタン式の電話機でもダイヤル式の場合があります。電話回線の種類がわからない場合は、最寄りの電話局にお問い合わせください。

■内線発信を設定する

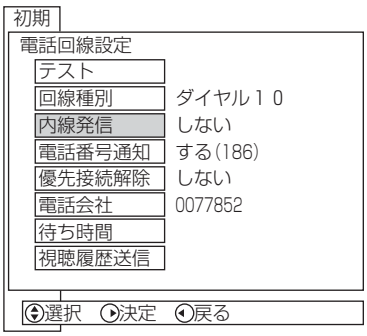
本機に接続している電話機が内線電話として使用されている場合、外線発信時のダイヤル番号を設定します。



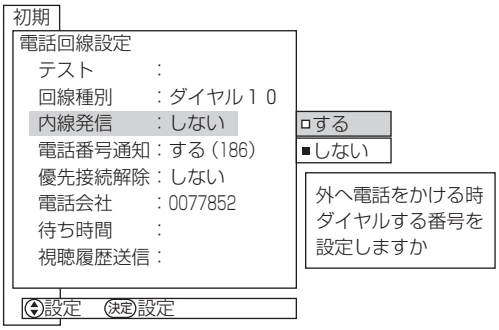
1 ［設定メニュー］を押して「外部設定」メニューで「電話回線」を選び、［決定］を押す



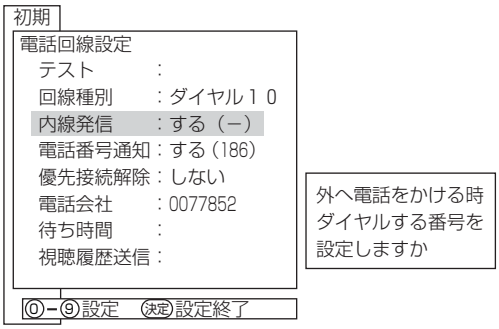
2 ［カーソル▲▼］で「内線発信」を選び、［決定］を押す



3 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す



4 数字ボタンで内線発信番号を入力し、［決定］を押す



内線発信番号が設定されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。

5 ［設定メニュー］を押す

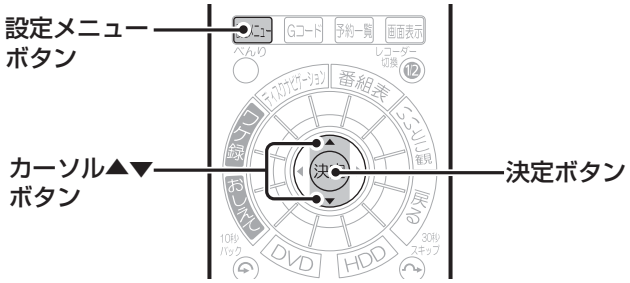
機能設定画面が消えます。

お知らせ

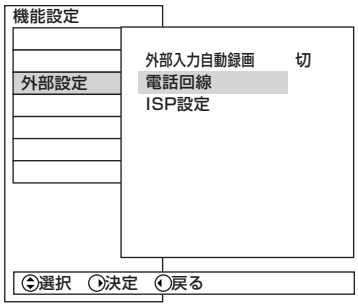
- 外線へ発信できない場合は、電話装置メーカーや保守業者へお問い合わせください。
- 本機能を「しない」に設定すると、すでに登録されている内線発信番号は消去されます。

■番号通知を設定する

電話をかけるとき、相手（放送局など）に電話番号を通知するかどうかを設定します。

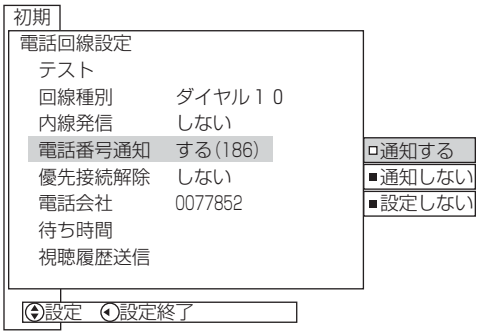


1 ［設定メニュー］を押して、「外部設定」メニューで「電話回線」を選び、［決定］を押す



2 ［カーソル▲▼］で「電話番号通知」を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す



設定項目	内　容
通知する	電話番号に「186」をつけてダイヤルし、番号を通知します。
通知しない	電話番号に「184」をつけてダイヤルし、番号を通知しません。
設定しない	電話会社との契約内容に従います。

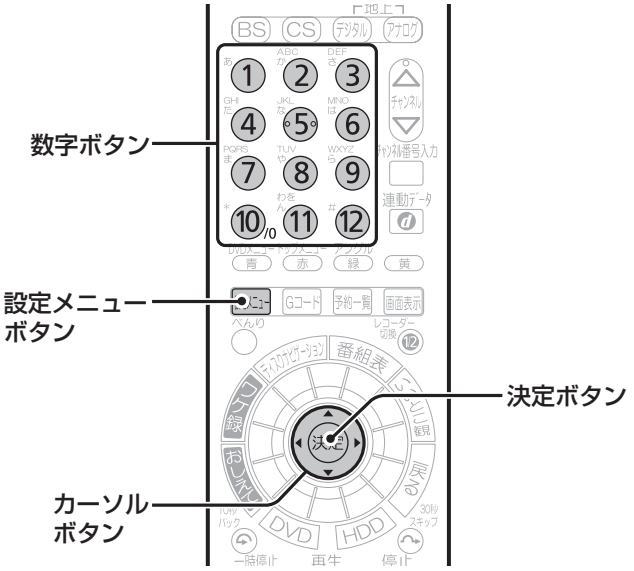
番号通知が設定されます。

4 ［設定メニュー］を押す

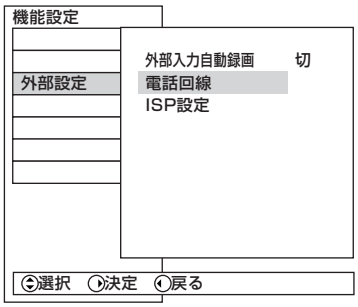
機能設定画面が消えます。

■一時的に別の電話会社を利用する

マイラインプラスを登録している場合、一時的に別の電話会社を利用するように設定することができます。

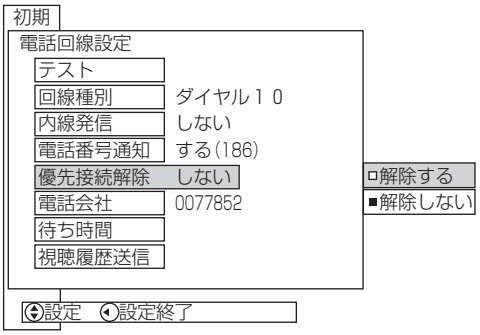


1 ［設定メニュー］を押して、「外部設定」メニューで「電話回線」を選び、［決定］を押す



2 ［カーソル▲▼］で「優先接続解除」を選び、［決定］を押す

3 ［カーソル▲▼］で「解除する」を選び、［決定］を押す

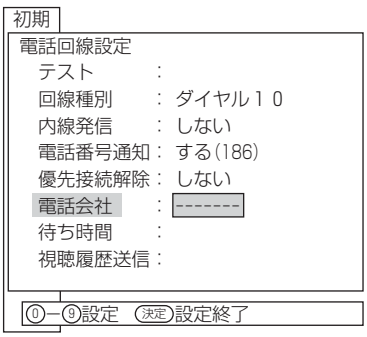


マイライン登録している電話会社の優先設定が解除されます。

4 ［カーソル▲▼］で「電話会社」を選び、［決定］を押す

電話会社番号の入力欄が表示されます。

5 数字ボタンで一時的に利用する電話会社の番号を入力し、［決定］を押す



一時的に利用する電話会社が設定されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩/0］を押してください。
- 番号を間違えて入力した場合は、［カーソル◀▶］を押して修正したい番号にカーソルを合わせて入力し直してください。

6 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

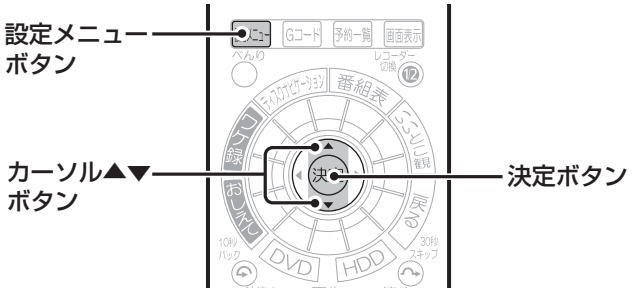
- 利用する電話会社をマイライン登録している電話会社に戻す場合は、「優先接続解除」を「解除しない」に設定してください。
- 1つの電話番号の回線に、モジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続している場合、電話機やファクシミリなどの使用中は本機で通信できません。
- 本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る場合があります。このような場合は、市販の自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

  また、電話機にノイズ（雑音）が入る場合は、市販の自動転換器（一般用）、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。

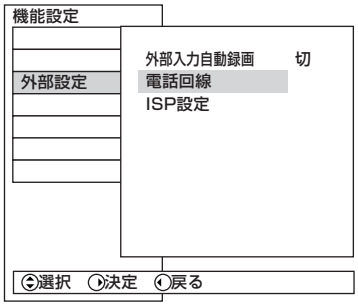
  詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへお問い合わせください。

■待ち時間を設定する

内線発信、番号通知、マイライン登録している電話会社の優先設定解除、別の電話会社の一時利用を行うとき、付加番号を発信してから電話を発信するまでの待ち時間を設定します。

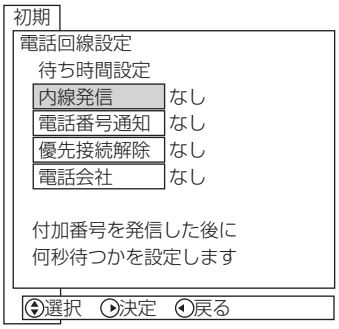


1 ［設定メニュー］を押して、「外部設定」メニューで「電話回線」を選び、［決定］を押す

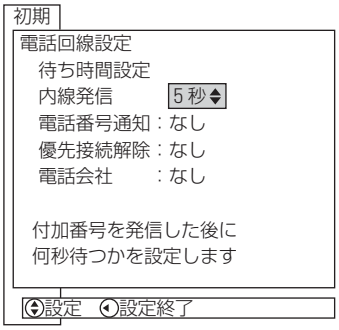


2 ［カーソル▲▼］で「待ち時間」を選び、［決定］を押す

3 [カーソル▲▼]で待ち時間を設定したい項目を選び、[決定]を押す



4 [カーソル▲▼]で待ち時間を選び、[決定]を押す



選んだ項目の待ち時間が設定されます。

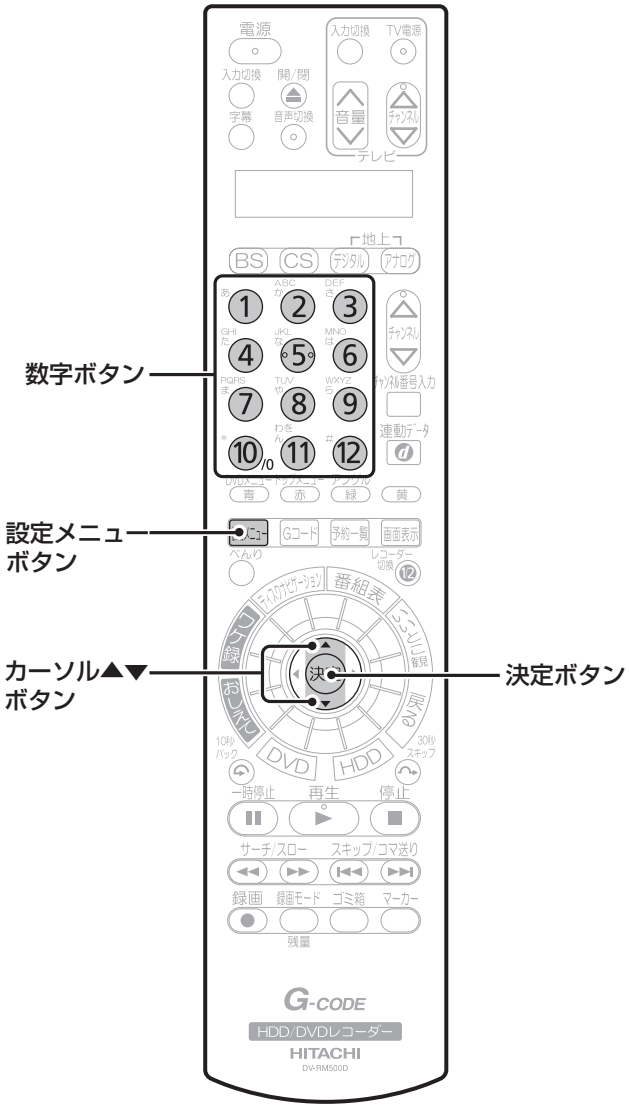
- 続けて他の項目の待ち時間を設定したい場合は、手順3と4を繰り返します。

5 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が消えます。

ISP設定について

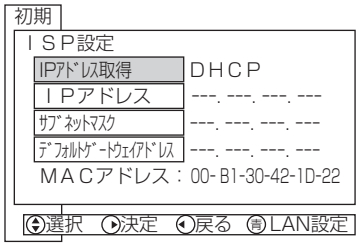
パソコンのインターネット契約をしているプロバイダを使って、本機を常時接続環境のインターネット網に接続しても、地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できない場合は、IPアドレスを手動で設定してください。



1 ［設定メニュー］を押して、「外部設定」メニューで「ISP設定」を選び、［決定］を押す

ISP設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で設定したい項目を選び、［決定］を押す



設定項目	内　容
IPアドレス取得	IPアドレスの取得方法を設定します。IPアドレスを手動で設定する場合は、「手動」に設定してください。
IPアドレス	インターネットなどのTCP/IPネットワークに接続されている機器1台ごとに割り振られた識別番号を数字ボタンで入力します。
サブネットマスク	TCP/IPネットワークを分割管理している複数の小さなネットワークのアドレスを数字ボタンで入力します。
デフォルトゲートウェイアドレス	ネットワーク上で、媒体や通信手順が異なるデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号を入力します。

3 ［カーソル▲▼］で設定する内容を選び、［決定］を押す

各項目が設定されます。

4 各項目の設定が終了したら、［設定メニュー］を押す

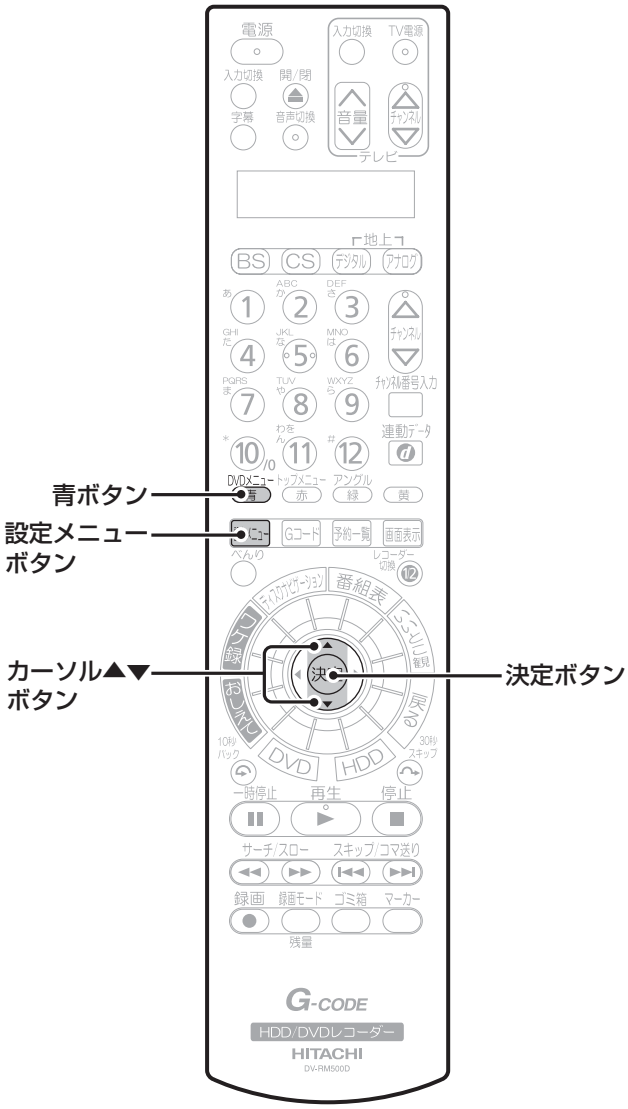
機能設定画面が消えます。

お知らせ

- MACアドレスを設定することはできません。
- 双方向のデータサービスをご使用になるまで、DHCPからのIPアドレス取得は行われません。

LAN設定について

パソコンのインターネット契約をしているプロバイダを使って、本機を常時接続環境のインターネット網に接続しても、地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できない場合は、通信方法を手動で設定してください。



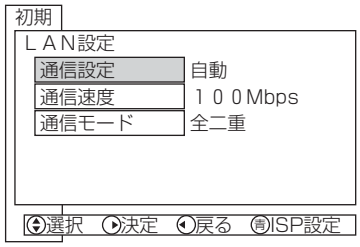
1 ［設定メニュー］を押して、「外部設定」メニューで「ISP設定」を選び、［決定］を押す

ISP設定画面が表示されます。

2 ［青／DVDメニュー］を押す

LAN設定画面が表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で設定したい項目を選び、［決定］を押す



設定項目	内　容
通信設定	LAN接続を手動で設定する場合は、「手動」に設定してください。
通信速度	本機に接続したADSLモデムやケーブルモデムの通信速度を設定します。
通信モード	本機に接続したモデムの通信モードを設定します。

4 ［カーソル▲▼］で設定する内容を選び、［決定］を押す

各項目が設定されます。

5 各項目の設定が終了したら、［設定メニュー］を押す

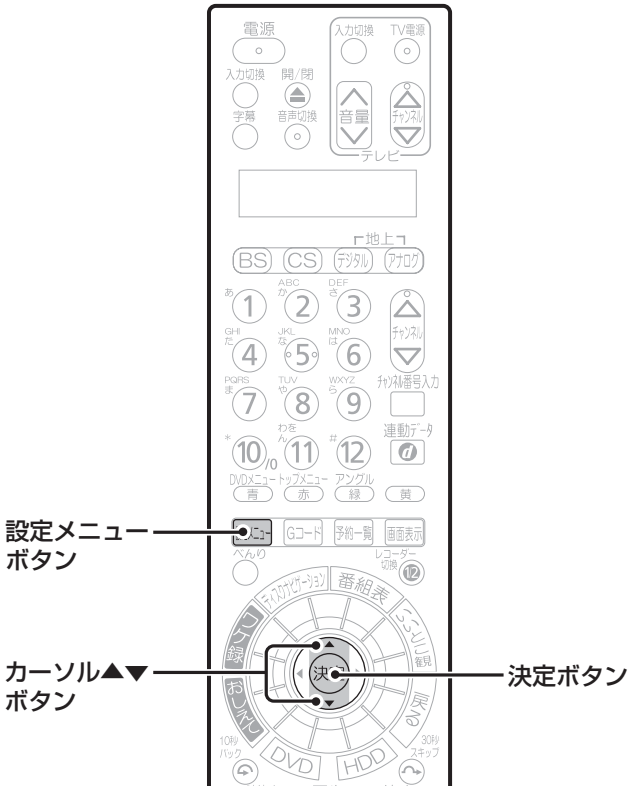
機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 「通信速度」と「通信モード」については、本機に接続したADSLモデムやケーブルモデムの取扱説明書をご覧ください。
- 双方向のデータサービスをご使用になるまで、DHCPからのIPアドレス取得は行われません。

接続するテレビに合わせて設定する

本機に接続するテレビの種類に応じて、テレビ画面の縦横比や接続端子などを設定します。



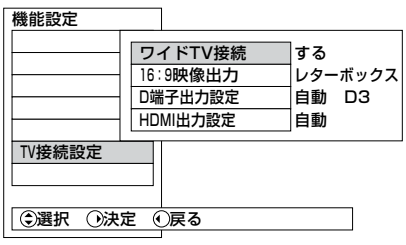
1 [設定メニュー]を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼]で「TV接続設定」を選び、[決定]を押す

TV接続設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼]で設定したい項目を選び、[決定]を押す



設定項目	内　容
ワイドTV接続	本機にワイドTVを接続している場合は「する」、接続していない場合は「しない」を設定します。
16:9映像出力	パンスキャン信号が入った16:9映像（DVD-Videoソフトなど）を4:3サイズのテレビに出力するときの映像出力を設定します。 映像の左右をカットして表示する場合は、「パンスキャン」に設定します。上下に黒帯を付けて表示する場合は、「レターボックス」に設定します。 ●「ワイドTV接続」を「する」に設定した場合、「レターボックス」は設定できません。 ●パンスキャン信号が入ったDVD-Videoソフトは、パッケージの裏などに「16:9 P&S」のマークが記載されています。
D端子出力設定	本機に接続するテレビのD端子の種類を設定します。 ●テレビがD4端子の場合 「自動」を選んでから、「D4」を選択してください。 ●テレビがD3端子の場合 「自動」を選んでから、「D3」を選択してください。 ●テレビがD3端子で、「D3（1125i）固定」の場合 「固定」を選んでから、「1125i」を選択してください。 ●テレビがD2端子の場合 「自動」を選んでから、「D2」を選択してください。 ●テレビがD1端子の場合 「固定」を選んでから、「525i」を選択してください。
HDMI出力設定（DV-DH1000D/500D/250D）	本機に接続するテレビのHDMI端子の種類を設定します。 ●通常は「固定」を選んでから、「1125i」を選択してください。 ただし、接続するテレビの映像信号が「1125i」に対応していない場合は、対応する映像信号（750p、525p、525i）を選択してください。 ●4:3放送の映像を横伸びに表示させたくない場合は、「自動」を選んでください。

4 ［カーソル▲▼］で設定する内容を選び、［決定］を押す

各項目が設定されます。

5 各項目の設定が終了したら、［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- D1／D2映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D端子をいったん外して「映像端子との接続」（27ページ）の接続を行ってから、「D端子出力設定」を「固定：525i」または「自動：D2」に設定してください。「TV接続設定」の設定が正しくないと、D映像出力端子からの映像がテレビに映りません。
- お使いのテレビのコンポーネント入力端子が1125i信号のみ対応の機種の場合（主にMUSE方式のアナログハイビジョンテレビが該当します）は、「D端子出力設定」の「固定」を選択してから「1125i」を選択してください。お使いのテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機を4：3テレビのD端子に接続する場合、正しい縦横比で映像を表示するためには、テレビ側の映像を上下に圧縮（V圧縮）して表示する機能*が必要です。そのような機能がない4：3テレビには、D端子で接続できません。S映像端子や映像端子で接続してください。
  * メーカーにより、高画質ワイドモード、高密ワイドモードなどと呼ばれています。
- 「D端子出力設定」を「固定：1125i」に設定した場合、著作権保護の制限によって、以下のような場合はD端子からはD1モードで出力されます。
  ・DVDビデオを再生した場合
  ・DVDへ録画したデジタル放送番組を再生した場合
  ・「XP」、「SP」、「LP」、「EP」のいずれかの録画モードで録画したデジタル放送を再生した場合
  ・外部入力の番組を視聴、録画、再生した場合
- 「HDMI出力設定」を「固定：1125i」に設定した状態で、アスペクト比が4：3の放送を表示すると、アスペクト比が16：9で（横伸びに）表示されます。

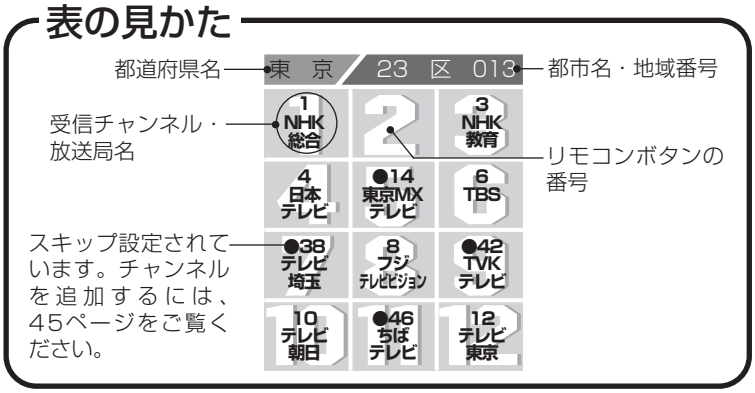
地域番号一覧表

地上デジタル放送用のチャンネルを確保するために、現在一部のアナログ放送局（中継局）でチャンネルを変更する作業が行われています。変更の対象となる地域にお住まいで、従来の地域番号でチャンネル受信ができない場合は、新しいチャンネル配置の地域番号（※マーク）で設定してください。

（例）宇都宮　009（従来の地域番号）

宇都宮※141（新しい地域番号）

表の見かた



北海道

北海道 札幌(江別) 001

1	2	3
HBC 北海道放送		NHK 総合
17 TVH	5 STV 札幌テレビ	6
7	27 UHB	9
35 HTB 北海道テレビ	11	12 NHK 教育

北海道 旭川 048

1	2	3
	NHK 教育	
33 TVH	37 UHB	39 HTB 北海道テレビ
7 STV 札幌テレビ	8	9 NHK 総合
10	11 HBC 北海道放送	12

北海道 北見 049

1	2 NHK 教育	3
4	5	6
7 STV 札幌テレビ	53 HBC 北海道放送	9 NHK 総合
59 UHB	61 HTB 北海道テレビ	12

北海道 帯広 050

1	2	3
4 NHK 総合	5	6 HBC 北海道放送
32 UHB	8	34 HTB 北海道テレビ
10 STV 札幌テレビ	11	12 NHK 教育

北海道 釧路 051

1	2 NHK 教育	39 HTB 北海道テレビ
41 UHB	5	6
7 STV 札幌テレビ	8	9 NHK 総合
10	11 HBC 北海道放送	12

北海道 函館 052

21 TVH	27 UHB	35 HTB 北海道テレビ
4 NHK 総合	5	6 HBC 北海道放送
7	8	9
10 NHK 教育	11	12 STV 札幌テレビ

北海道 苫小牧 066

47 TVH	49 NHK 教育	51 NHK 総合
53 UHB	55 HBC 北海道放送	57 STV 札幌テレビ
61 HTB 北海道テレビ	8	9
10	11	12

北海道 小樽 067

1	2 NHK 教育	3
4 HTB 北海道テレビ	5	6
7 STV 札幌テレビ	8	9 HBC 北海道放送
24 TVH	11 NHK 総合	26 UHB

北海道 室蘭 068

1	2 NHK 教育	29 TVH
37 UHB	39 HTB 北海道テレビ	6
7 STV 札幌テレビ	8	9 NHK 総合
10	11 HBC 北海道放送	12

北海道 名寄 100

24 HTB 北海道テレビ	2	26 UHB
4 NHK 総合	5	6 STV 札幌テレビ
7	8	9
10 HBC 北海道放送	11	12 NHK 教育

北海道 稚内 101

1	2	3
22 STV 札幌テレビ	24 HTB 北海道テレビ	26 UHB
28 NHK 総合	30 NHK 教育	9
10 HBC 北海道放送	11	12

北海道 網走 102

1 HBC 北海道放送	2	3 NHK 総合
4	5 STV 札幌テレビ	6
27 UHB	8	35 HTB 北海道テレビ
10	11	12 NHK 教育

東北

青森 青森(弘前) 002

1 RAB 青森放送	2	3 NHK 総合
4	5 NHK 教育	6
34 青森朝日放送	8	38 ATV 青森テレビ
10	11	12

青森 八戸 053

1	2	3
31 青森朝日放送	5	33 ATV 青森テレビ
7 NHK 教育	8	9 NHK 総合
10	11 RAB 青森放送	12

青森 むつ 103

1	2	3
4 NHK 総合	5	56 青森朝日放送
7	58 ATV 青森テレビ	9
10 RAB 青森放送	11	12 NHK 教育

岩手 盛岡 003

1	2	3
4 NHK 総合	5	6 IBC 岩手放送
7	8 NHK 教育	9
33 岩手めんこいテレビ	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手

岩手 釜石 104

1	2 NHK 総合	3
58 テレビ岩手	5	60 岩手めんこいテレビ
7	62 岩手朝日テレビ	9
10 IBC 岩手放送	11	12 NHK 教育

地域番号一覧表（つづき）

岩手 / 二戸 105		
1	2 IBC 岩手放送	3
4	5 NHK 総合	6
27 岩手朝日テレビ	29 岩手めんこいテレビ	37 テレビ岩手
10	11	12 NHK 教育

宮城 / 仙台 004		
1 TBC テレビ	2	3 NHK 総合
4	5 NHK 教育	6
32 KHB 東日本放送	8	34 ミヤギテレビ
10	11	12 仙台放送

宮城 / 石巻 106		
59 TBC テレビ	2	51 NHK 総合
4	49 NHK 教育	6
61 KHB 東日本放送	8	55 ミヤギテレビ
10	11	57 仙台放送

宮城 / 気仙沼 107		
1	2 NHK 総合	3
4 TBC テレビ	5	6 仙台放送
37 ミヤギテレビ	43 KHB 東日本放送	9
10 NHK 教育	11	12

秋田 / 秋田 005		
1	2 NHK 教育	3
4	5	6
31 AAB秋田朝日放送	37 AKT 秋田テレビ	9 NHK 総合
10	11 ABS 秋田放送	12

秋田 / 大館 054		
1	2	3
4 NHK 総合	57 AKT 秋田テレビ	6 ABS 秋田放送
7	8 NHK 教育	9
10	11	59 AAB秋田朝日放送

秋田 / 大曲(横手) 108		
1	43 NHK 教育	3
4	5	6
41 AAB秋田朝日放送	51 AKT 秋田テレビ	45 NHK 総合
10	47 ABS 秋田放送	12

山形 / 山形 006		
1	2	3
4 NHK 教育	5	36 テレビユー山形
7	8 NHK 総合	9
10 YBC 山形放送	30 さくらんぼテレビ	38 YTS 山形テレビ

山形 / 鶴岡(酒田) 055		
1 YBC 山形放送	2	3 NHK 総合
4	5	6 NHK 教育
7	22 テレビユー山形	9
39 YTS 山形テレビ	11	24 さくらんぼテレビ

山形 / 米沢 109		
1	2	3
50 NHK 教育	5	56 テレビユー山形
7	52 NHK 総合	9
54 YBC 山形放送	60 さくらんぼテレビ	58 YTS 山形テレビ

福島 / 福島(郡山) 007		
1	2 NHK 教育	3
31 テレビユー福島	5	6
33 福島中央テレビ	35 KFB 福島放送	9 NHK 総合
10	11 福島テレビ	12

福島 / 会津若松 056		
1 NHK 総合	2	3 NHK 教育
4	5	6 福島テレビ
7	37 福島中央テレビ	41 KFB 福島放送
10	11	47 テレビユー福島

福島 / いわき 057		
1	32 テレビユー福島	3
4 NHK 総合	5	34 福島中央テレビ
7	8 福島テレビ	9
10 NHK 教育	11	36 KFB 福島放送

関東

茨城 / 水戸 008		
44(1) NHK 総合	2	46(3) NHK 教育
42(4) 日本テレビ	5	40(6) TBS
7	38(8) フジテレビ	9
36(10) テレビ朝日	11	32(12) テレビ東京

茨城 / 日立(ひたちなか) 069		
52(1) NHK 総合	2	50(3) NHK 教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBS
7	58(8) フジテレビ	9
60(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

栃木 / 宇都宮 009		
29(1) NHK 総合	2	27(3) NHK 教育
25(4) 日本テレビ	5	23(6) TBS
●31 とちぎテレビ	21(8) フジテレビ	9
19(10) テレビ朝日	11	17(12) テレビ東京

栃木 / 宇都宮※ 141		
51(1) NHK 総合	2	49(3) NHK 教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
●31 とちぎテレビ	57(8) フジテレビ	9
41(10) テレビ朝日	11	44(12) テレビ東京

栃木 / 矢板 070		
51(1) NHK 総合	2	49(3) NHK 教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
●33(31) とちぎテレビ	57(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

栃木 / 矢板※ 142		
40(1) NHK 総合	2	30(3) NHK 教育
36(4) 日本テレビ	5	42(6) TBS
●33(31) とちぎテレビ	45(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

群馬 / 前橋(高崎) 010		
52(1) NHK 総合	2	50(3) NHK 教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBS
7	58(8) フジテレビ	9
60(10) テレビ朝日	●48 群馬テレビ	62(12) テレビ東京

群馬 / 桐生 071		
43(1) NHK 総合	2	45(3) NHK 教育
39(4) 日本テレビ	5	37(6) TBS
7	35(8) フジテレビ	9
33(10) テレビ朝日	●41(48) 群馬テレビ	31(12) テレビ東京

群馬 / 桐生※ 143		
51(1) NHK 総合	2	57(3) NHK 教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
7	35(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	●41(48) 群馬テレビ	61(12) テレビ東京

埼玉 / さいたま 011		
1 NHK 総合	2	3 NHK 教育
4 日本テレビ	●14 東京MX テレビ	6 TBS
7	8 フジテレビ	●38 テレビ埼玉
10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京

埼玉 / 熊谷(児玉) 072		
33(1) NHK 総合	2	35(3) NHK 教育
25(4) 日本テレビ	5	23(6) TBS
7	21(8) フジテレビ	●28(38) テレビ埼玉
19(10) テレビ朝日	11	17(12) テレビ東京

埼玉 / 熊谷(児玉)※144		
51(1) NHK 総合	2	35(3) NHK 教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
7	57(8) フジテレビ	●30(38) テレビ埼玉
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

埼玉 / 秩父 110

51(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
7	57(8) フジテレビ	●47(38) テレビ埼玉
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

埼玉 / 秩父※ 145

14(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
16(4) 日本テレビ	5	18(6) TBS
7	29(8) フジテレビ	●47(38) テレビ埼玉
38(10) テレビ朝日	11	44(12) テレビ東京

千葉 / 千葉 012

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
7	8 フジテレビ	9
10 テレビ朝日	●46 チバテレビ	12 テレビ東京

千葉 / 銚子 111

51(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ	5	55(6) TBS
7	57(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	●39(46) チバテレビ	61(12) テレビ東京

東京 / 23区 013

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
●38 テレビ埼玉	8 フジテレビ	●42 TVKテレビ
10 テレビ朝日	●46 チバテレビ	12 テレビ東京

東京 / 八王子 073

51(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ	●47(14) 東京MXテレビ	55(6) TBS
7	57(8) フジテレビ	9
59(10) テレビ朝日	11	61(12) テレビ東京

東京 / 八王子※ 146

33(1) NHK総合	2	29(3) NHK教育
35(4) 日本テレビ	●40(14) 東京MXテレビ	37(6) TBS
7	31(8) フジテレビ	9
45(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

東京 / 多摩 074

30(1) NHK総合	2	32(3) NHK教育
26(4) 日本テレビ	●28(14) 東京MXテレビ	24(6) TBS
7	22(8) フジテレビ	9
20(10) テレビ朝日	11	18(12) テレビ東京

東京 / 多摩※ 147

49(1) NHK総合	2	47(3) NHK教育
51(4) 日本テレビ	●61(14) 東京MXテレビ	53(6) TBS
7	55(8) フジテレビ	9
57(10) テレビ朝日	11	59(12) テレビ東京

神奈川 / 横浜1 112

52(1) NHK総合	2	50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBS
7	58(8) フジテレビ	●48(42) TVK
60(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

神奈川 / 横浜2 014

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
7	8 フジテレビ	●42 TVK
10 テレビ朝日	11	12 テレビ東京

神奈川 / 平塚茅ヶ崎 075

33(1) NHK総合	2	29(3) NHK教育
35(4) 日本テレビ	5	37(6) TBS
7	39(8) フジテレビ	●31(42) TVK
41(10) テレビ朝日	11	43(12) テレビ東京

神奈川 / 小田原 076

52(1) NHK総合	2	50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ	5	56(6) TBS
7	58(8) フジテレビ	●46(42) TVK
60(10) テレビ朝日	11	62(12) テレビ東京

神奈川 / 秦野 077

47(1) NHK総合	2	49(3) NHK教育
51(4) 日本テレビ	5	53(6) TBS
7	55(8) フジテレビ	●61(42) TVK
57(10) テレビ朝日	11	59(12) テレビ東京

甲信越

新潟 / 新潟(長岡) 015

1	2	3
21 新潟テレビ21	5 BSN	29 TeNYテレビ新潟
7	8 NHK総合	9
35 NST	11	12 NHK教育

新潟 / 上越 078

1 NHK教育	2	3 NHK総合
4	5	27 TeNYテレビ新潟
7	33 NST	9
10 BSN	11	37 新潟テレビ21

富山 / 富山 016

1 KNB北日本放送	2	3 NHK総合
4	5	6
7	32 チューリップテレビ	9
10 NHK教育	11	34 BBT富山テレビ

富山 / 高岡 079

50 KNB北日本放送	2	48 NHK総合
4	5	6
7	42 チューリップテレビ	9
46 NHK教育	11	44 BBT富山テレビ

石川 / 金沢(小松) 017

1	2	3
4 NHK総合	5	6 MRO
25 北陸朝日放送	8 NHK教育	9
33 テレビ金沢	11	37 石川テレビ

石川 / 七尾 115

1	2	3
4	5 NHK教育	6
59 北陸朝日放送	8	9 NHK総合
57 テレビ金沢	11 MRO	55 石川テレビ

福井 / 福井 018

1	2	3 NHK教育
4	5	6
7	8	9 NHK総合
10	11 FBCテレビ	39 福井テレビ

福井 / 敦賀 116

1	2	3
38 福井テレビ	5	6 NHK総合
7	8 FBCテレビ	9
10	11	12 NHK教育

山梨 / 甲府 019

1 NHK総合	2	3 NHK教育
4	5 YBS山梨放送	37 UTY
7	8	9
10	11	12

長野 / 長野1 113

1	44(2) NHK総合	3
4	50(20) ABN長野朝日放送	6
40(30) テレビ信州	42(38) NBS長野放送	46(9) NHK教育
10	48(11) SBC信越放送	12

長野 / 長野2 020

1	2 NHK総合	3
4	20 ABN長野朝日放送	6
30 テレビ信州	38 NBS長野放送	9 NHK教育
10	11 SBC信越放送	12

地域番号一覧表（つづき）

長野 / 飯田 058

40 NBS 長野放送	2	3 NHK 教育
4 NHK 総合	5	6 SBC 信越放送
42 テレビ 信州	8	44 ABN長野 朝日放送
10	11	12

長野 / 松本 080

1	44 NHK 総合	3
4	50 ABN長野 朝日放送	6
48 テレビ 信州	42 NBS 長野放送	46 NHK 教育
10	40 SBC 信越放送	12

長野 / 岡谷(諏訪)114

1	2	3
4 NHK 総合	5	6 SBC 信越放送
7	8 NHK 教育	9
47 NBS 長野放送	59 テレビ 信州	61 ABN長野 朝日放送

東海

岐阜 / 岐阜(大垣)021

1 東海 テレビ	2	3 NHK 総合
4	5 CBC	6
35 中京 テレビ	25 テレビ 愛知	9 NHK 教育
10	11 メ～テレ	37 岐阜放送

岐阜 / 高山 117

1	2 NHK 教育	3
4 NHK 総合	5	6 CBC
7	8 東海 テレビ	9
26 中京 テレビ	38 岐阜放送	12 メ～テレ

岐阜 / 中津川 118

1	26 中京 テレビ	3
4 NHK 総合	5	6 メ～テレ
7	8 CBC	9
10 東海 テレビ	28 岐阜放送	12 NHK 教育

静岡 / 静岡(清水)022

1	2 NHK 教育	3
31 静岡第一 テレビ	33 静岡朝日 テレビ	35 テレビ 静岡
7	8	9 NHK 総合
10	11 SBS	12

静岡 / 浜松 059

1	2	3
4 NHK 総合	5	6 SBS
7	8 NHK 教育	28 静岡朝日 テレビ
30 静岡第一 テレビ	11	34 テレビ 静岡

静岡 / 富士(富士宮) 081

1	54 NHK 教育	3
27 静岡第一 テレビ	5	29 静岡朝日 テレビ
7	8	52 NHK 総合
10	41 SBS	39 テレビ 静岡

静岡 / 沼津(三島) 082

1	51 NHK 教育	3
61 静岡第一 テレビ	5	57 静岡朝日 テレビ
7	8	53 NHK 総合
10	55 SBS	59 テレビ 静岡

静岡 / 島田 083

15(1) NHK 総合	2	18(3) NHK 教育
4	22(5) SBS	6
7	48 静岡第一 テレビ	9
50 静岡朝日 テレビ	11	58 テレビ 静岡

静岡 / 島田※ 150

56(1) NHK 総合	2	54(3) NHK 教育
4	62(5) SBS	6
7	48 静岡第一 テレビ	9
50 静岡朝日 テレビ	11	58 テレビ 静岡

静岡 / 藤枝 119

42 NHK 総合	2	44 NHK 教育
4	40 SBS	6
7	24 静岡第一 テレビ	9
26 静岡朝日 テレビ	11	38 テレビ 静岡

愛知 / 名古屋 023

1 東海 テレビ	2	3 NHK 総合
4	5 CBC	6
25 テレビ 愛知	●37 岐阜 テレビ	9 NHK 教育
●33 三重 テレビ	11 メ～テレ	35 中京 テレビ

愛知 / 豊橋(豊川)084

56(1) 東海 テレビ	2	54(3) NHK 総合
4	62(5) CBC	6
52(25) テレビ 愛知	8	50(9) NHK 教育
10	60(11) メ～テレ	58(35) 中京 テレビ

愛知 / 豊田 085

57(1) 東海 テレビ	2	53(3) NHK 総合
4	55(5) CBC	6
49(25) テレビ 愛知	8	51(9) NHK 教育
10	61(11) メ～テレ	59(35) 中京 テレビ

愛知 / 蒲郡田原 120

38(1) 東海 テレビ	2	44(3) NHK 総合
4	36(5) CBC	6
32(25) テレビ 愛知	8	46(9) NHK 教育
10	42(11) メ～テレ	40(35) 中京 テレビ

近畿

三重 / 津 024

1 東海 テレビ	2	3 NHK 総合
4	5 CBC	6
25 テレビ 愛知	8	9 NHK 教育
33 三重 テレビ	11 メ～テレ	35 中京 テレビ

三重 / 伊勢 086

57(1) 東海 テレビ	2	53(3) NHK 総合
4	55(5) CBC	6
7	8	49(9) NHK 教育
59(33) 三重 テレビ	61(11) メ～テレ	47(35) 中京 テレビ

三重 / 名張(上野)121

52 NHK 総合	2 NHK 総合	54 中京 テレビ
4 MBS 毎日放送	56 メ～テレ	6 ABC テレビ
58 三重 テレビ	8 関西 テレビ	60 CBC
10 よみうり テレビ	62 東海 テレビ	12 NHK 教育

滋賀 / 大津 025

1	28(2) NHK 総合	3
36(4) MBS 毎日放送	5	38(6) ABC テレビ
7	40(8) 関西 テレビ	●34 KBS 京都
42(10) よみうり テレビ	30 BBC びわ湖放送	46(12) NHK 教育

滋賀 / 彦根 087

1	52(2) NHK 総合	3
54(4) MBS 毎日放送	5	58(6) ABC テレビ
7	60(8) 関西 テレビ	●34 KBS 京都
62(10) よみうり テレビ	56(30) BBC びわ湖放送	50(12) NHK 教育

京都 / 京都 026

1	2 NHK 総合	3
4 MBS 毎日放送	●19 テレビ 大阪	6 ABC テレビ
●26 奈良 テレビ	8 関西 テレビ	34 KBS 京都
10 よみうり テレビ	●36 サン テレビ	12 NHK 教育

京都 / 舞鶴1 122

1	43(2) NHK 総合	3
33(4) MBS 毎日放送	5	35(6) ABC テレビ
7	39(8) 関西 テレビ	37(34) KBS 京都
41(10) よみうり テレビ	11	45(12) NHK 教育

京都 / 舞鶴2 123

1	51(2) NHK 総合	3
53(4) MBS 毎日放送	5	55(6) ABC テレビ
7	59(8) 関西 テレビ	57(34) KBS 京都
61(10) よみうり テレビ	11	49(12) NHK 教育

京都 福知山 124		
1	50(2) NHK総合	3
54(4) MBS毎日放送	56(34) KBS京都	58(6) ABCテレビ
7	60(8) 関西テレビ	9
62(10) よみうりテレビ	11	52(12) NHK教育

京都 宮津 125		
1	43(2) NHK総合	3
33(4) MBS毎日放送	5	35(6) ABCテレビ
7	37(8) 関西テレビ	39(34) KBS京都
41(10) よみうりテレビ	11	45(12) NHK教育

大阪 大阪 027		
1	2 NHK総合	3
4 MBS毎日放送	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ
●30 テレビ和歌山	8 関西テレビ	●34 KBS京都
10 よみうりテレビ	●36 サンテレビ	12 NHK教育

兵庫 神戸 028		
1	2 NHK総合	36 サンテレビ
4 MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABCテレビ
●30 テレビ和歌山	8 関西テレビ	●34 KBS京都
10 よみうりテレビ	11	12 NHK教育

兵庫 神戸北 130		
1	28(2) NHK総合	36 サンテレビ
18(4) MBS毎日放送	19 テレビ大阪	20(6) ABCテレビ
7	22(8) 関西テレビ	9
24(10) よみうりテレビ	11	26(12) NHK教育

兵庫 神戸北※ 148		
1	28(2) NHK総合	36 サンテレビ
31(4) MBS毎日放送	19 テレビ大阪	41(6) ABCテレビ
7	43(8) 関西テレビ	9
47(10) よみうりテレビ	11	45(12) NHK教育

兵庫 川西1 131		
1	29(2) NHK総合	33(36) サンテレビ
35(4) MBS毎日放送	21(19) テレビ大阪	37(6) ABCテレビ
7	39(8) 関西テレビ	9
41(10) よみうりテレビ	11	31(12) NHK教育

兵庫 川西2 132		
1	49(2) NHK総合	53(36) サンテレビ
55(4) MBS毎日放送	47(19) テレビ大阪	57(6) ABCテレビ
7	59(8) 関西テレビ	9
61(10) よみうりテレビ	11	51(12) NHK教育

兵庫 姫路 088		
1	50(2) NHK総合	56(36) サンテレビ
54(4) MBS毎日放送	5	58(6) ABCテレビ
7	60(8) 関西テレビ	9
62(10) よみうりテレビ	11	52(12) NHK教育

兵庫 明石(加古川) 089		
1	51(2) NHK総合	55(36) サンテレビ
53(4) MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	57(6) ABCテレビ
7	59(8) 関西テレビ	9
61(10) よみうりテレビ	11	49(12) NHK教育

兵庫 三木 090		
1	44(2) NHK総合	36 サンテレビ
34(4) MBS毎日放送	5	38(6) ABCテレビ
7	40(8) 関西テレビ	9
42(10) よみうりテレビ	11	46(12) NHK教育

奈良 奈良(橿原) 029		
1	2 NHK総合	3
4 MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABCテレビ
7	8 関西テレビ	55 奈良テレビ
10 よみうりテレビ	●34 KBS京都	12 NHK教育

奈良 五条 126		
1	43(2) NHK総合	3
33(4) MBS毎日放送	5	35(6) ABCテレビ
7	37(8) 関西テレビ	41(55) 奈良テレビ
39(10) よみうりテレビ	11	45(12) NHK教育

和歌山 和歌山 030		
1	32(2) NHK総合	3
42(4) MBS毎日放送	5	44(6) ABCテレビ
7	46(8) 関西テレビ	9
48(10) よみうりテレビ	30 テレビ和歌山	26(12) NHK教育

和歌山 和歌山※ 149		
1	32(2) NHK総合	3
42(4) MBS毎日放送	5	44(6) ABCテレビ
7	46(8) 関西テレビ	9
48(10) よみうりテレビ	30 テレビ和歌山	25(12) NHK教育

和歌山 田辺(白浜) 127		
1	50(2) NHK総合	3
54(4) MBS毎日放送	5	58(6) ABCテレビ
7	60(8) 関西テレビ	9
62(10) よみうりテレビ	56(30) テレビ和歌山	52(12) NHK教育

和歌山 田辺(槇山) 128		
1	16(2) NHK総合	3
22(4) MBS毎日放送	5	25(6) ABCテレビ
7	27(8) 関西テレビ	9
29(10) よみうりテレビ	20(30) テレビ和歌山	18(12) NHK教育

和歌山 御坊 129		
1	49(2) NHK総合	3
53(4) MBS毎日放送	5	57(6) ABCテレビ
7	59(8) 関西テレビ	9
61(10) よみうりテレビ	55(30) テレビ和歌山	51(12) NHK教育

中国

鳥取 鳥取 031		
1 日本海テレビ	2	3 NHK総合
4 NHK教育	5	6
7	8	9
22 BSSテレビ	11	24 山陰中央テレビ

島根 松江 032		
30 日本海テレビ	2	3
4	5	6 NHK総合
7	34 山陰中央テレビ	9
10 BSSテレビ	11	12 NHK教育

島根 浜田 061		
1	2 NHK総合	54 日本海テレビ
4	5 BSSテレビ	6
7	58 山陰中央テレビ	9 NHK教育
10	11	12

岡山 岡山(倉敷) 033		
23 テレビせとうち	25 KSB瀬戸内海放送	3 NHK教育
4	5 NHK総合	6
35 OHKテレビ	8	9 RNC西日本放送
10	11 RSKテレビ	12

岡山 津山 133		
1	2 NHK総合	3
4	5	6
7 RSKテレビ	56 テレビせとうち	58 RNC西日本放送
60 OHKテレビ	62 KSB瀬戸内海放送	12 NHK教育

岡山 笠岡 134		
1	2 NHK総合	3
4 NHK教育	5	6 RSKテレビ
7	17 RNC西日本放送	9
19 テレビせとうち	21 KSB瀬戸内海放送	60 OHKテレビ

岡山 笠岡※ 151		
1	2 NHK総合	3
4 NHK教育	5	6 RSKテレビ
7	34 RNC西日本放送	9
22 テレビせとうち	55 KSB瀬戸内海放送	60 OHKテレビ

地域番号一覧表（つづき）

広島

広島 034

31 TSS		3 NHK 総合
4 RCC テレビ		
7 NHK 教育		
35 広島ホームテレビ		12 広島テレビ

広島 060

		3 NHK 教育
	5 NHK 総合	54 TSS
7 RCC テレビ		57 広島ホームテレビ
	11 広島テレビ	

広島 135

1 NHK 総合		24 広島ホームテレビ
	26 TSS	
7 NHK 教育		
10 RCC テレビ		12 広島テレビ

広島 091

1 NHK 教育		24 広島ホームテレビ
	5 広島テレビ	
26 TSS		9 RCC テレビ
	11 NHK 総合	

山口

山口 035

1 NHK 教育		
28 YAB山口朝日放送		
38 TYS テレビ山口		9 NHK 総合
	11 KRY 山口放送	

山口 092

	2 KBC九州朝日放送	33 TYS テレビ山口
4 KRY 山口放送	35 FBS 福岡放送	6 NHK 総合
39 NHK 総合	8 RKB 毎日放送	23 TVQ 九州放送
10 TNC テレビ西日本	21 YAB山口朝日放送	12 NHK 教育

山口 093

14 NHK 教育		
	31 YAB山口朝日放送	
20 TYS テレビ山口		16 NHK 総合
	18 KRY 山口放送	

山口 宇部※ 152

55 NHK 教育		
	24 YAB山口朝日放送	
44 TYS テレビ山口		58 NHK 総合
	61 KRY 山口放送	

山口 岩国 094

		3 NHK 総合
4 RCC テレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ
7 NHK 教育		28 YAB山口朝日放送
22 TYS テレビ山口	11 KRY 山口放送	12 広島テレビ

山口 岩国※ 153

		3 NHK 総合
4 RCC テレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ
7 NHK 教育		28 YAB山口朝日放送
62 TYS テレビ山口	11 KRY 山口放送	12 広島テレビ

四国

徳島 徳島 036

1 四国放送		3 NHK 総合
4 MBS 毎日放送		6 ABC テレビ
	8 関西テレビ	
10 よみうりテレビ		12 NHK 教育

香川 高松 037

19 テレビせとうち	33 KSB瀬戸内海放送	39 NHK 教育
	37 NHK 総合	
31 OHK テレビ		41 RNC 西日本テレビ
	29 RSK テレビ	

香川 丸亀 095

16 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK 教育
	44 NHK 総合	
22 OHK テレビ		20 RNC 西日本テレビ
	18 RSK テレビ	

香川 丸亀※ 154

46 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK 教育
	44 NHK 総合	
52 OHK テレビ		50 RNC 西日本テレビ
	48 RSK テレビ	

愛媛 松山 038

	2 NHK 教育	
25 愛媛朝日放送	29 あいテレビ	6 NHK 総合
●31 TSS	37 テレビ愛媛	●35 広島ホームテレビ
10 南海放送		

愛媛 新居浜 062

	2 NHK 総合	
4 NHK 教育	14 愛媛朝日放送	6 南海放送
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC 西日本テレビ
27 あいテレビ	●11 RSK テレビ	

愛媛 新居浜※ 155

	2 NHK 総合	
4 NHK 教育	14 愛媛朝日放送	6 南海放送
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC 西日本テレビ
16 あいテレビ	●11 RSK テレビ	

愛媛 今治 096

	30 NHK 教育	
14 愛媛朝日放送	27 あいテレビ	32 NHK 総合
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 西日本放送
34 南海放送	●11 RSK テレビ	

愛媛 今治※ 158

	55 NHK 教育	
14 愛媛朝日放送	16 あいテレビ	58 NHK 総合
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 西日本放送
34 南海放送	●11 RSK テレビ	

愛媛 宇和島 136

1 NHK 教育		
16 愛媛朝日放送		6 NHK 総合
32 テレビ愛媛		34 あいテレビ
10 南海放送		

愛媛 宇和島※ 156

1 NHK 教育		
16 愛媛朝日放送		6 NHK 総合
27 テレビ愛媛		25 あいテレビ
10 南海放送		

高知 高知 039

4 NHK 総合		6 NHK 教育
	8 高知放送	
38 テレビ高知		40 高知さんさんテレビ

九州

福岡 福岡 040

1 KBC九州朝日放送		3 NHK 総合
4 RKB 毎日放送		6 NHK 教育
	9 TNC テレビ西日本	
	19 TVQ 九州放送	37 FBS 福岡放送

福岡 北九州 063

	2 KBC九州朝日放送	23 TVQ 九州放送
35 FBS 福岡放送		6 NHK 総合
	8 RKB 毎日放送	
10 TNC テレビ西日本		12 NHK 教育

福岡 久留米 097

14 TVQ 九州放送	46 NHK 総合	48 RKB 毎日放送
52 FBS 福岡放送	54 NHK 教育	57 KBC九州朝日放送
60 TNC テレビ西日本		

福岡 / 大牟田 098		
19 TVQ 九州放送	43 FBS 福岡放送	50 NHK 教育
53 NHK 総合	55 TNC テレビ西日本	58 KBC九州 朝日放送
61 RKB 毎日放送	8	9
10	11	12

福岡 / 行橋 137		
19 TVQ 九州放送	43 FBS 福岡放送	46 NHK 教育
49 NHK 総合	54 TNC テレビ西日本	57 KBC九州 朝日放送
60 RKB 毎日放送	8	9
10	11	12

佐賀 / 佐賀 041		
14 TVQ 九州放送	36 STSサガ テレビ	38 NHK 総合
40 NHK 教育	48 RKB 毎日放送	52 FBS 福岡放送
57 KBC九州 朝日放送	60 TNC テレビ西日本	9
10	11 RKK 熊本放送	12

長崎 / 長崎 042		
1 NHK 教育	2	3 NHK 総合
4	5 NBC 長崎放送	6
37 KTN テレビ長崎	8	25 NIB長崎 国際テレビ
10	27 NCC長崎 文化放送	12

長崎 / 諫早 139		
45 NHK 教育	2	47 NHK 総合
4	49 NBC 長崎放送	6
42 KTN テレビ長崎	8	20 NIB長崎 国際テレビ
10	24 NCC長崎 文化放送	12

長崎 / 諫早※ 157		
51 NHK 教育	2	59 NHK 総合
4	62 NBC 長崎放送	6
39 KTN テレビ長崎	8	32 NIB長崎 国際テレビ
10	56 NCC長崎 文化放送	12

長崎 / 佐世保 099		
1	2 NHK 教育	3
17 NIB長崎 国際テレビ	5	31 NCC長崎 文化放送
7	8 NHK 総合	9
10 NBC 長崎放送	11	35 KTN テレビ長崎

熊本 / 熊本(八代)043		
1	2 NHK 教育	16 KAB熊本 朝日放送
4	5	6
22 KKTくまもと 県民テレビ	34 TKU テレビ熊本	9 NHK 総合
10	11 RKK 熊本放送	12

大分 / 大分(別府)044		
1	2	3 NHK 総合
4	5 OBS 大分放送	6
36 TOS テレビ大分	8	24 OAB大分 朝日放送
10	11	12 NHK 教育

大分 / 中津 138		
1	2	48 NHK 総合
4	51 OBS 大分放送	6
37 TOS テレビ大分	8	17 OAB大分 朝日放送
10	11	45 NHK 教育

宮崎 / 宮崎(都城)045		
35 UMK テレビ宮崎	2	3
4	5	6
7	8 NHK 総合	9
10 MRT 宮崎放送	11	12 NHK 教育

宮崎 / 延岡 064		
39 UMK テレビ宮崎	2 NHK 教育	3
4 NHK 総合	5	6 MRT 宮崎放送
7	8	9
10	11	12

鹿児島 / 鹿児島 046		
1 MBC 南日本放送	2	3 NHK 総合
4	5 NHK 教育	6
30 KYT鹿児島 読売テレビ	8	32 KKB 鹿児島放送
10	38 KTS 鹿児島テレビ	12

鹿児島 / 阿久根 065		
1	17 KYT鹿児島 読売テレビ	3
23 KKB 鹿児島放送	5	35 KTS 鹿児島テレビ
7	8 NHK 総合	9
10 MBC 南日本放送	11	12 NHK 教育

鹿児島 / 鹿屋 140		
1	2 NHK 教育	3
4 NHK 総合	5	6 MBC 南日本放送
7	25 KYT鹿児島 読売テレビ	9
31 KKB 鹿児島放送	11	33 KTS 鹿児島テレビ

沖縄

沖縄 / 那覇(沖縄)047		
1	2 NHK 総合	3
4	5	6
7	8 沖縄テレビ (OTV)	28 QAB琉球 朝日放送
10 RBC テレビ	11	12 NHK 教育

索引

あ

アスペクト比……41
衛星周波数の変更……58

か

回線種別……69
ガイドチャンネル……45、47
簡単セットアップ……38
高速起動……37
コンバーター電源……57

さ

時刻設定……64
視聴可能年齢……66
視聴制限……66
自動時刻設定……65
受信周波数変更……58
受信設定……42、51
受信設定変更……45、49、53、54、56、58
受信メール……68
省電力……37
設定の初期化……68

た

ダウンロード……59、63
地域設定……43、51
チャンネルスキップ……56
チャンネルの手動設定……44
チャンネル変更……45、54、56
デジタル放送の特長……14
電話会社の一時的変更……72
電話回線（設定）……69
電話番号通知……71

な

内線発信……70

は

番組購入上限……67
パンスキャン……41、77

ま

待ち時間……73
無操作電源オフ……37

や

優先接続解除……72
郵便番号……43

ら

リモコン設定……35、36、62
レターボックス……38、77

わ

ワイドTV接続……41、77

アルファベット

B-CASカード……2、13、15、19、23
CATV……28
CH合せ（地上デジタル）（地域名）……51
CH合せ（地上デジタル）（マニュアル）……54
CH合せ（BS）……54
CH合せ（CS）……54
CHスキップ設定（地上デジタル）……56
CHスキップ設定（BS）……56
CHスキップ設定（CS）……56
D端子出力設定……25～27、77、78
DVD視聴制限……66
FL省電力……37
GRT設定……50
HDMI出力設定……25～27、77、78
i.LINK対応機器……30
IPアドレス……34、75、76
ISP設定……75
LAN設定……76
TV接続設定……38～41、77

数字

16:9映像出力……38～41、77

付録

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに
関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

受付時間　365日／9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについての
ご相談はお客様相談センターへ

TEL 0120-3121-11

受付時間　9：00～17：30（月～土）
9：00～17：00（日、祝日）

携帯電話、PHSからもご利用できます。

年始年末は休ませていただきます。

最新の商品情報などを掲載しています。
ぜひ日立のホームページをご覧ください。

http://av.hitachi.co.jp/

株式会社 日立製作所

〒244-0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

QR66972 © Hitachi, Ltd. 2006

Printed in Japan OR-R（I）